

太田市内遺跡 13

— 平成 28 年度調査 —

2018

群馬県太田市教育委員会

はじめに

私たちの郷土太田は、北に八王子丘陵・渡良瀬川があり、中央やや東側に金山がそびえたち、南は利根川まで広がる広大な面積を有する市です。市域の東部には東日本最大の前方後円墳である天神山古墳や、人物や馬等の優れた形の埴輪がまとまって出土した塚廻り古墳群等の著名な古墳があります。また、市の西部を中心とした地域は中世に新田荘として栄えた地域でもありました。

私たちは、こうした文化財を継承し、次世代へと伝え、豊かな太田市形成のための礎としていかなければならないと考えております。

太田市では年々世帯数が増加しており、それに伴って住宅や道路等の開発が盛んに進められています。本書は、それらの開発に対応して行なった確認調査の成果をまとめたものです。本書を埋蔵文化財の保護、学術調査の資料として、また埋蔵文化財の普及・啓発の資料として広く活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、調査を実施するにあたりご指導・ご協力をいただきました関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます、発刊の挨拶といたします。

平成30年 3月

太田市教育委員会
教育長 澁澤 啓史

例 言

- 1 本書は、太田市教育委員会が国宝重要文化財等保存整備費補助金と群馬県文化財保存事業費補助金を得て実施した「市内遺跡発掘調査」の概要をまとめた報告書である。
- 2 確認調査は、太田市教育委員会が平成28年度に実施し、整理作業は平成29年度に実施した。
- 3 本書は、「市内遺跡発掘調査」によって確認調査を実施した遺跡について調査概要を掲載している。
- 4 発掘調査の期間および組織体制は、以下の通りである。

期 間 平成28年4月11日～平成29年3月14日（なお、平成29年2月28日以降は、市単独費用で確認・発掘調査を行なった。）

調査主体者 太田市教育委員会 教育長 澁澤啓史

調査担当者 太田市教育委員会 教育部

文化財課 係長代理 長谷川幸男 主任 山口高志 主事 岩松大輔

臨時職員 須田茂

事業事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 菅間健司 副部長 恩田由之

文化財課 課長 小宮俊久 主幹 島田孝雄 課長補佐 金澤誠 係長代理 飯島真由美

岡部由紀江、峯岸建司、中村渉、今井啓泰、尾島静乃 主事 小島祥由 嘱託職員 岩崎康

之 臨時職員 須田茂、徳永良枝、長谷川理子

- 5 整理作業の期間および組織体制は、以下の通りである。

期 間 平成29年2月1日～2月28日・平成29年5月8日～9月29日

28年度組織体制

事業主体者 太田市教育委員会 教育長 澁澤啓史

整理担当者 太田市教育委員会 教育部

文化財課 係長代理 長谷川幸男、主任 山口高志 主事 岩松大輔

臨時職員 須田茂

事業事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 菅間健司 副部長 恩田由之

文化財課 課長 小宮俊久 主幹 島田孝雄 課長補佐 金澤誠 係長代理 飯島真由美

岡部由紀江、峯岸建司、中村渉、今井啓泰、尾島静乃 主事 小島祥由 嘱託職員 岩崎康

之 臨時職員 須田茂、徳永良枝、長谷川理子

29年度組織体制

事業主体者 太田市教育委員会 教育長 澁澤啓史

整理担当者 太田市教育委員会 教育部

文化財課 係長代理 長谷川幸男、遠坂純伸 主任 山口高志

主事 岩松大輔 主事補 宮崎航 臨時職員 須田茂

事業事務局 太田市教育委員会 教育部 部長 菅間健司 副部長 恩田由之

文化財課 参事 小宮俊久 主幹 島田孝雄 係長 岡部由紀江、静野勝信

係長代理 飯島真由美、中村渉、今井啓泰、尾島静乃、塚越悟 主任 関根圭介 主事 小
嶋祥由 嘱託職員 岩崎康之 臨時職員 徳永良枝、長谷川理子

- 6 本書の執筆は、長谷川幸男、山口高志、岩松大輔、編集は山口高志がそれぞれ担当した。
- 7 本書に掲載した遺構の写真は、各調査担当者が撮影した。
- 8 発掘調査および本書の作成にあたっては下記の方々、機関より御教示、御協力を賜った。
記して謝意を表したい。

群馬県教育委員会文化財保護課、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

- 9 本書に関わる資料ならびに遺物は太田市教育委員会で保管している。
- 10 発掘調査ならびに整理作業に携わった作業員は、以下のとおりである。
発掘作業員 相澤保夫、小澤信久、尾内元夫、柿沼孝、鎌須賀伸彦、川上進、北爪勇次、北原広志、後
藤良、佐瀬隆一、正田孝夫、白石孝、高橋芳樹、丸谷了司、丸山秀夫、山本眞夫、油布眞次郎
整理作業員 浅見佳代子、今井好江、大坪春美、木村純子、栗原菜穂子

凡 例

- 1 位置図等にベースマップとして都市計画図（太田市都市計画課 平成23年度作製）を使用した。
- 2 確認調査全体図あるいは出土遺物実測図のスケールは各図に表示した。

目 次

はじめに

例 言

凡 例

目 次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 調査の方法および経過	2
第3章 遺跡の位置と歴史的環境	2～5
第4章 調査の成果	6～66
第5章 まとめ	67～69
写真図版	70～91
報告書抄録	

第1章 調査に至る経緯

平成28年度における各種開発事業の公共事業については、前年度（平成27年度）に開発部局に対し事業照会を行ない、公共工事計画の情報入手に努めた。一方、民間開発については、事前問い合わせ窓口を開設し、その都度埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行なった。

試掘・確認調査は、文化財保存事業費国庫補助金や県費補助金を受けて「市内遺跡発掘調査」として事前調査を実施し、開発事業との調整を図ることとした。また、開発範囲が狭小で通常の確認調査の実行が不可能な場合、開発工事の途中で遺構の有無や掘削深度など確認する工事立会を実施した。

なお、試掘・確認調査の結果、遺構が確認され現状保存が困難な場合、記録保存のための本発掘調査を実施した。



第1図 太田市全図

第2章 調査の方法および経過

太田市における各種開発事業に伴う埋蔵文化財取り扱いの調整については、次のような方法で実施した。まず、事業照会や事前問い合わせにより開発計画の情報を得て、その開発予定地が埋蔵文化財包蔵地内であるかどうか太田市埋蔵文化財包蔵地図をもとに判断をした。包蔵地内にある場合、事業者に「埋蔵文化財発掘の届出・通知」の提出を要請し、その開発内容により「慎重工事」・「工事立会」・「確認調査」の指導をした。

確認調査の場合は、「確認調査依頼書兼発掘承諾書」の受理後、日程の調整をして、申請人あるいは申請代理人の立会のもと調査を実施した。調査時には、対象となる土地の地形や形状または開発内容を考慮した上で調査区を設定し、遺構確認面まで掘削機等で掘り下げた。遺構の有無、遺構の内容は、人力による精査で把握した。記録は平面図・断面図等を作成するほか、35ミリカラーフィルムおよびデジタルカメラにて写真撮影を行なった。確認調査後は申請人あるいは申請代理人の立会のもと埋め戻しを行ない、沈下を防ぐため十分に転圧をして現場を引き渡した。

調査後の整理作業については、これらの調査によって出土した遺物の洗浄・注記・接合・実測や、図面の修正・トレース・編集などを行ない、翌年度に報告書『市内遺跡発掘調査』の刊行を行なうこととしている。

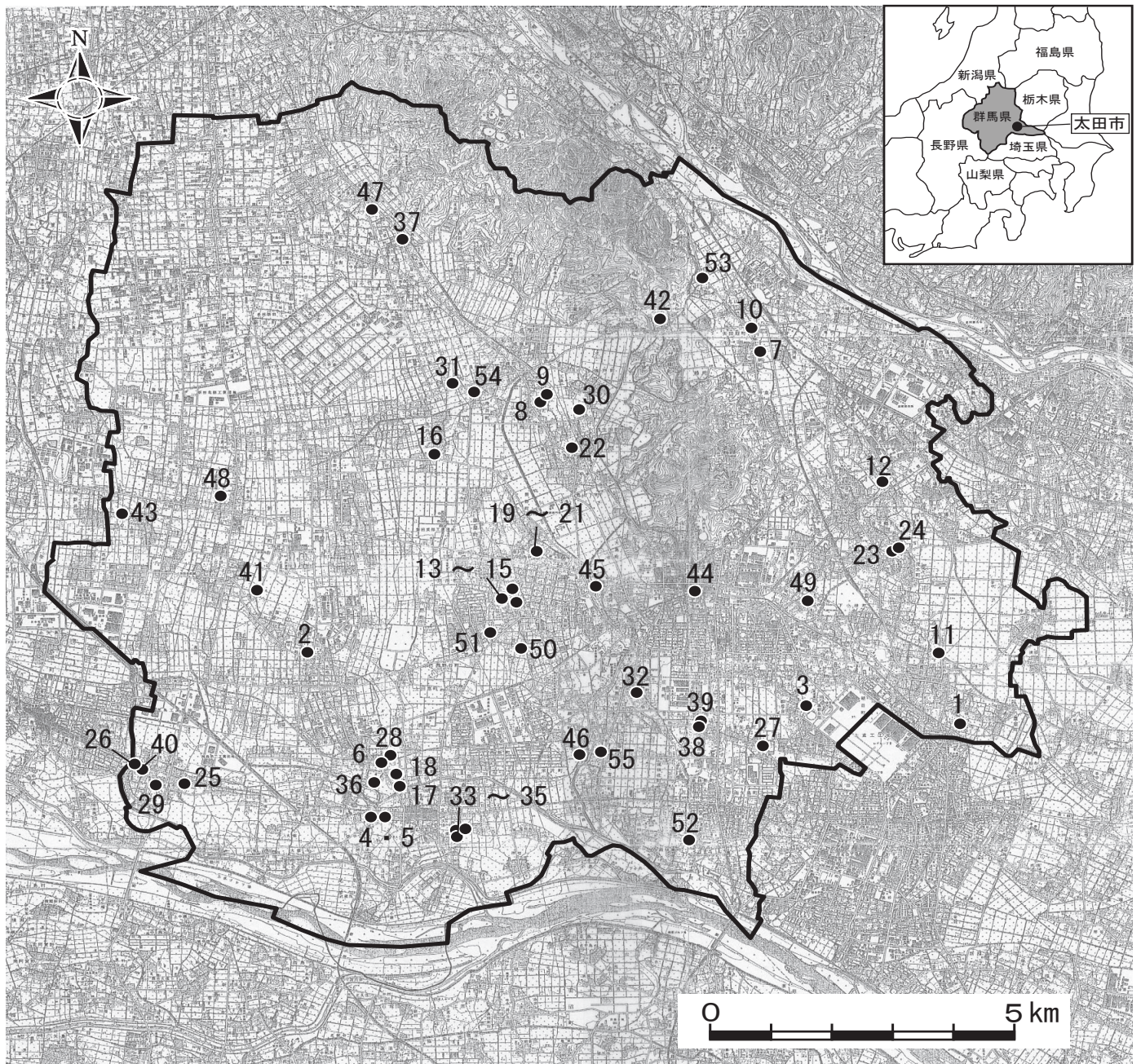
当市の平成28年度における事前問い合わせ件数は公共・民間あわせ合計2,346件であった。そのうち、遺跡地内で開発行為が計画され、埋蔵文化財発掘の届出・通知が提出されたのは合計644件であった。確認調査総数は55件で、そのうち「市内遺跡発掘調査」として国および県費補助金を得て実施した試掘・確認調査件数は合計52件であった。なお、残り3件については市単独費用で調査を実施した。「市内遺跡発掘調査」における開発目的の内訳は、公共事業では区画整理道路3件、農業地盤整備事業1件、給食室1件であった。一方、民間開発では個人住宅4件、建売住宅5件、集合住宅・賃貸住宅12件、店舗3件、幼稚園・保育園4件、庫裏改築1件、倉庫1件、資材置場1件、太陽光発電施設4件、宅地造成11件、道路（改修含む）2件、組合による区画整理道路・排水路2件であった。

第3章 遺跡の位置と歴史的環境

太田市は、北部に八王子丘陵、市域中央に金山丘陵が広がっている。八王子丘陵西側の藪塚地域には大間々扇状地が広がり、扇状地の端部に位置する新田地域からは湧水が流れ出し、古代より生活の水脈として利用されている。中央部には広大な平地が広がり、水田地帯が形成されている。利根川に面する南西部の尾島地域は、旧利根川の流路にあたる部分であり、榛名二ツ岳の噴火による噴出物の洪水堆積層によって遺跡が覆われている。

平成17年度に合併する以前の旧1市3町の範囲は、太田地域・尾島地域・新田地域・藪塚本町地域の4区域に分けられる。平成29年4月1日現在で太田市全体としては、965遺跡が確認されており、これらを主な時代ごと多い順に列挙すると、古墳時代が最も多く、ついで奈良・平安時代、中世、縄文時代、近世、弥生時代、旧石器時代となっている。

平成28年度「市内遺跡発掘調査」として実施した調査地の概要について、次ページの地図及び一覧表にまとめた。



- 1 石神遺跡 2 一町田・堀之内遺跡 3 内ヶ島南田遺跡 4・5 F P泥流下遺跡群 6 延享割遺跡
 7 楽前遺跡 8 上遺跡 9 上遺跡、寺裏遺跡、鳥山寺中遺跡 10 上宿遺跡 11 賀茂遺跡 12 雉子ノ尾遺跡
 13・14・15 北之庄遺跡 16 小金井馬場南遺跡 17・18 下田島遺跡 19・20・21 下原遺跡
 22 上泉開戸遺跡、鎧着遺跡 23・24 新堀遺跡 25 世良田環濠集落 26 総持寺（新田館跡）
 27 田谷遺跡、飯塚条里制水田跡 28 長福寺遺跡 29 長楽寺遺跡 30 鶴生田古墳群 31 天良七堂遺跡
 32 道灌谷戸遺跡 33・34・35 東部地区遺跡群 36 西田島遺跡 37 西野西遺跡 38・39 西矢島遺跡
 40 新田館跡、世良田環濠集落 41 登戸遺跡 42 萩原窯跡、萩原遺跡 43 馬場遺跡 44 浜町遺跡
 45 藤阿久古墳群 46 細谷古墳群 47 三島遺跡 48 妙参寺沼遺跡 49 目塚遺跡 50 由良天王遺跡
 51 由良の砦跡 52 梁場遺跡 53 落内遺跡 54 久保畑遺跡 55 御手洗遺跡

第2図 平成28年度調査地位置図

表1 平成28年度市内遺跡発掘調査 調査地一覧表(補助金対象)

No.	受付No.	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	調査結果	備考
1	572	17165	龍舞町826-1他	石神遺跡	宅地造成	1202	80	8月25日 ～8月26日	遺構 遺物 溝1 なし	本調査なし
2	1102	18117	新田木崎町1444-4	一町田・堀之内遺跡	宅地造成	993	64	1月30日 ～1月31日	遺構 遺物 住居跡2、溝3、土坑2 古墳時代の土器片	本調査なし
3	934	17772	飯塚町1047-1	内ヶ島南田遺跡	集合住宅	923	50	12月8日	縄文～古墳時代の土器片	本調査なし
4	137	16443	亀岡町425-1他	FP泥流下遺跡群	建売住宅	1508	100	10月6日	遺構 遺物 土坑2 奈良時代の土器片	本調査なし
5	826	17582	亀岡町469-2他	FP泥流下遺跡群	宅地造成	665	60	10月24日	遺構 遺物 土坑1 なし	本調査なし
6	703	17372	泉町1327-1他	延享割遺跡	賃貸住宅	1265	63	11月1日 ～11月2日	遺構 遺物 溝2 古墳時代の土器片	本調査なし
7	482	17002	矢田掘町181-1他	楽前遺跡	宅地造成	1514	184	1月23日 ～1月24日	遺構 遺物 溝2、土坑5、ビット7 なし	本調査なし
8	20	16255	烏山上町1498-1他	上遺跡	集合住宅	1200	73	6月8日	遺構 遺物 なし 古墳～奈良時代の土器片	本調査なし
9	793	17525	烏山上町1413-1他	上遺跡、寺裏遺跡、 烏山寺中遺跡	建売住宅	3228	136	11月8日 ～11月10日	遺構 遺物 住居跡11、溝5、土坑6等 奈良時代の土器片	本調査を実施
10	478	16995	矢田掘町285-7他	上宿遺跡	店舗	3916	30	7月19日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
11	62	16321	龍舞町3805-1	賀茂遺跡	個人住宅	280	56	5月19日	遺構 遺物 住居跡2 平安時代の土器片および古銭	本調査なし
12	373	16823	上小林町97他	雉子ノ尾遺跡	宅地造成	2495	140	7月14日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
13	2	16226	由良町1738-1他	北之庄遺跡	給食室	340	36	4月18日	遺構 遺物 方形周溝墓1、住居跡2 土坑2 縄文～古墳時代の土器片	本調査を実施
14	456	16969	由良町1722-1他	北之庄遺跡	集合住宅	999	70	8月25日	遺構 遺物 溝3、土坑3、ビット2 縄文～古墳時代の土器片	本調査なし
15	455	16965	由良町1586-3他	北之庄遺跡	集合住宅	2211	122	11月14日	遺構 遺物 住居跡4、溝3、土坑10 ビット多数 奈良～中世の土器片	本調査なし
16	494	17027	新田小金井町959-6他	小金井馬場南館跡	個人住宅	405	16	7月25日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
17	106	16383	下田島町1063-2他	下田島遺跡	区画整理	185	25	4月27日	遺構 遺物 溝2、土坑1、ビット3 なし	本調査なし
18	60	16318	下田島町1057-1	下田島遺跡	店舗	3966	156	5月9日 5月12日	遺構 遺物 古墳3、土坑1 縄文～古墳時代の土器片 および埴輪片	本調査なし
19	312	16728	新道町105-8の一部	下原遺跡	集合住宅	968	50	7月27日 ～7月28日	遺構 遺物 土坑7 なし	本調査なし
20	313	16729	新道町105-8の一部	下原遺跡	集合住宅	842	40	7月27日 ～7月28日	遺構 遺物 溝1 なし	本調査なし
21	314	16730	新道町105-8の一部	下原遺跡	集合住宅	997	50	7月27日 ～7月28日	遺構 遺物 住居跡1、溝2、土坑1 ビット1 なし	本調査を実施
22	696	17357	烏山中町938	上泉開戸遺跡 鑑着遺跡	宅地造成	1094	75	10月27日	遺構 遺物 住居跡2、土坑1、ビット3 奈良時代の土器片	本調査なし
23	492	17022	台之郷町845	新堀遺跡	園舎	2651	103	10月18日 ～10月19日	遺構 遺物 溝2 中世の土器片	本調査なし
24	467	16982	台之郷町811-1他	新堀遺跡	園舎	1560	80	7月21日	遺構 遺物 館の堀1、土坑6、ビット1 なし	本調査なし
25	542	17115	世良田町1113-2	世良田環濠集落	排水路	1254	10	9月7日	遺構 遺物 世良田環濠集落の東辺堀 なし	本調査なし
26	770	17488	世良田町3201-6	総持寺 (新田館跡)	庫裏改築	119	41	10月3日 ～10月7日	遺構 遺物 溝5、土坑5 中世の土器片 中・近世の瓦片	本調査なし
27	15	16247	東矢島町1228-3他	田谷遺跡 飯塚条里制水田跡	宅地造成	2964	247	4月11日 ～4月12日	遺構 遺物 溝17、土坑9、ビット3 古墳・奈良時代の土器片 中・近世の陶器片	本調査なし
28	116	16398	下田島町1132-5	長福寺遺跡	区画整理	79	25	4月27日	遺構 遺物 溝2 なし	本調査なし
29	816	17563	世良田町3119-6他	長楽寺遺跡	認定こども 園	3229	53	10月13日 ～10月14日	遺構 遺物 住居跡1、溝7、土坑4 ビット6 中世以降の陶器片	本調査なし

No.	受付No.	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査期間	調査結果	備考
30	887	17690	鶴生田町1022他	鶴生田古墳群	太陽光発電	800	117	12月12日 ～12月14日	遺構 遺物 古墳2 埴輪片	本調査を実施 する予定
31	37	16287	新田小金井町1583-1他	天良七堂遺跡	資材置場	2862	160	2月6日 ～2月9日	遺構 遺物 新田郡家区溝溝、住居跡2 溝1、土坑7、ピット10 古墳時代の土器片等	本調査なし
32	987	17888	下浜田町977-1他	道灌谷戸遺跡	建売住宅	4112	160	2月13日 ～2月14日	遺構 遺物 土坑2、ピット1 なし	本調査なし
33	218	16579	堀口町266-2他	東部地区遺跡群	集合住宅	1114	15	5月23日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
34	493	17026	堀口町地内	東部地区遺跡群	区画整理	2501	230	7月27日 ～7月29日	遺構 遺物 住居跡1、溝3、土坑9 ピット20 平安時代～中世の土器片	本調査を実施
35	1165	18270	岩松町269-11他	東部地区遺跡群	区画整理	237	30	2月17日	遺構 遺物 溝1 なし	本調査なし
36	156	16476	下田島町1243-113他	西田島遺跡	集合住宅	938	85	5月13日	遺構 遺物 住居跡4、古墳1、溝1 土坑1 縄文土器および埴輪片	本調査なし
37	3	16277	藪塚町3017-1	西野西遺跡	建売住宅	1430	80	4月18日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
38	571	17164	西矢島町357	西矢島遺跡	道路補修	101	20	8月23日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
39	673	17327	西矢島町357	西矢島遺跡	建売住宅	902	50	9月12日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
40	390	16851	世良田町843-5他	新田館跡 世良田環濠集落	個人住宅	357	39	7月12日	遺構 遺物 溝3、土坑6、ピット3 なし	本調査なし
41	286	16693	新田上江田町549-1	登戸遺跡	太陽光発電	1092	80	7月7日	遺構 遺物 住居跡1、溝2、土坑2 古墳時代の土器片	本調査なし
42	406	16872	吉沢町2113-1	萩原窯跡 萩原遺跡	太陽光発電	1547	90	7月4日	遺構 遺物 溝4、土坑4、ピット5 なし	本調査なし
43	315	16733	新田上田中町1070-1他	馬場遺跡	宅地造成	2680	100	8月1日	遺構 遺物 溝1 近世の土器片	本調査なし
44	105	16380	本町7-8他	浜町遺跡	区画整理	792	82	4月25日 ～4月26日	遺構 遺物 住居跡10、溝2、土坑多数 ピット3 古墳時代の土器片	本調査を実施
45	700	17363	藤阿久町910-2他	藤阿久古墳群	集合住宅	776	45	9月30日	遺構 遺物 古墳1、溝1 埴輪片	本調査なし
46	446	16946	細谷町35-5他	細谷古墳群	認定こども 園	886	23	7月14日	遺構 遺物 古墳1 古墳時代の土器片	本調査を実施
47	922	17748	藪塚町2911-1他	三島遺跡	資材置場	2605	160	12月6日 ～12月7日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
48	640	17276	新田大根町192-1他	妙参寺沼遺跡	宅地造成	1642	80	9月9日	遺構 遺物 住居跡1、溝1、土坑1 縄文時代の土器片	本調査なし
49	198	16539	東長岡町191-1他	目塚遺跡	宅地造成	4805	24	12月9日	遺構 遺物 溝2 古墳時代の土器片および埴輪片	本調査なし
50	1099	18114	由良町1825-1他	由良天王遺跡	宅地造成	2622	99	2月13日 ～2月14日	遺構 遺物 溝1、土坑6、ピット7 なし	本調査なし
51	504	17045	由良町1617-1他	由良の砦跡	倉庫	4630	30	2月2日	遺構 遺物 溝1、土坑3、ピット1 奈良時代の土器片	本調査なし
52	776	17501	高林南町282-2他	梁場遺跡	集合住宅	780	49	1月13日	遺構 遺物 溝1 埴輪片	本調査なし

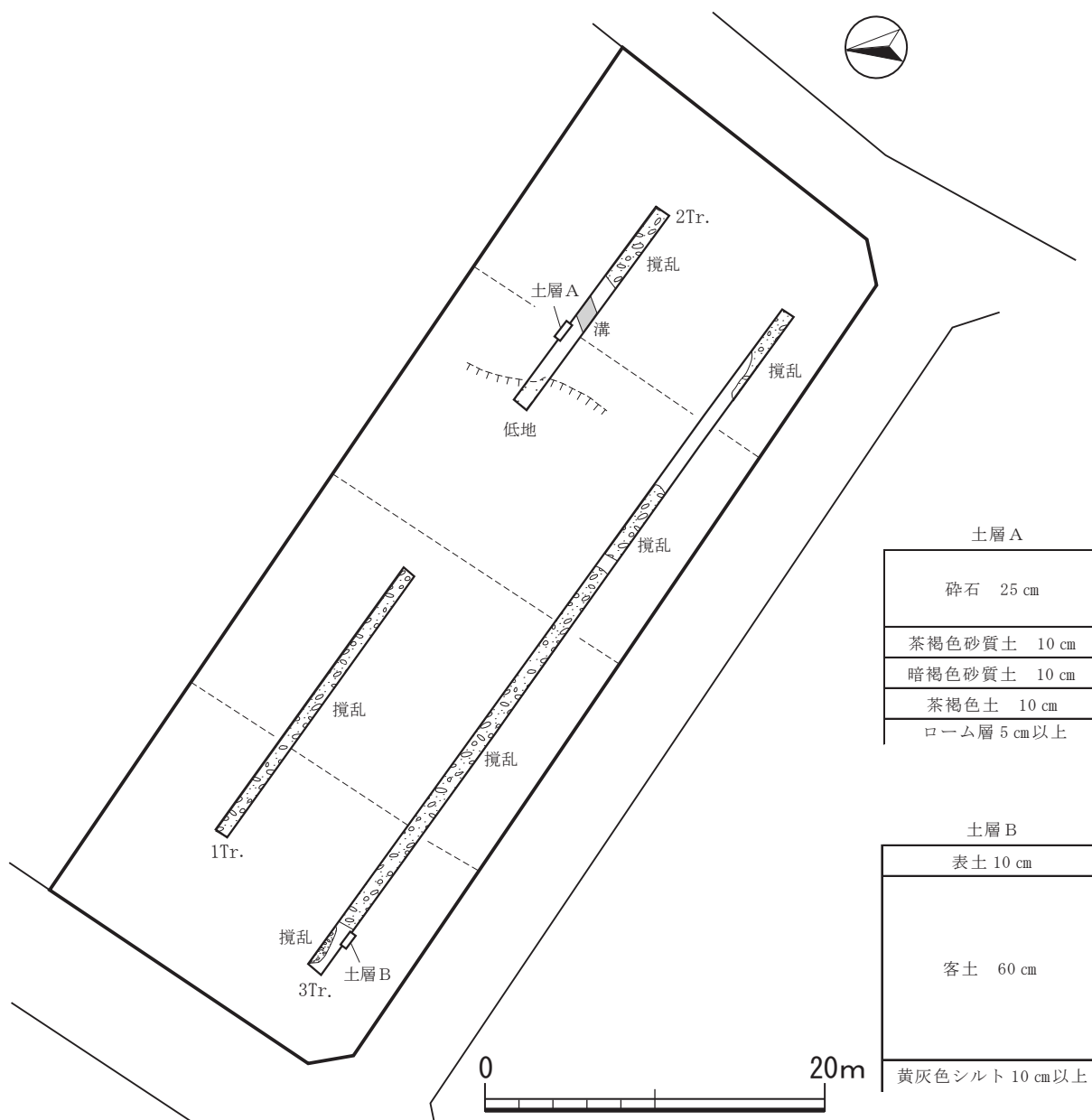
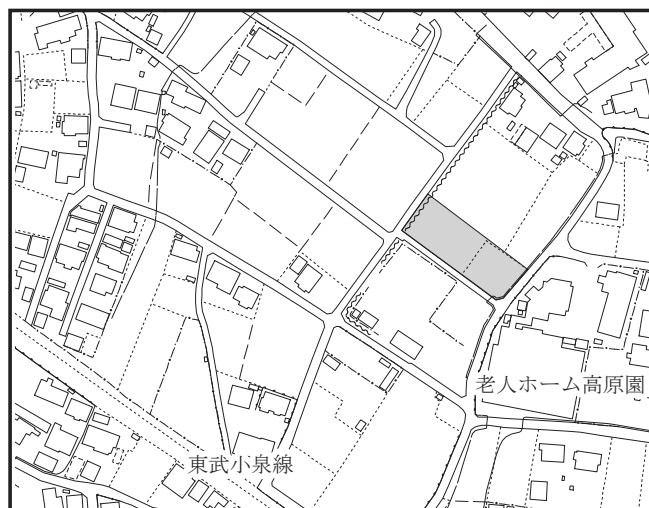
表2 平成28年度市内遺跡発掘調査 調査地一覧表(補助金対象外)

No.	受付No.	ID	所在地	遺跡名	開発原因	開発面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査期間	調査結果	備考
53	900	17717	吉沢町1315-1,1327-1	落内遺跡	太陽光発電	970	70	2月23日	遺構 遺物 なし なし	本調査なし
54	1089	18090	寺井町553-1	久保畑遺跡	個人住宅	416	40	3月14日	遺構 遺物 住居跡2 古墳時代の土器片	本調査を実施
55	980	17880	細谷町87-27	御手洗遺跡	店舗	1040	50	2月28日	遺構 遺物 住居跡2、土坑5 平安時代の土器片	本調査なし

※上記3件は、市単独費用で調査を実施した。

第4章 調査の成果

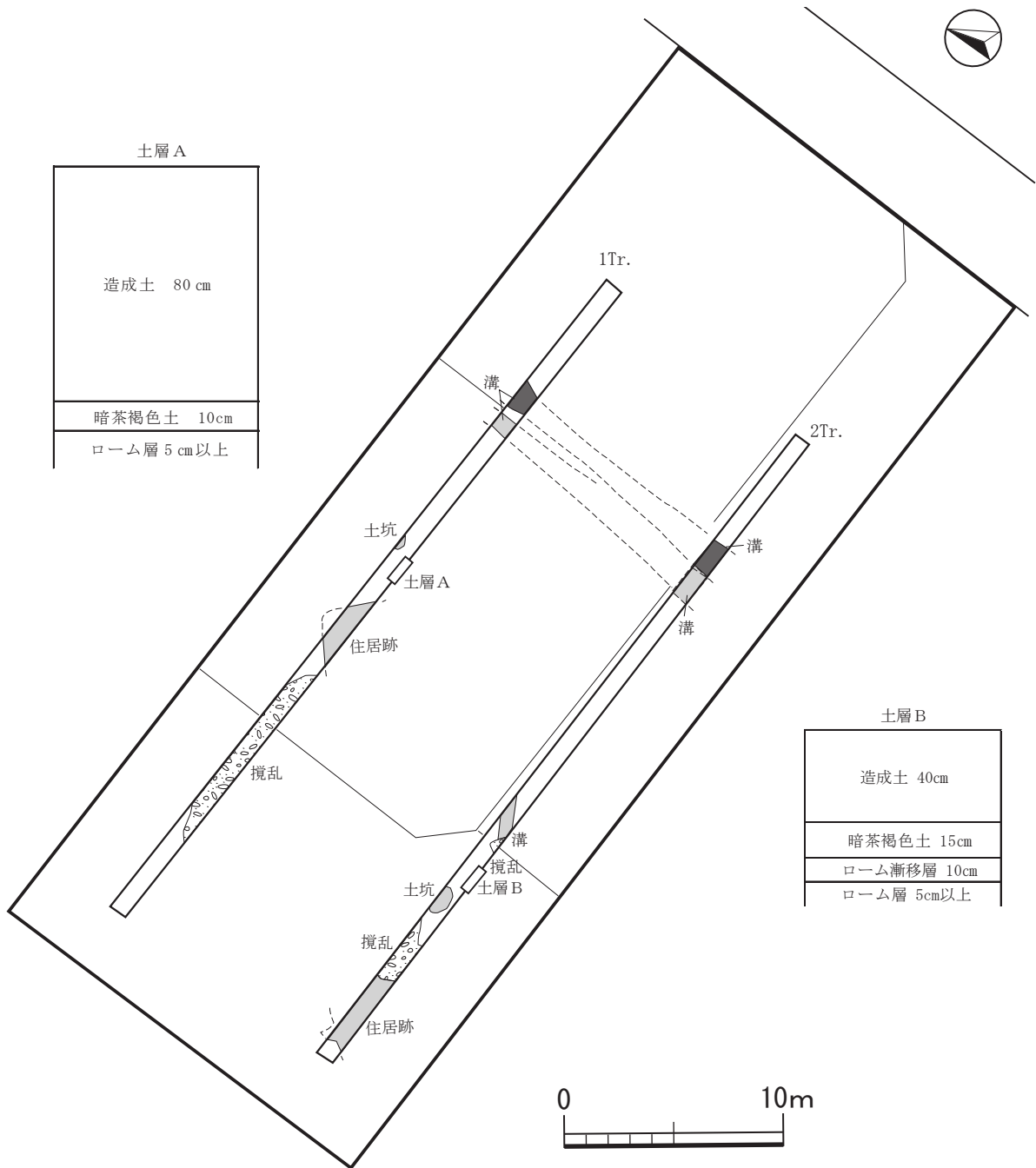
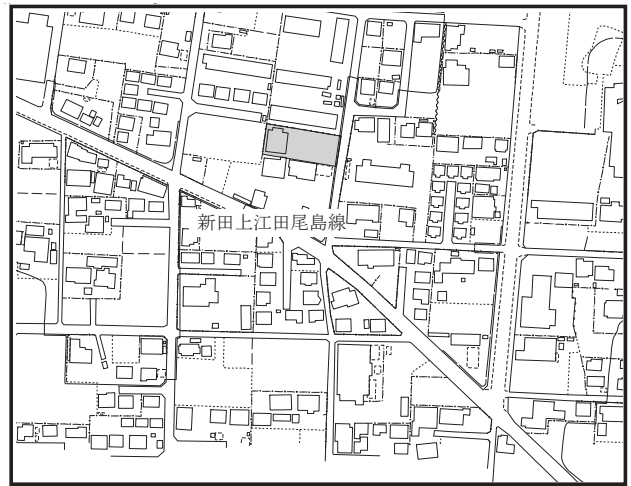
- 1 石神遺跡 (H28No.572)
- ① 所在地 太田市龍舞町826-1 他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 造成予定地にトレンチを3本設定し、ローム層または黄灰色シルト層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第3図 確認調査平面図・断面図

2 一町田・堀之内遺跡 (H28No.1102)

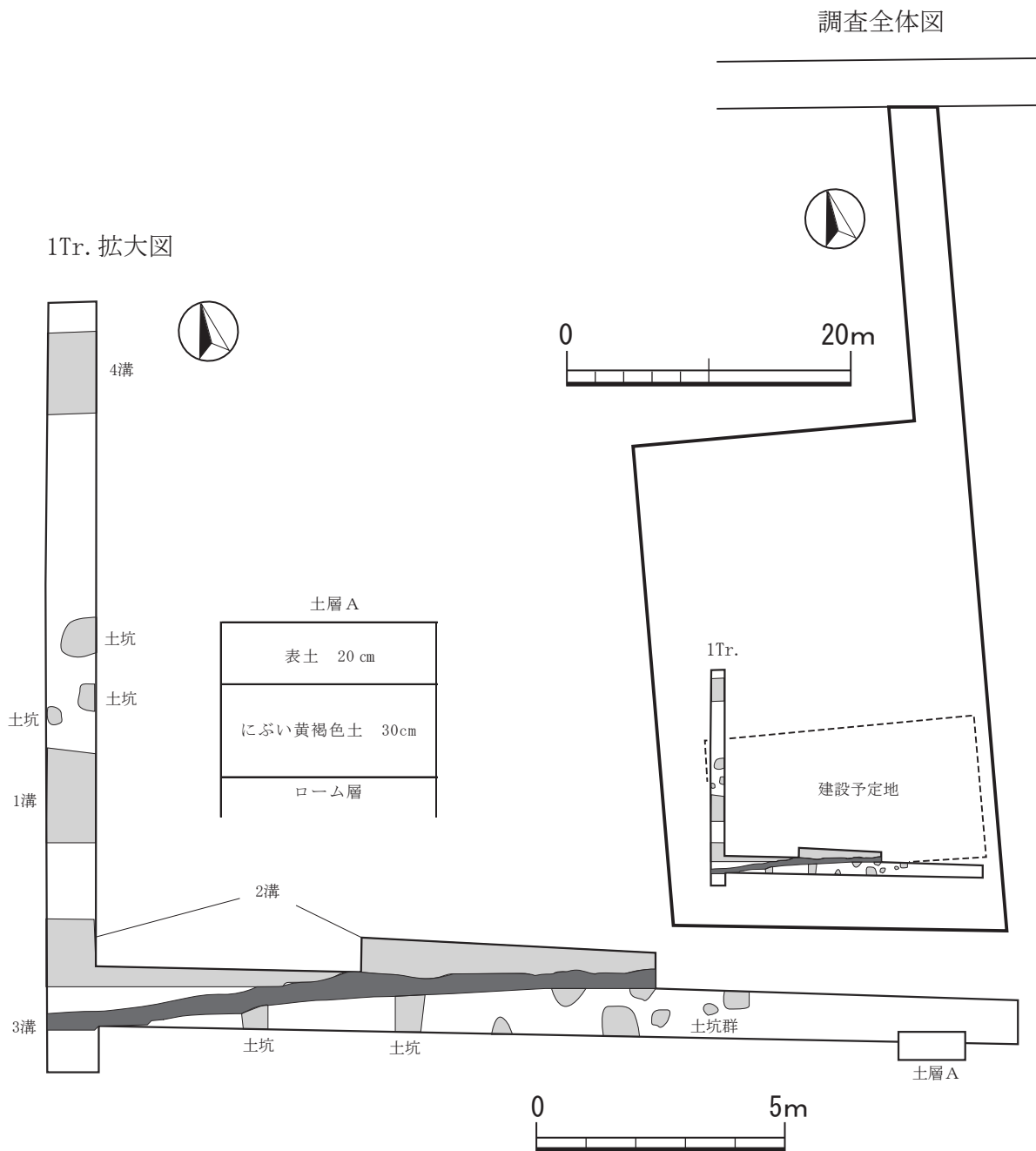
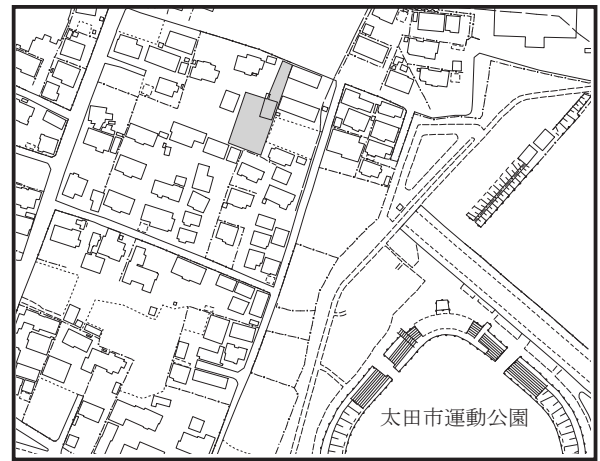
- ① 所在地 太田市新田木崎町1444-4
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 造成予定地にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、溝3条、土坑2基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第4図 確認調査平面図・断面図

3 内ヶ島南田遺跡 (H28No.934)

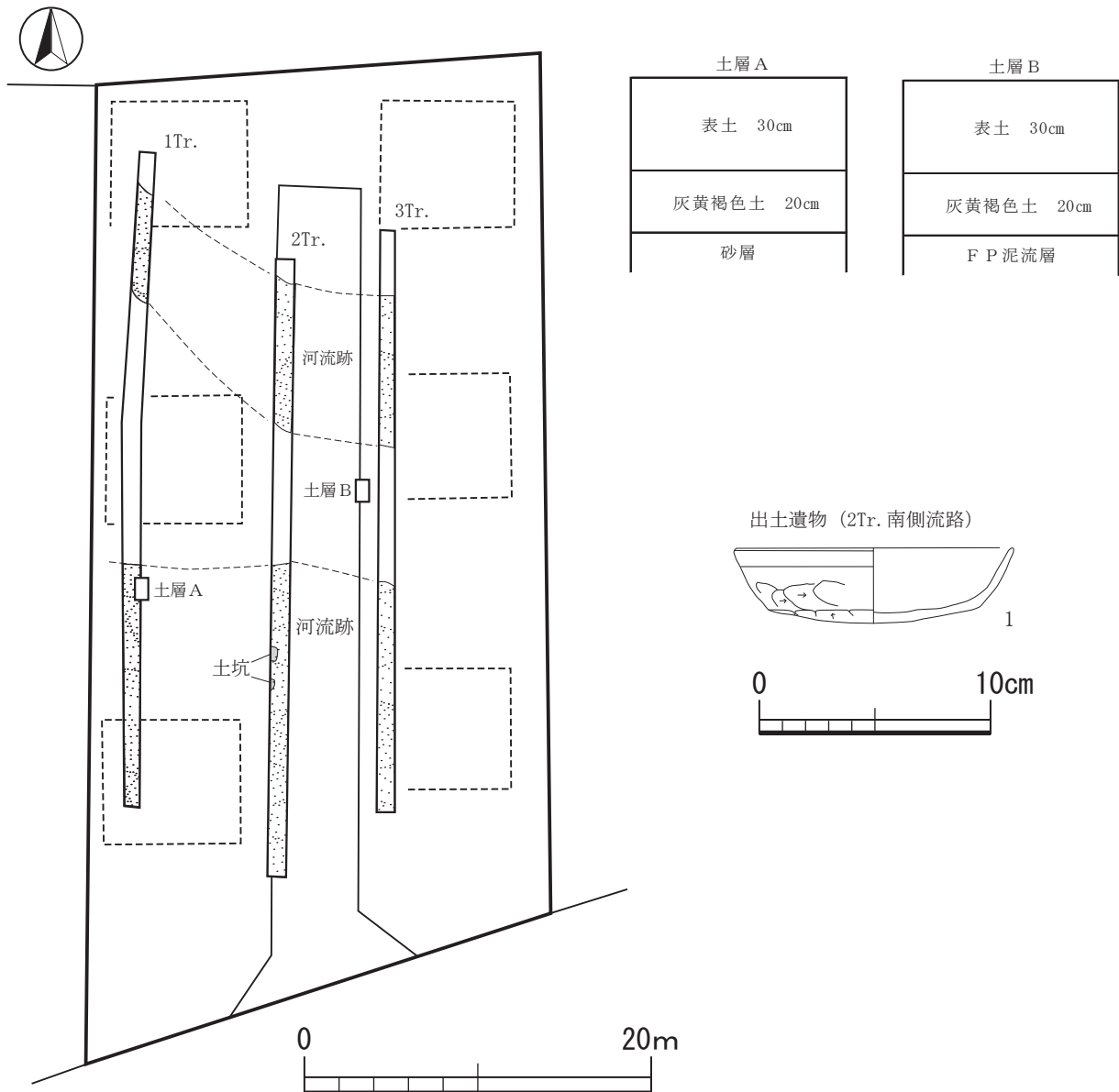
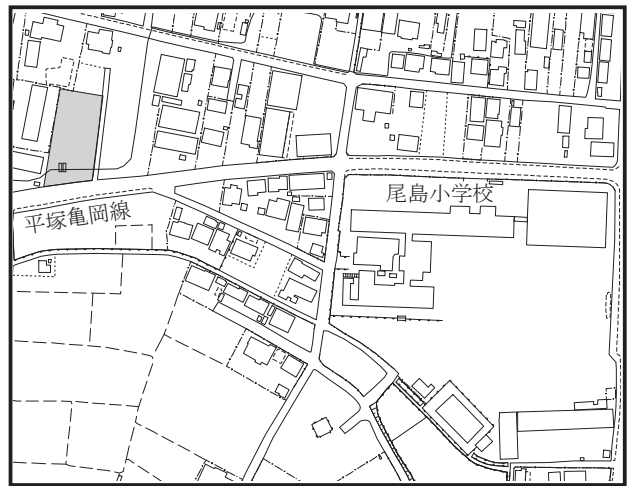
- ① 所在地 太田市飯塚町1047-1
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地にトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝4条、土坑12基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第5図 確認調査平面図・断面図

4 FP 泥流下遺跡群 (H28No.137)

- ① 所在地 太田市亀岡町425-1 他
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地にトレンチを3本設定し、FP 泥流層または砂層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑2基が確認され、奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の土坑と推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

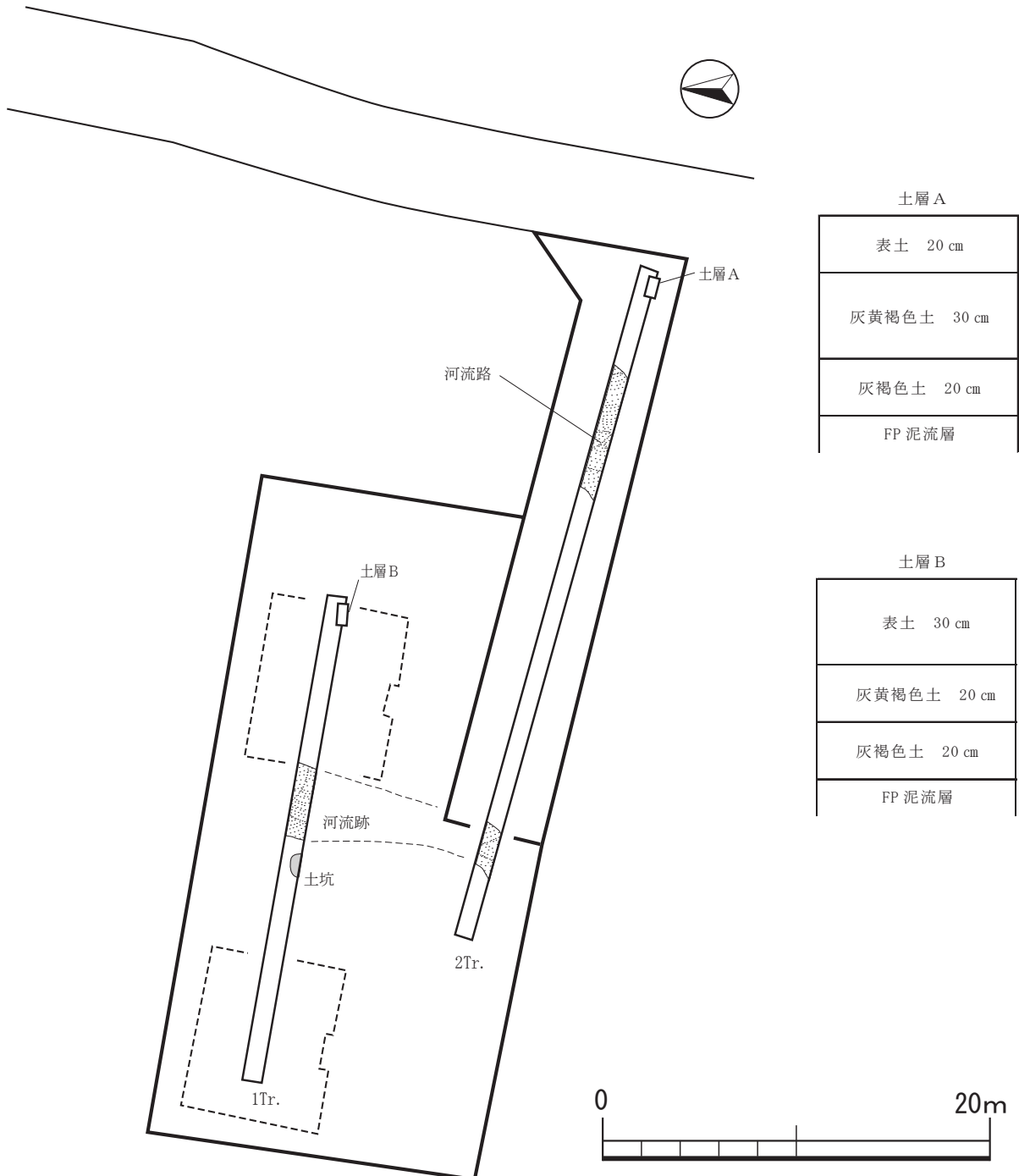
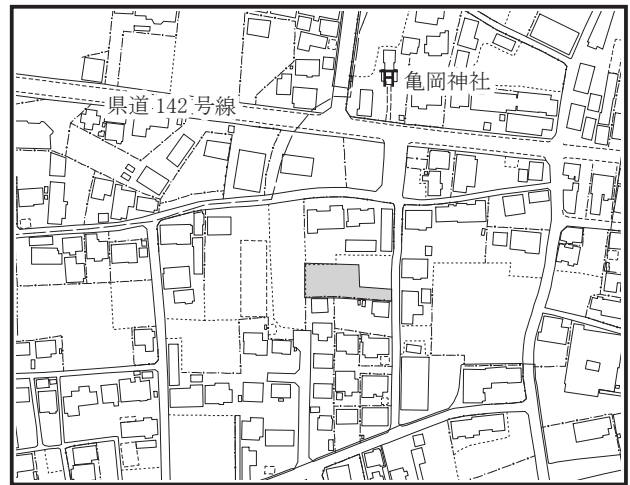


番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・坏	1/3	(12.2)・ - ・ 3.3	やや細	やや軟	くすんだ淡茶褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。底部内面、ナデ。体部外面、ヘラ削り。底部外面、ヘラ削り。

第6図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

5 FP 泥流下遺跡群 (H28No.826)

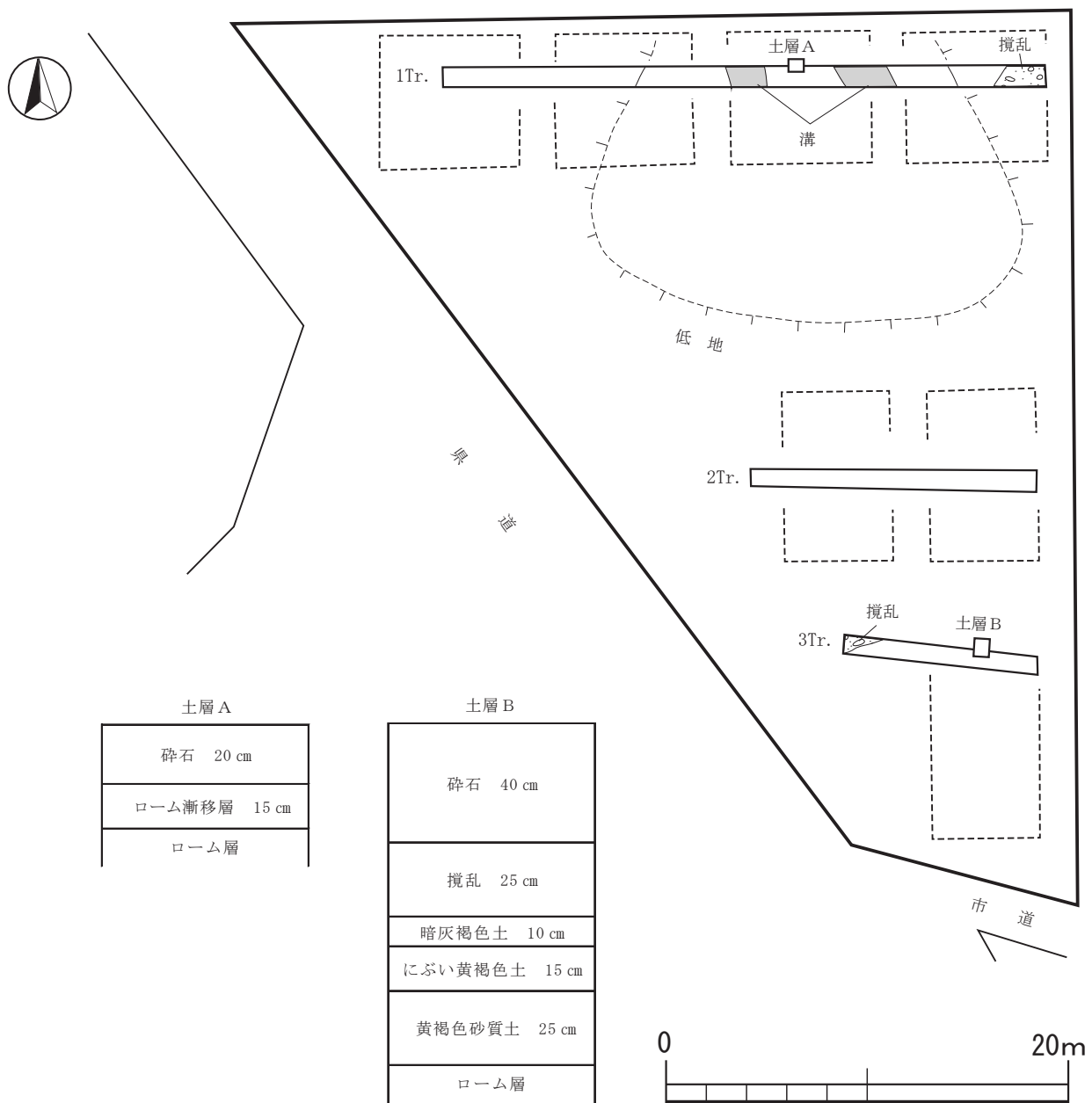
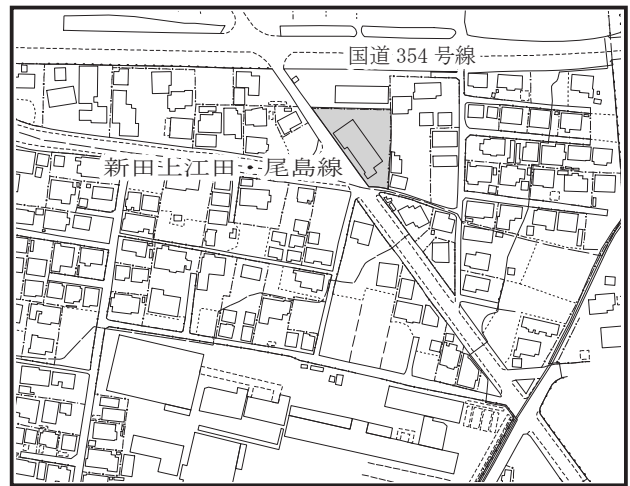
- ① 所在地 太田市亀岡町469-2 他
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 開発予定地にトレンチを2本設定し、FP 泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第7図 確認調査平面図・断面図

6 延享割遺跡 (H28No.703)

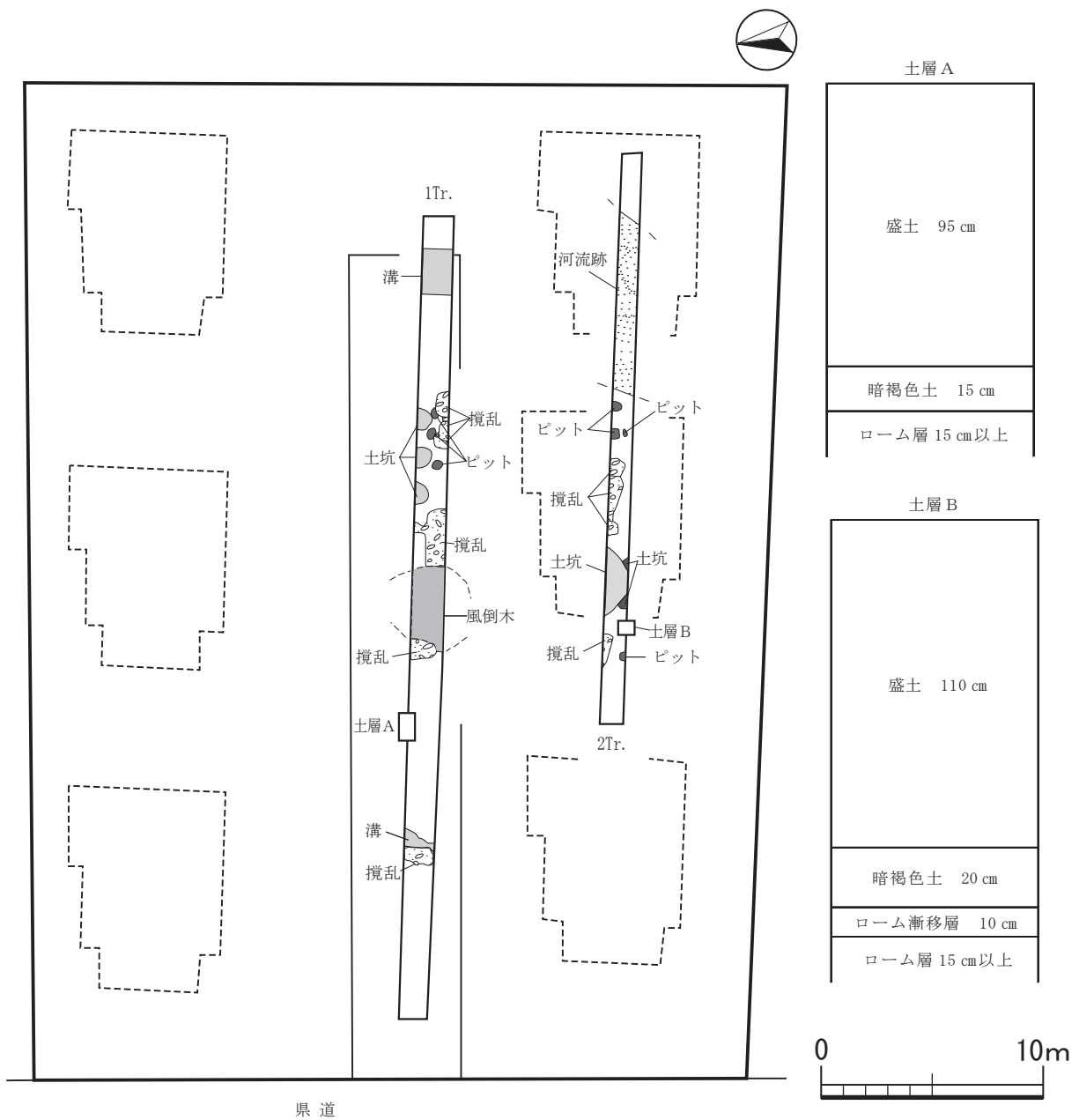
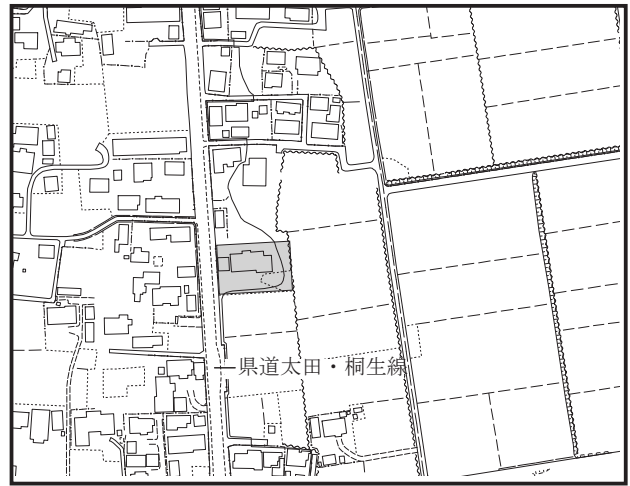
- ① 所在地 太田市泉町1327-1 他
- ② 調査原因 賃貸住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第8図 確認調査平面図・断面図

7 楽前遺跡 (H28No.482)

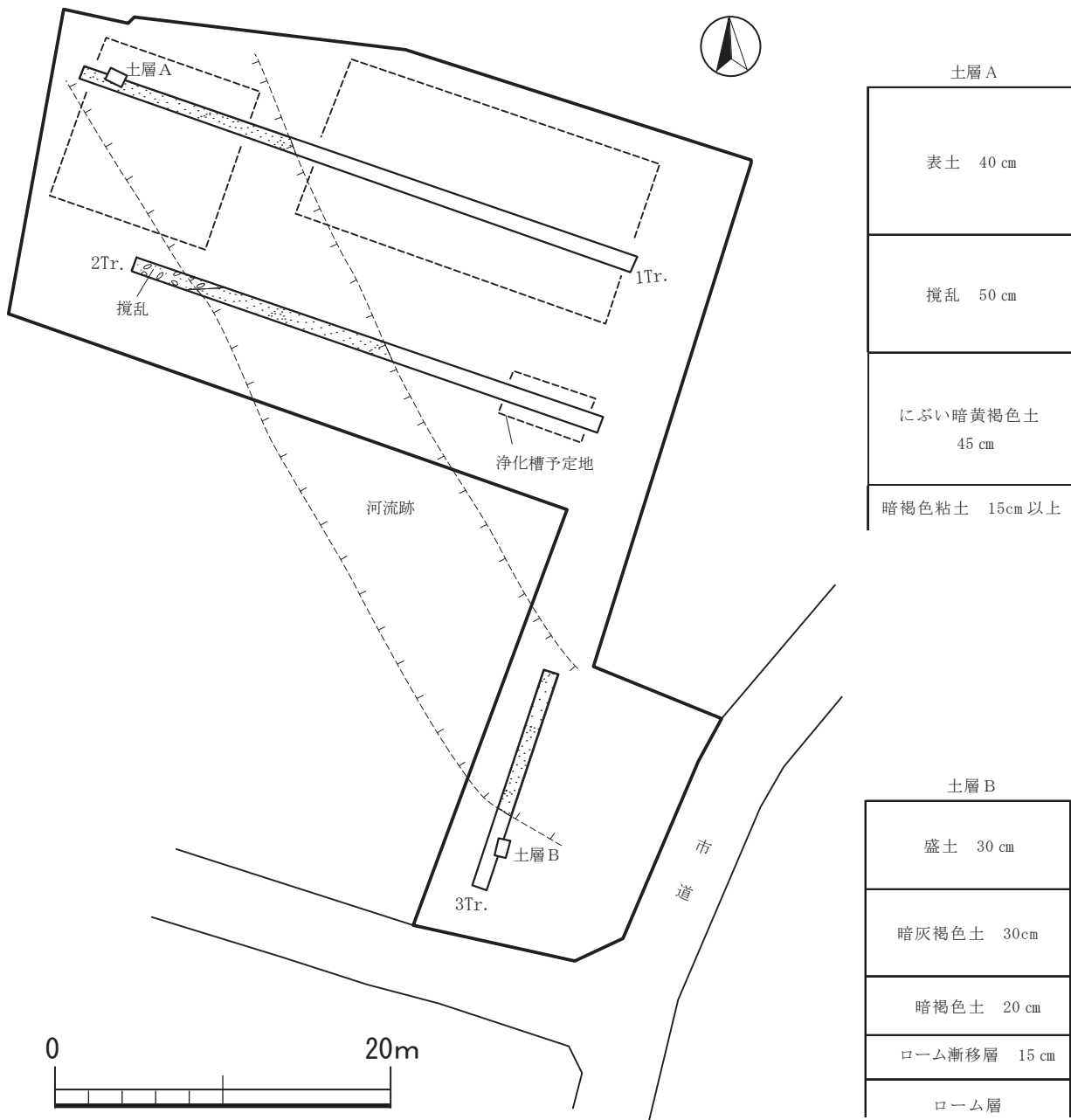
- ① 所在地 太田市矢田堀町181-1 他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 開発予定地にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑5基、ピット7基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構と推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第9図 確認調査平面図・断面図

8 上遺跡 (H28No.20)

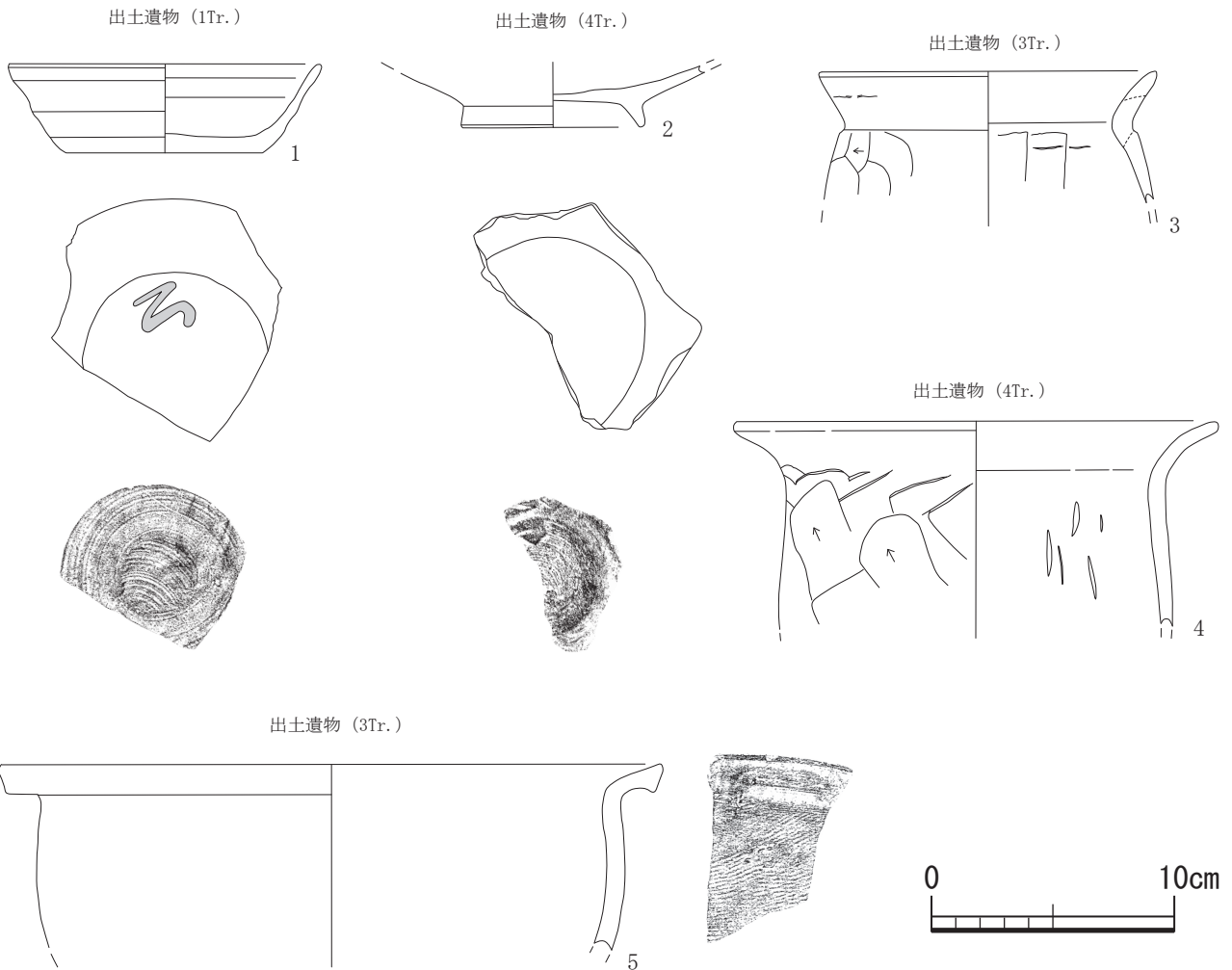
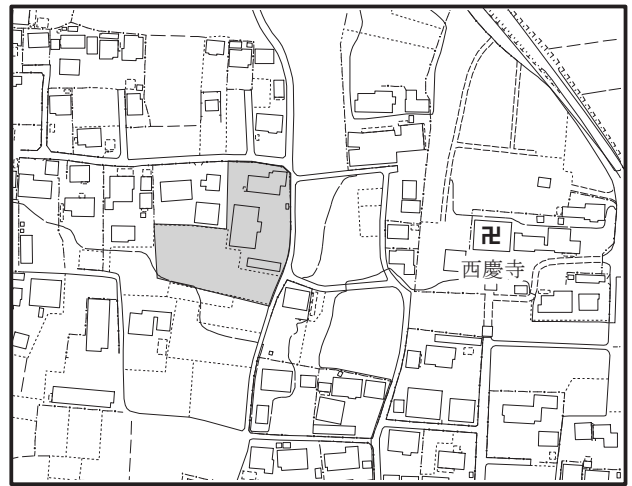
- ① 所在地 太田市鳥山上町1498-1 他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地等にトレンチを3本設定し、ローム層または暗褐色粘土層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構は確認されなかったが、古墳時代から奈良時代の遺物が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第10図 確認調査平面図・断面図

9 上遺跡、寺裏遺跡、鳥山寺中遺跡 (No.793)

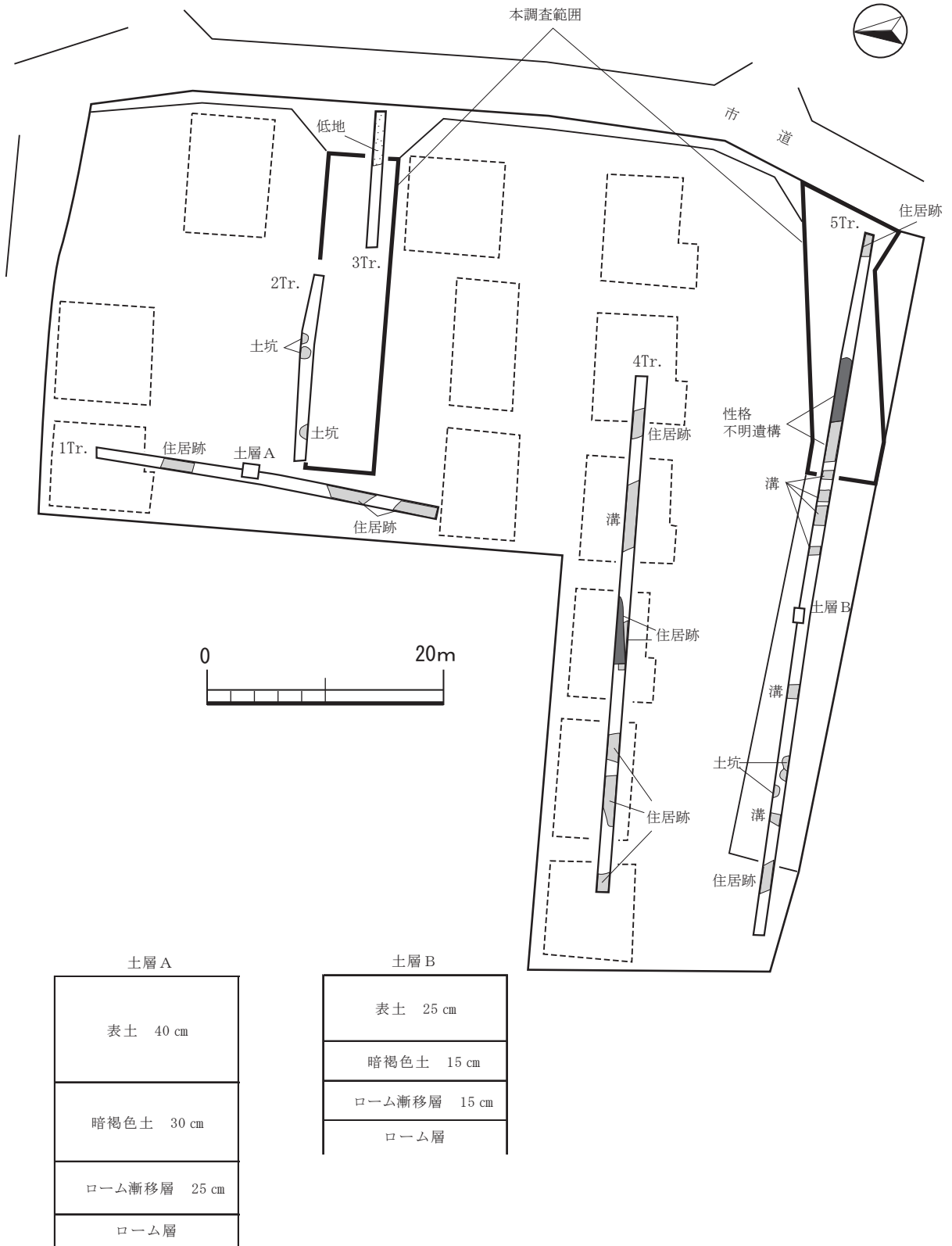
- ① 所在地 太田市鳥山上町1413-1 他
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを5本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡11軒、溝5条、土坑6基等が確認され、奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。



第11図 確認調査出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	須恵器・坏	1/2	(13.0)・(8.0)・3.7	緻密	やや軟	底部、灰色 外面、淡黒色	口縁部内外面、ロクロ右回転ヨコナデ。 底部外面、ロクロ右回転糸切り後、周縁ヘラ削り。 底部外面に「乙」の墨書。みどり市笠懸町の鹿ノ川窯跡産と考えられる。
2	須恵器・高台付皿	底部1/2	—・(7.5)・—	普通	普通	淡灰色	口縁部内外面、ロクロ回転ヨコナデ。底部外面、ロクロ糸切り後、高台を貼り付け。皿部中央部に磨耗痕があり、硯に転用したと考えられる。
3	土師器・甕	口縁破片	(14.0)・—・—	普通	普通	橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。 体部内面、ヘラナデ。粘土輪積み痕が部分的に残る。
4	土師器・甕	口縁破片	(20.0)・—・—	やや細	普通	淡褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。 体部外面、ヘラ削り。体部内面、ヘラナデ後、ナデ。
5	須恵器・鉢	口縁破片	(29.4)・—・—	やや緻密	堅緻	灰青色	口縁部内外面、ロクロ右回転ヨコナデ。 体部外面、平行叩目文。

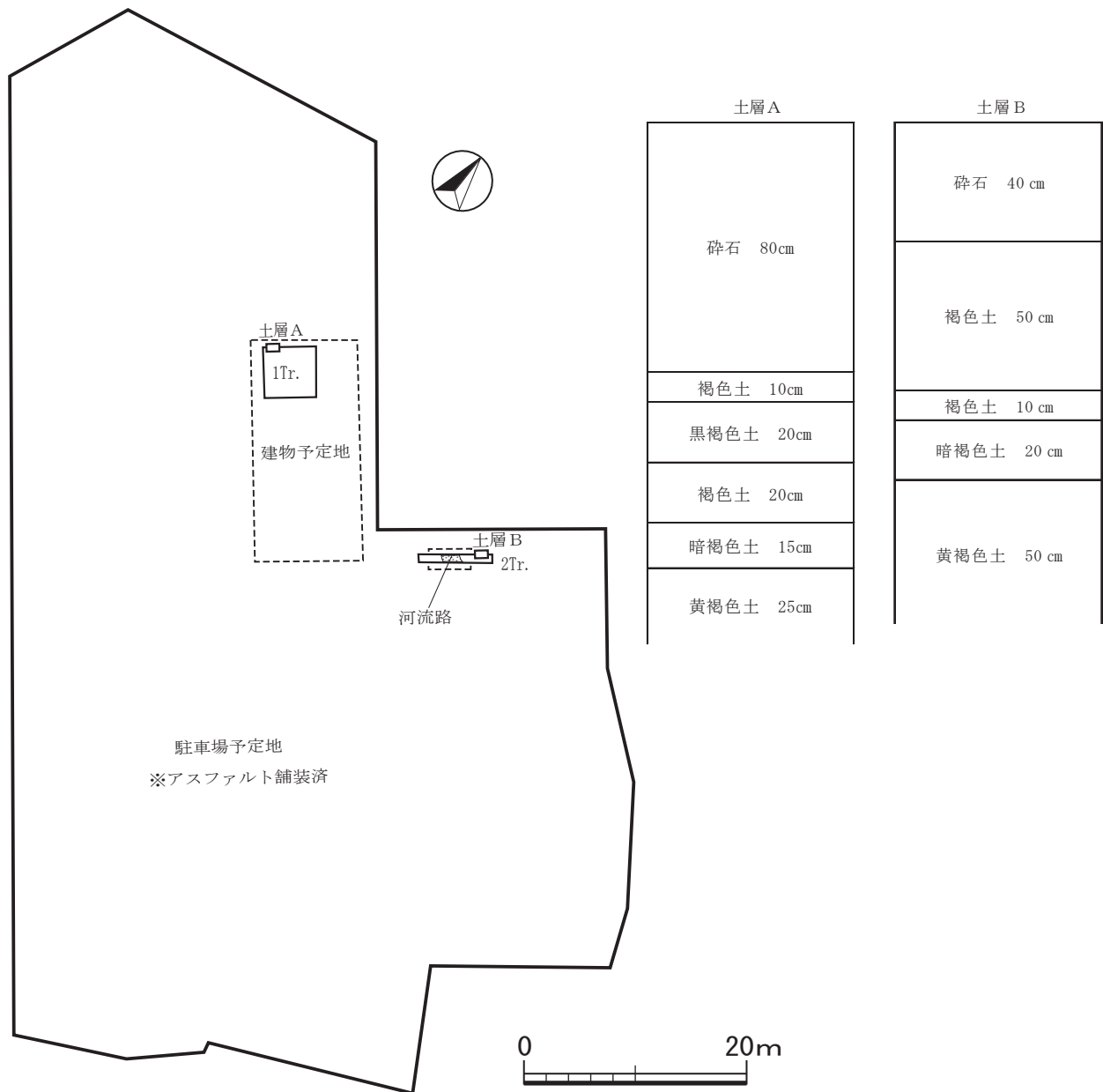
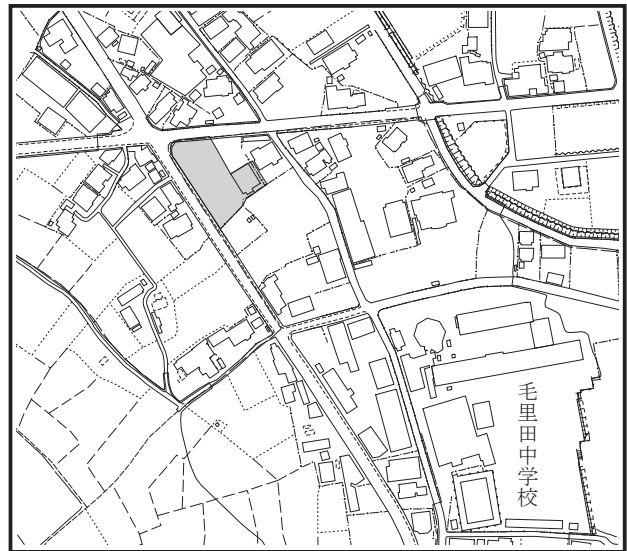
調査全体図



第12図 確認調査平面図・断面図

10 上宿遺跡 (H28No.478)

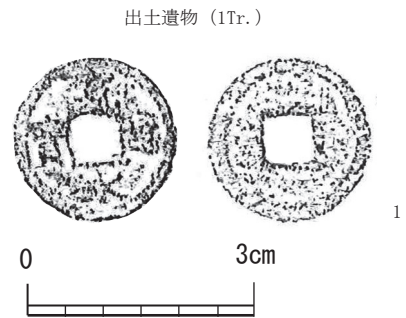
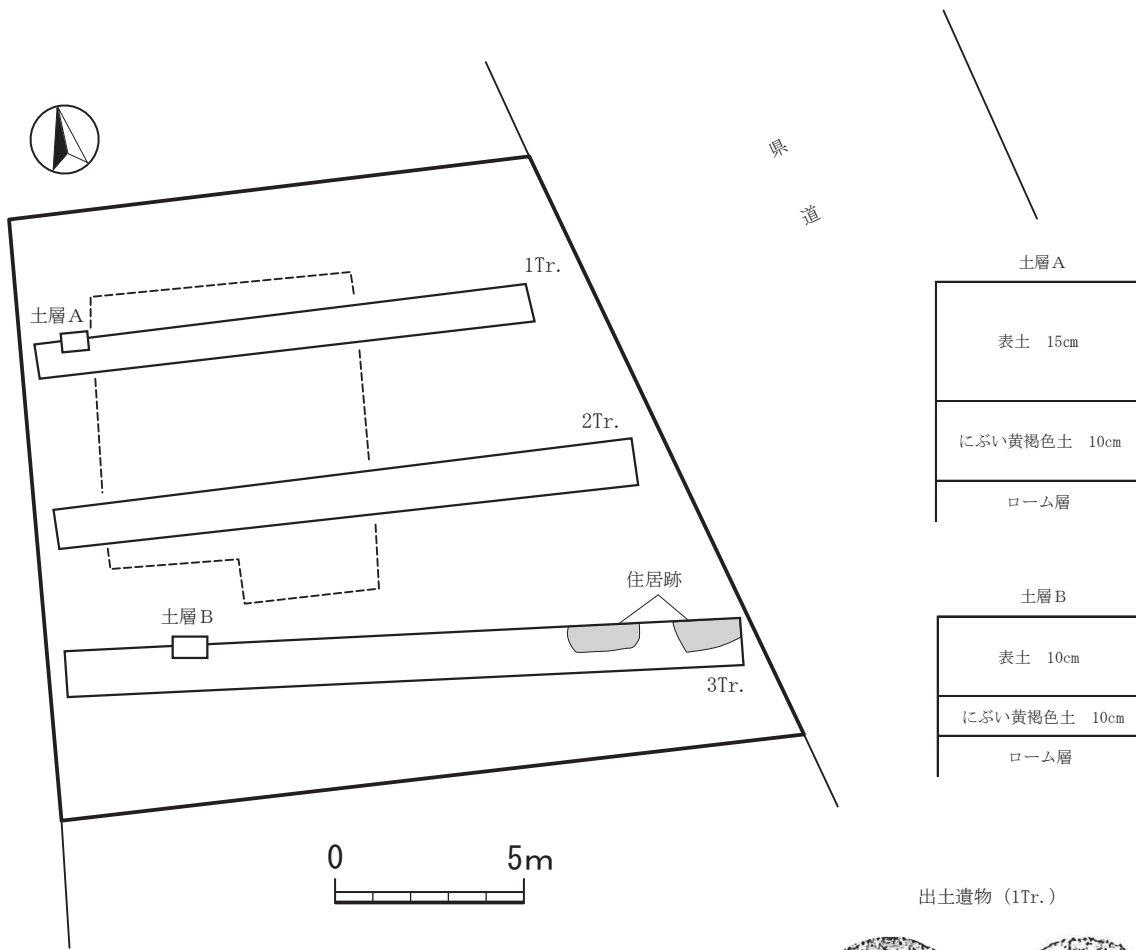
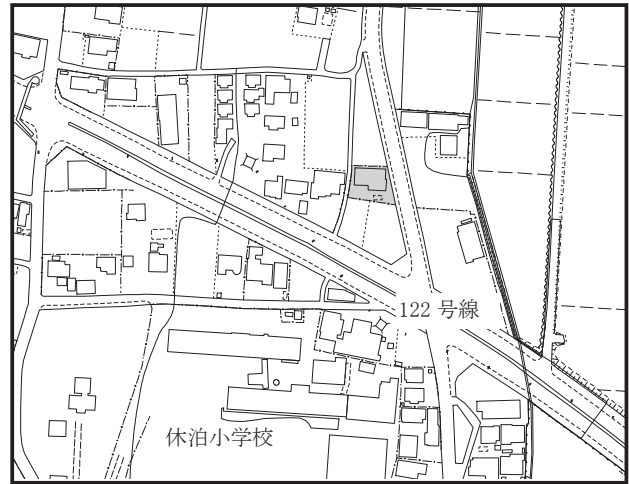
- ① 所在地 太田市矢田堀町285-7 他
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 建物・浄化槽予定地にトレンチを2本設定し、地表から約170cmの掘り下げを行ない、遺構・土層確認および写真撮影を行なった。なお、この調査地は、河流跡であり、ローム層の堆積は確認されなかった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第13図 確認調査平面図・断面図

11 賀茂遺跡 (H28No.62)

- ① 所在地 太田市龍舞町3805-1
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地等にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡が2軒確認され、平安時代の土器片、近世の古銭が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、建物予定地から外れているため、本発掘調査の必要はないと判断される。

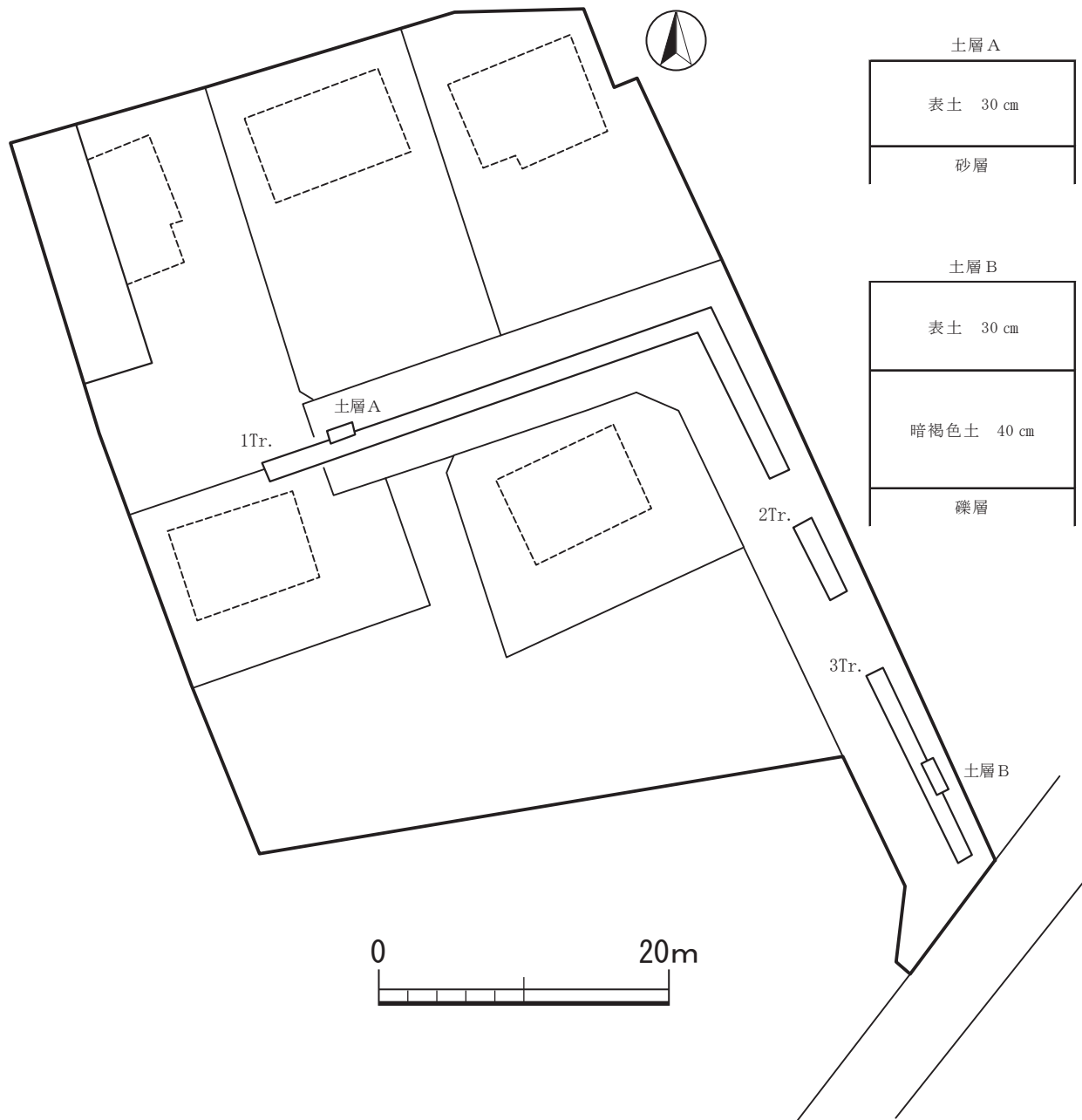
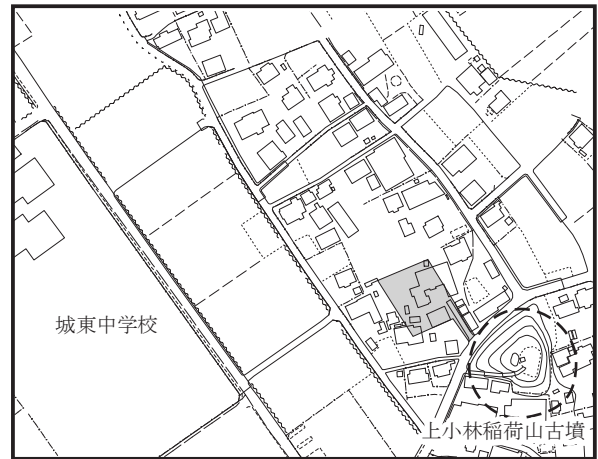


番号	種類・器種	残存状況	径・郭径・厚さ	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	古銭	完形	2.15 ・ 0.7 ・ 0.1				寛永通宝

第14図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

12 雉子ノ尾遺跡 (H28No.373)

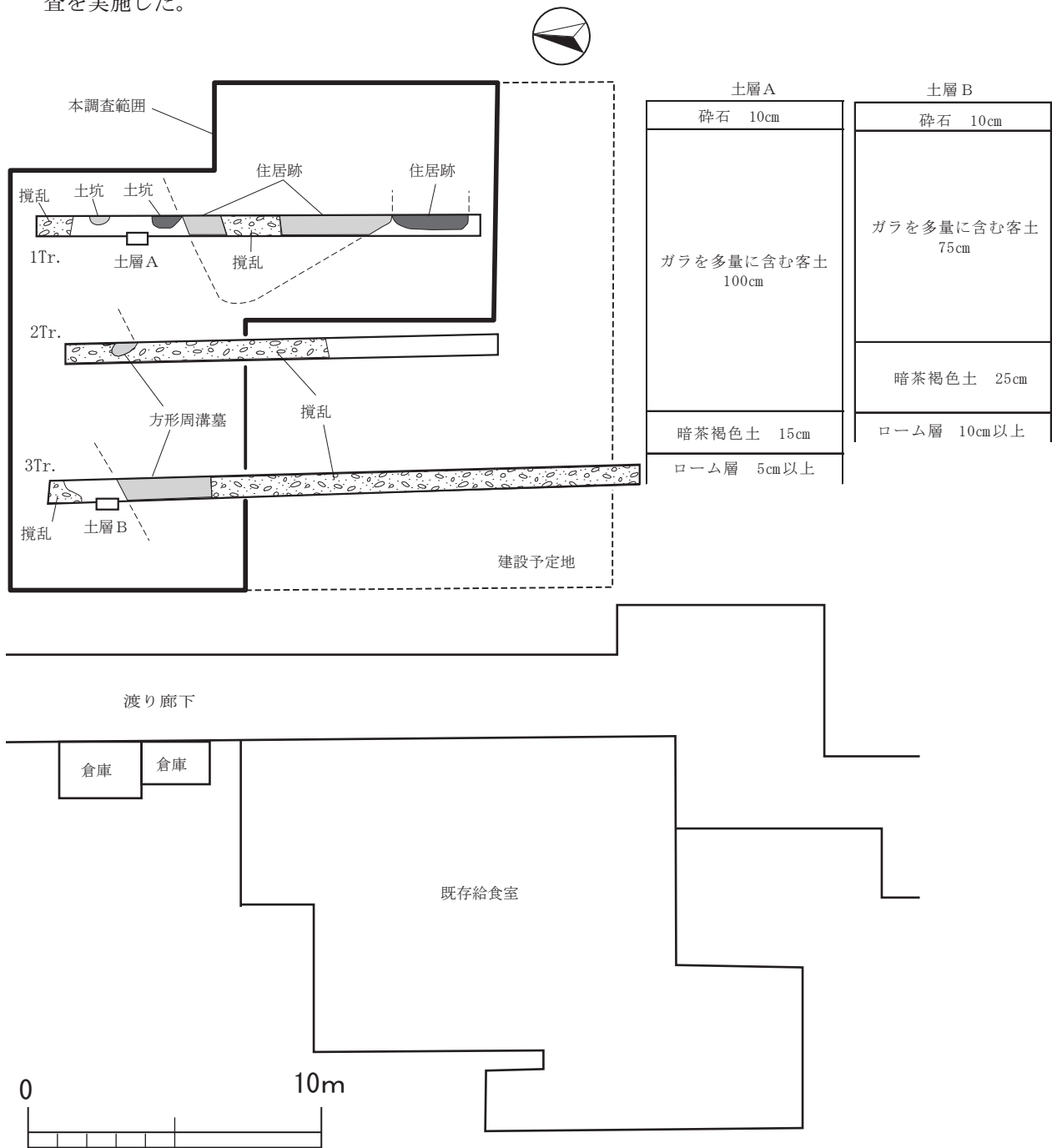
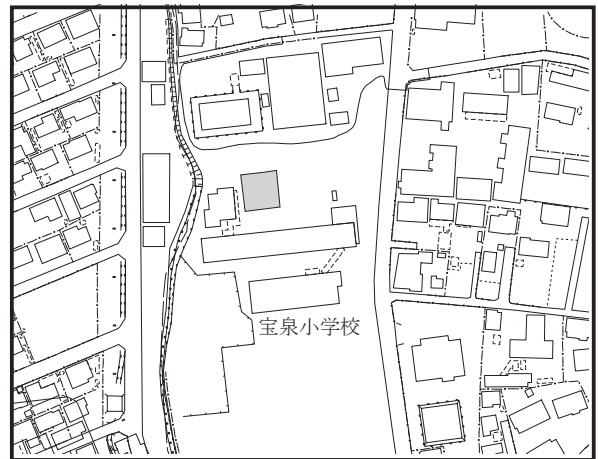
- ① 所在地 太田市上小林町97他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 道路予定地等にトレンチを3本設定し、砂層または礫層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第15図 確認調査平面図・断面図

13 北之庄遺跡 (H28No.2)

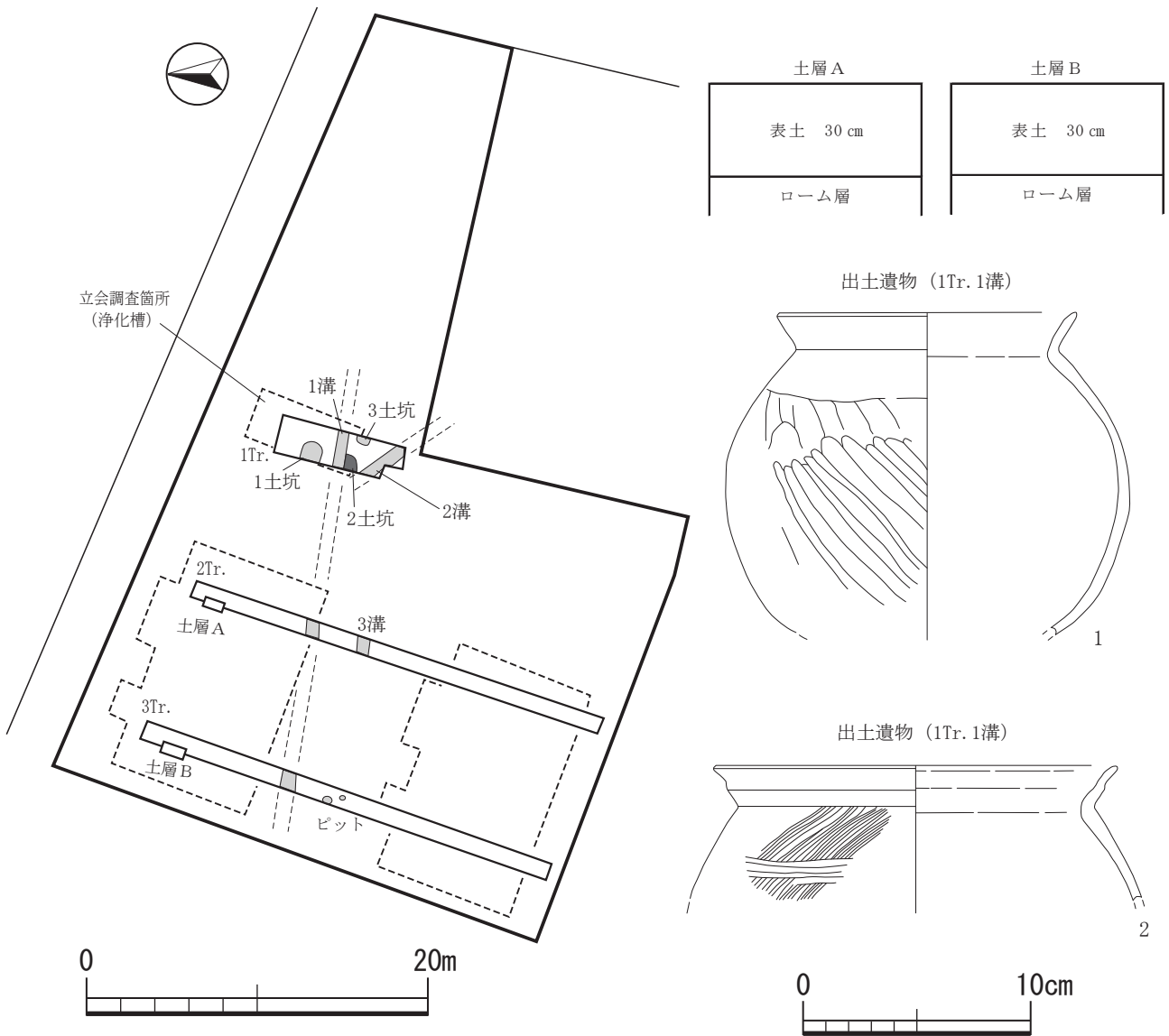
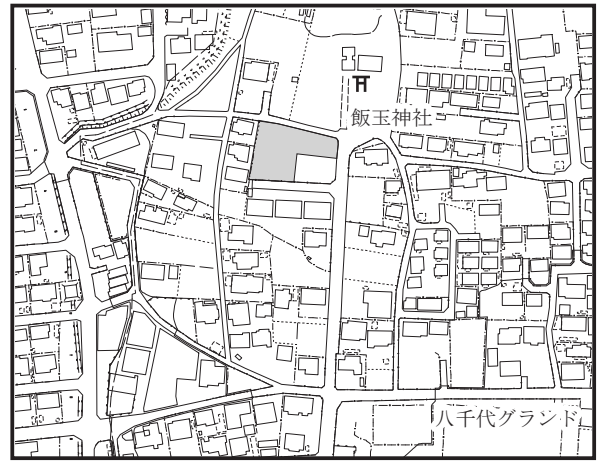
- ① 所在地 太田市由良町1738-1 他
- ② 調査原因 給食室の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 方形周溝墓1基、住居跡2軒、土坑2基が確認され、縄文時代から古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。



第16図 確認調査平面図・断面図

14 北之庄遺跡 (H28No.456)

- ① 所在地 太田市由良町1722-1 他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 建物・浄化槽予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝3条、土坑3基、ピット2基が確認され、縄文時代から古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響を及ぼす浄化槽部分においては、立会調査で記録保存をした。

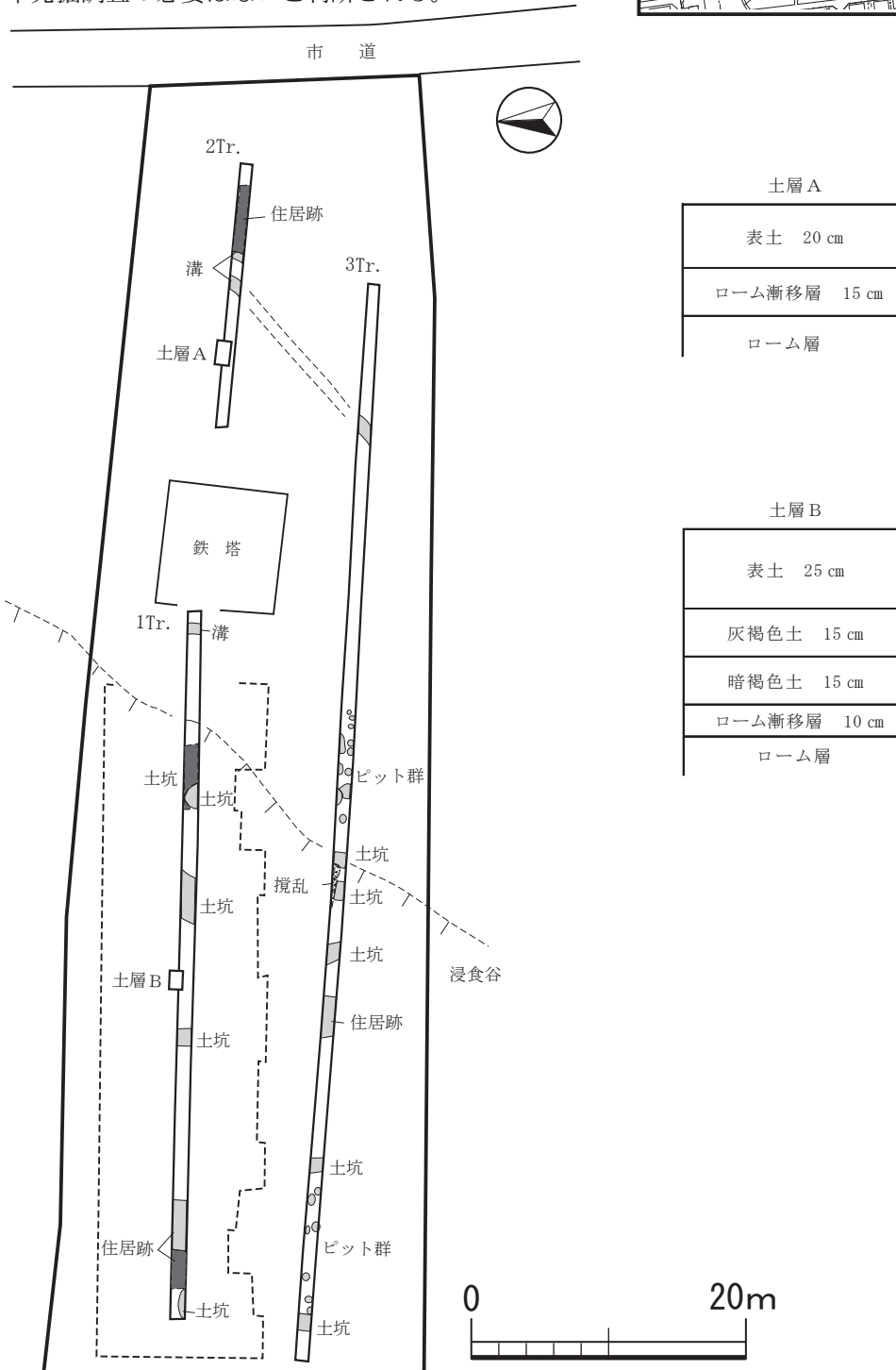
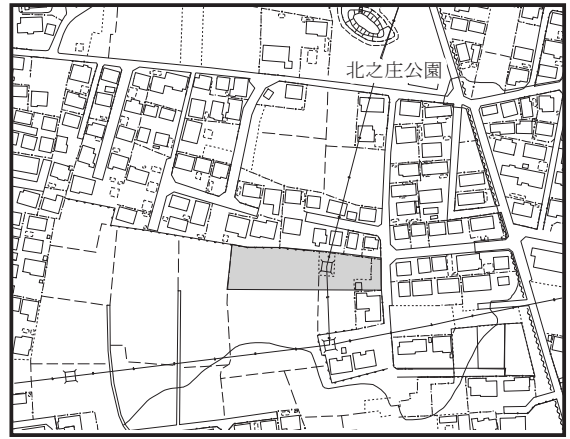


第17図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・甕	口縁1/5	(13.2)・ - ・ -	やや細	普通	やや淡い橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。口縁部内面、ヘラナデ。体部外面、細かなヘラ磨きと斜め方向ヘラ磨き。
2	土師器・甕	口縁破片	(18.0)・ - ・ -	やや細	普通	くすんだ褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。口縁部内面、ナデ。体部外面、ハケナデ。肩部外面に5条ほどの横線。

15 北之庄遺跡 (H28No.455)

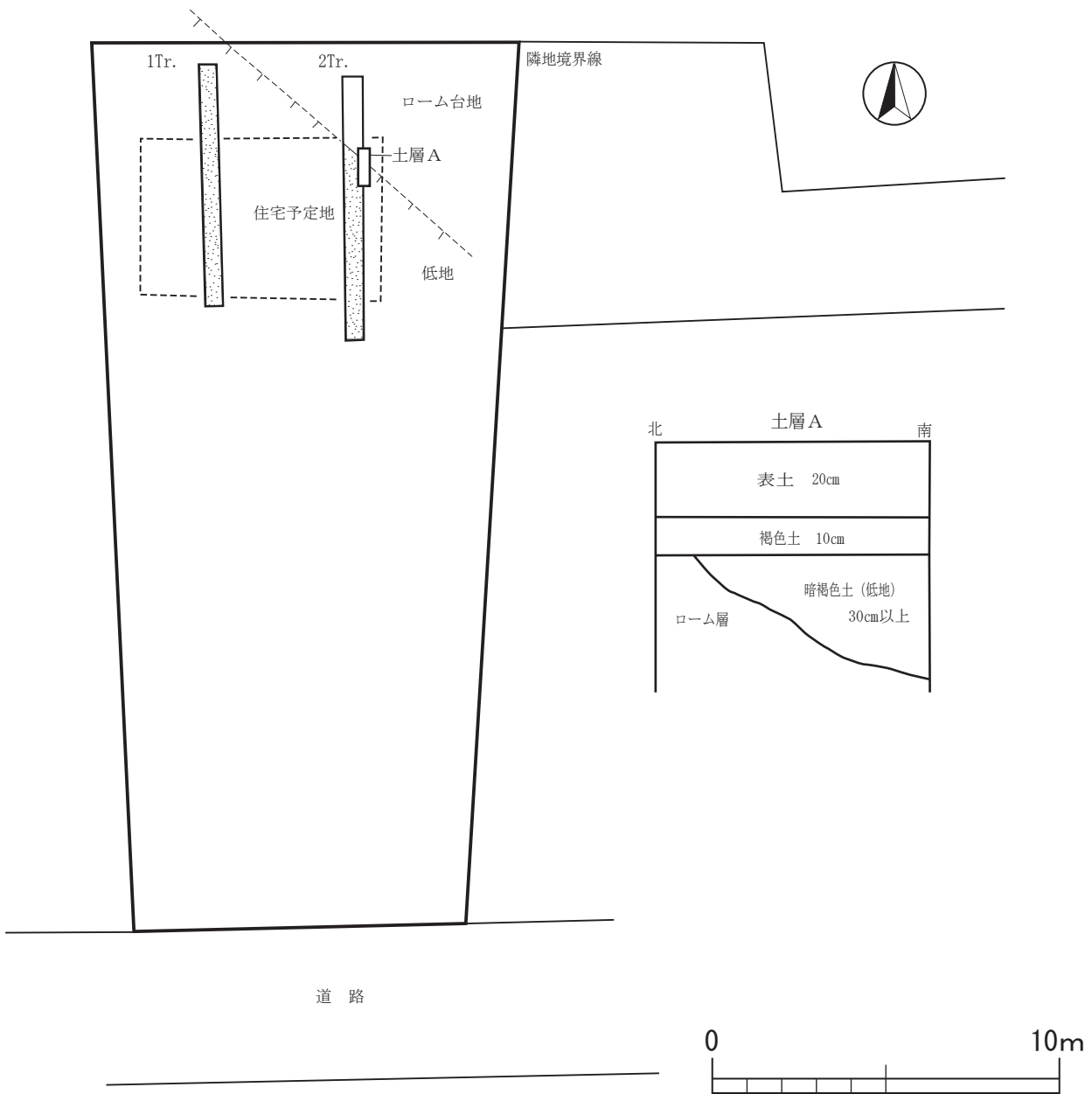
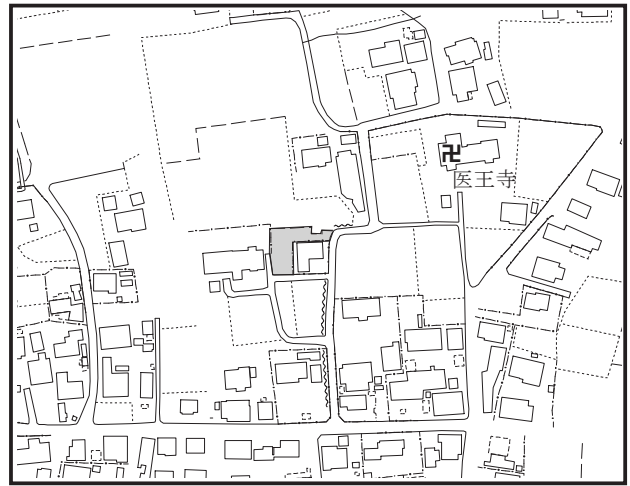
- ① 所在地 太田市由良町1586-3 他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地等にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡4軒、溝3条、土坑10基、ピット多数が確認され、奈良時代から中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構への影響が少ない工法であるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第18図 確認調査平面図・断面図

16 小金井馬場南館跡 (H28No.494)

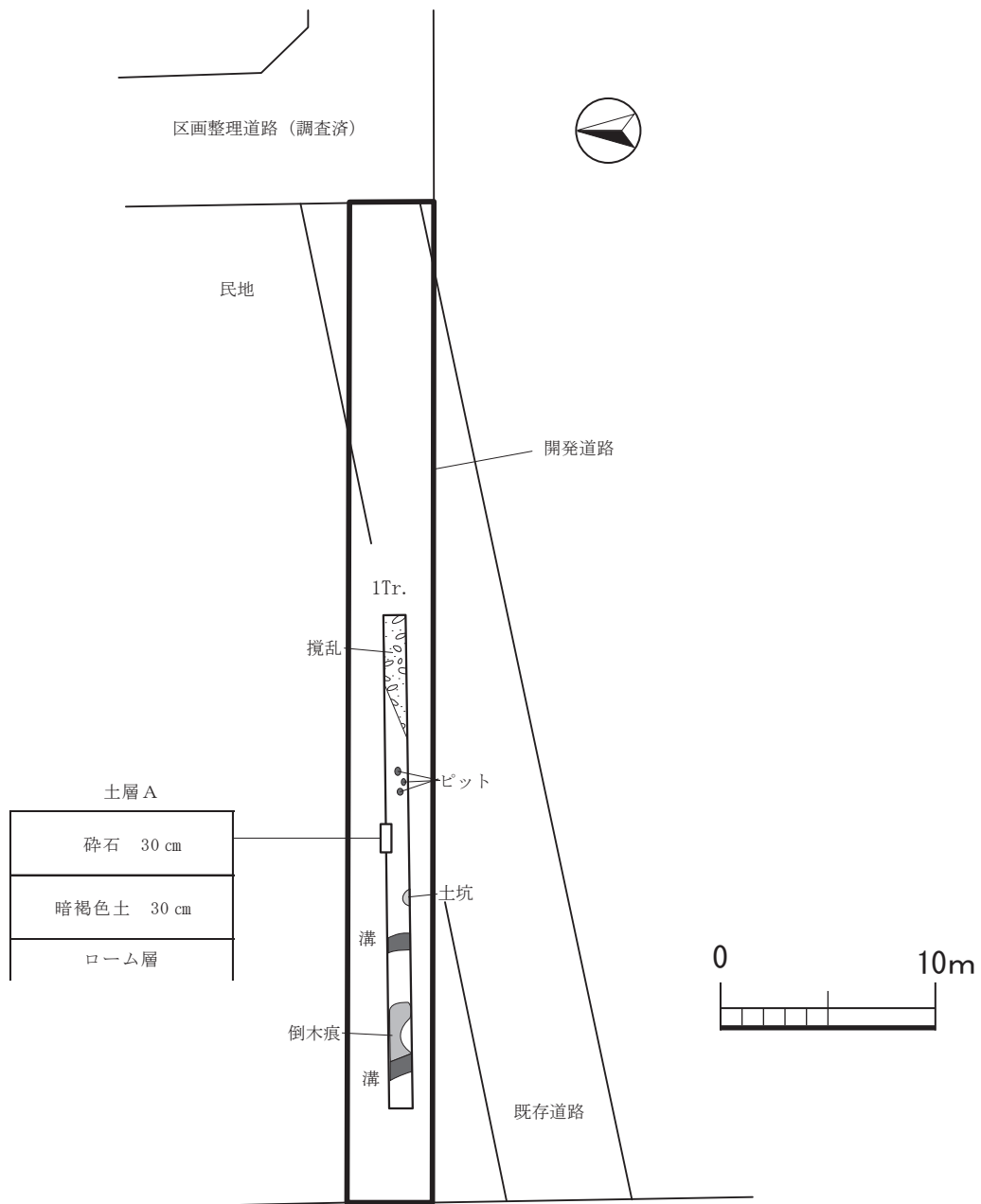
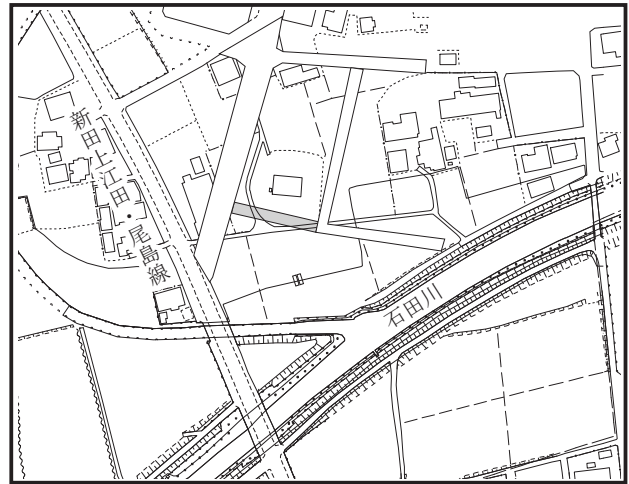
- ① 所在地 太田市新田小金井町959-6 他
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第19図 確認調査平面図・断面図

17 下田島遺跡 (H28No.106)

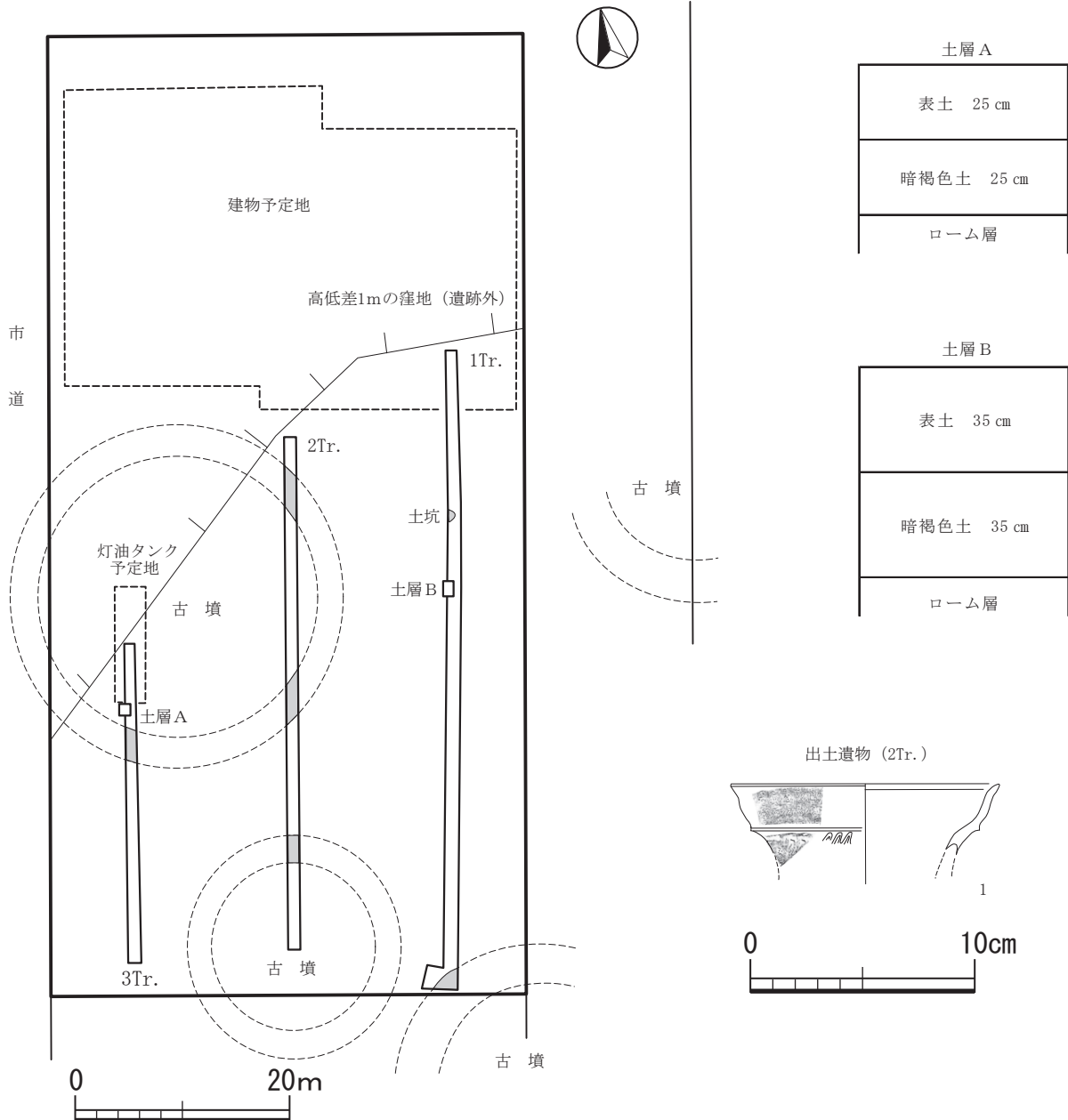
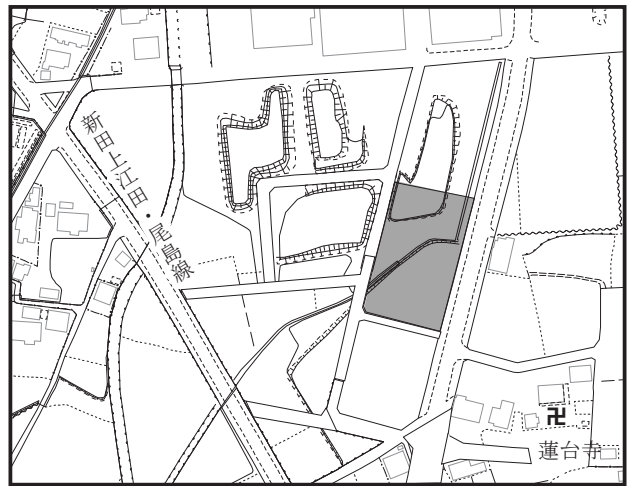
- ① 所在地 太田市下田島町1063-2 他
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 道路予定地にトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条、土坑1基、ピット3基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構と推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第20図 確認調査平面図・断面図

18 下田島遺跡 (H28No.60)

- ① 所在地 太田市下田島町1057-1
- ② 調査原因 店舗の建設
- ③ 調査方法 駐車場予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。なお、建物予定地は、遺跡外であるため、調査対象外とした。
- ④ 調査結果 古墳3基、土坑1基が確認され、縄文時代の土器片、古墳時代の土器片・埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

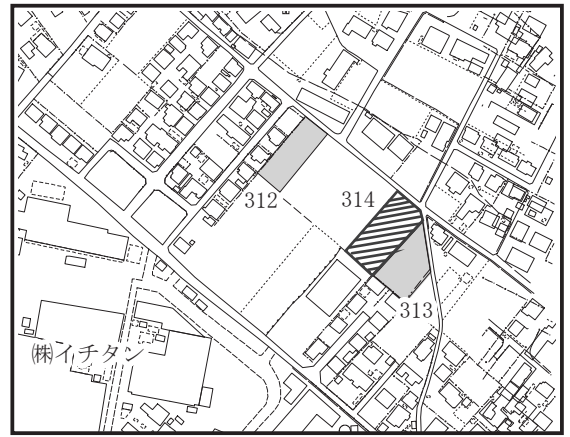


第21図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

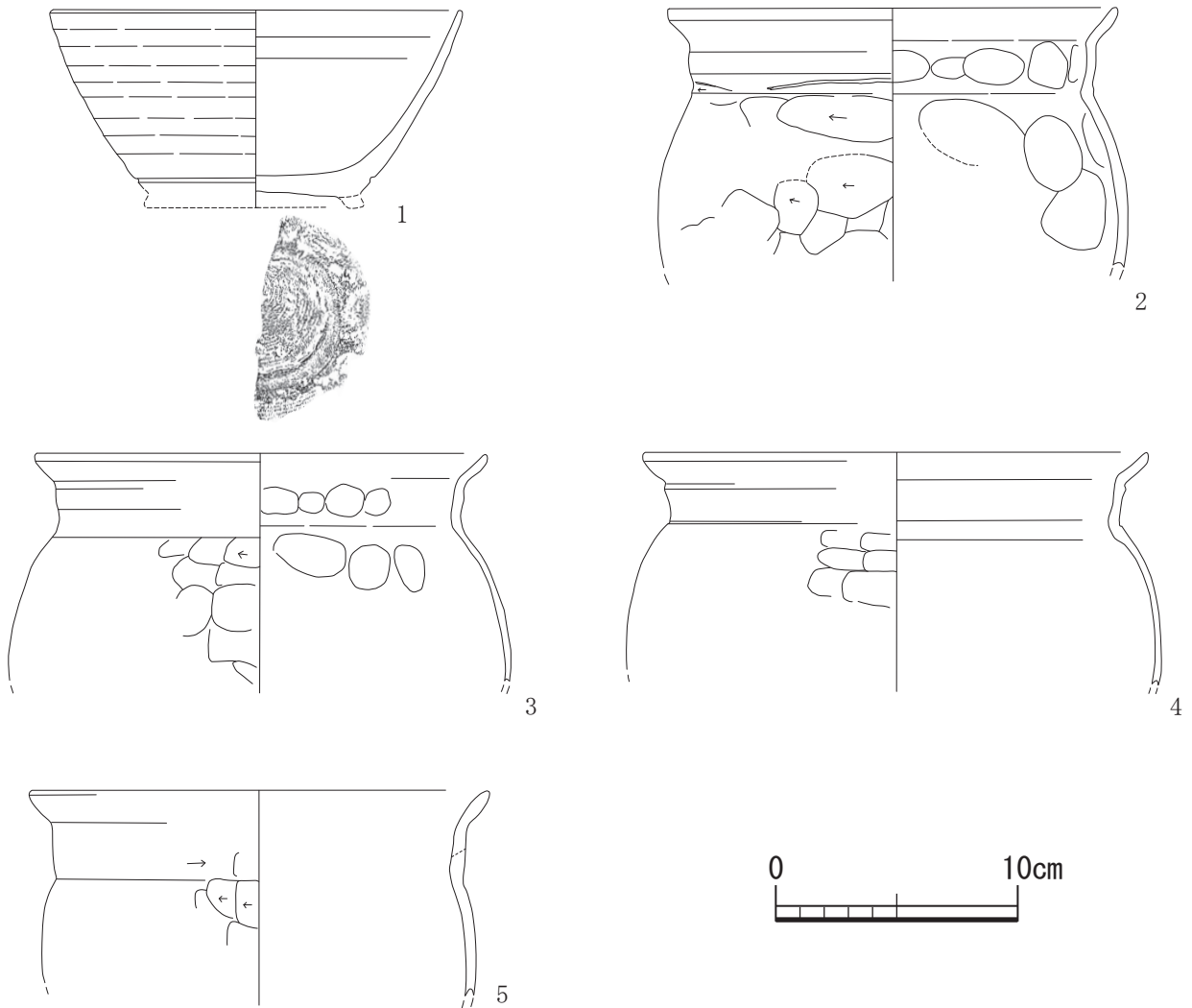
番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	須恵器・甕	口縁部の破片	(12.0)・ - ・ -	細(緻密)	良好(堅緻)	暗青色	口縁部・頸部、ロクロ回転ヨコナデ。頸部外面に櫛描波状文。

19・20・21 下原遺跡 (H28No.312・313・314)

- ① 所在地 太田市新道町105-8の一部
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 それぞれの建物予定地にトレンチを設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡1軒、溝2条、土坑8基、ピット1基が確認され、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 住居跡が確認された集合住宅予定地 (No. 314) においては、本発掘調査を実施した。



1 住居出土遺物 (次頁参照)

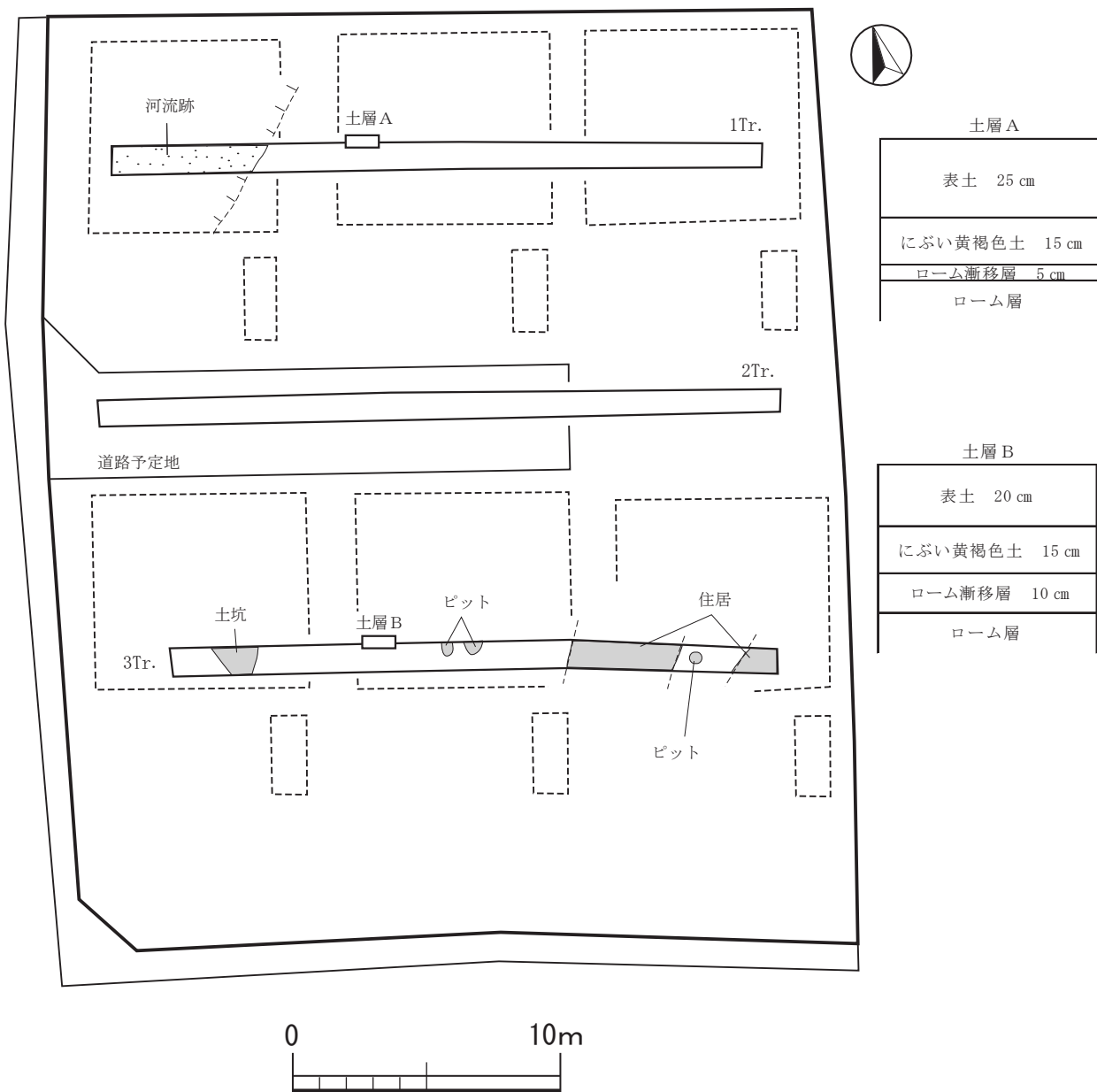
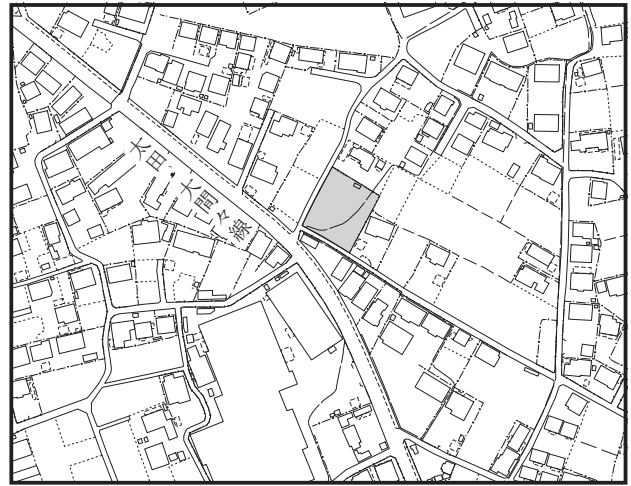


第22図 確認調査出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	須恵器・高台付椀	1/4	(17.0)・ - ・ -	粗い	やや軟	くすんだ灰色	口縁部・体部から内面底部にかけて、ロクロ右回転ヨコナデ。底部外面、ロクロ回転糸切り後、高台(欠損)貼り付け。
2	土師器・甕	口縁1/4	(18.8)・ - ・ -	細	やや軟	淡茶褐色	口縁部外面、指押さえ後、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。口縁部内面上半部、ヨコナデ。
3	土師器・甕	口縁1/6	(18.8)・ - ・ -	やや細	やや良	くすんだ茶褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。体部内面、指押さえによるナデ。
4	土師器・甕	口縁1/6	(21.0)・ - ・ -	細	普通	くすんだ茶褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。
5	土師器・甕	口縁破片	(19.2)・ - ・ -	細	やや良	やや淡い橙色	口縁部内外面、ヨコナデ、ヘラナデ。体部外面、ヘラ削り。

22 上泉開戸遺跡、鎧着遺跡 (H28No.696)

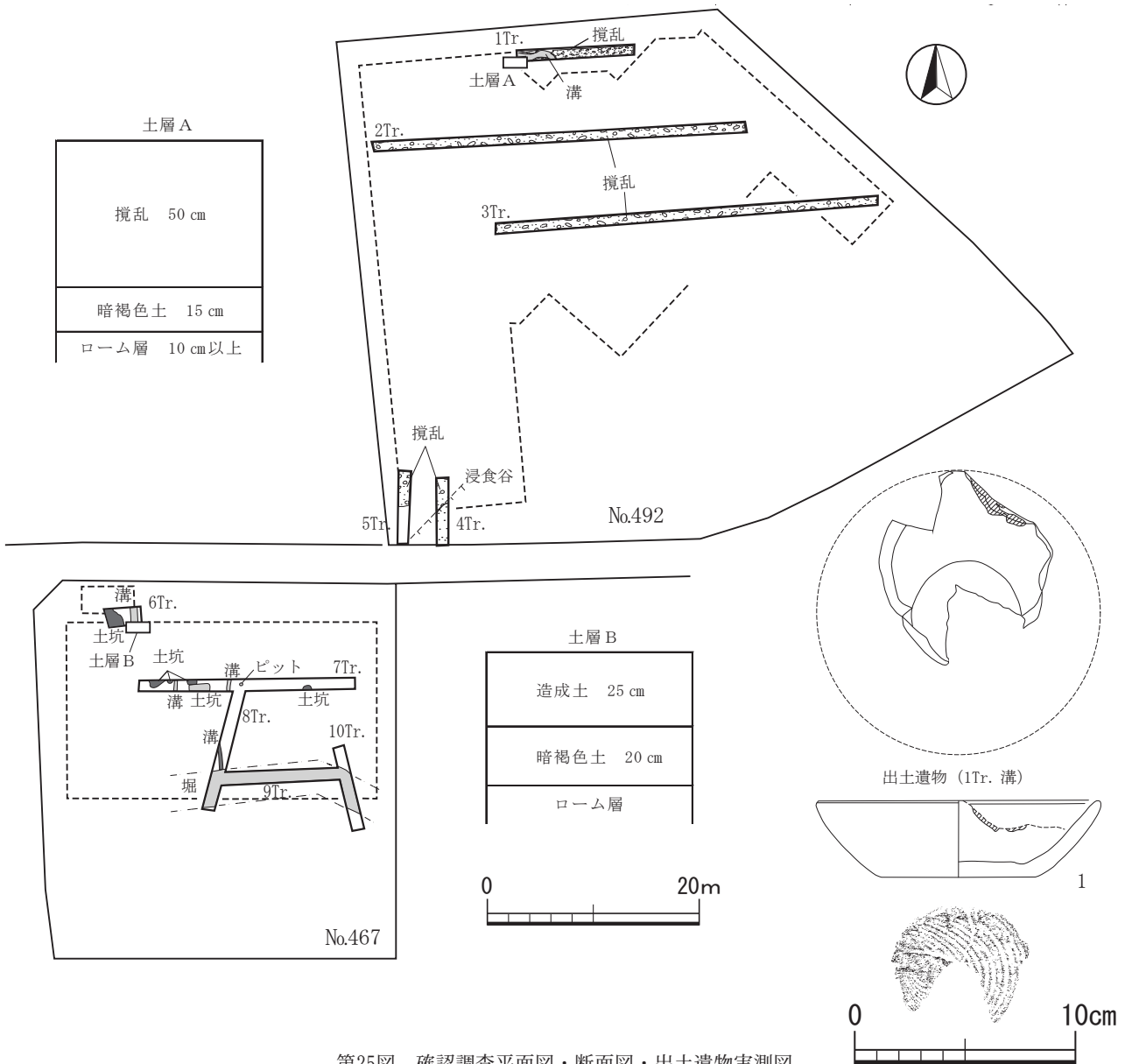
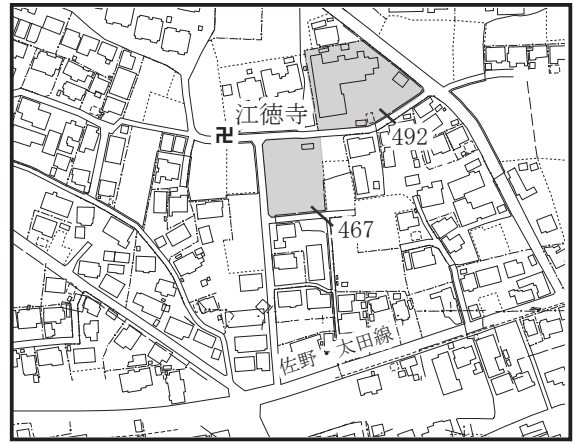
- ① 所在地 太田市鳥山中町938
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、土坑1基、ピット3基が確認され、奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第24図 確認調査平面図・断面図

23・24 新堀遺跡 (H28No.492・467)

- ① 所在地 太田市台之郷町845 (No.492)
太田市台之郷町811 (No.467)
- ② 調査原因 保育園の建て替え
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを10本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 館の堀1箇所、溝2条、土坑6基、ピット1基が確認され、中世のカワラケが出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

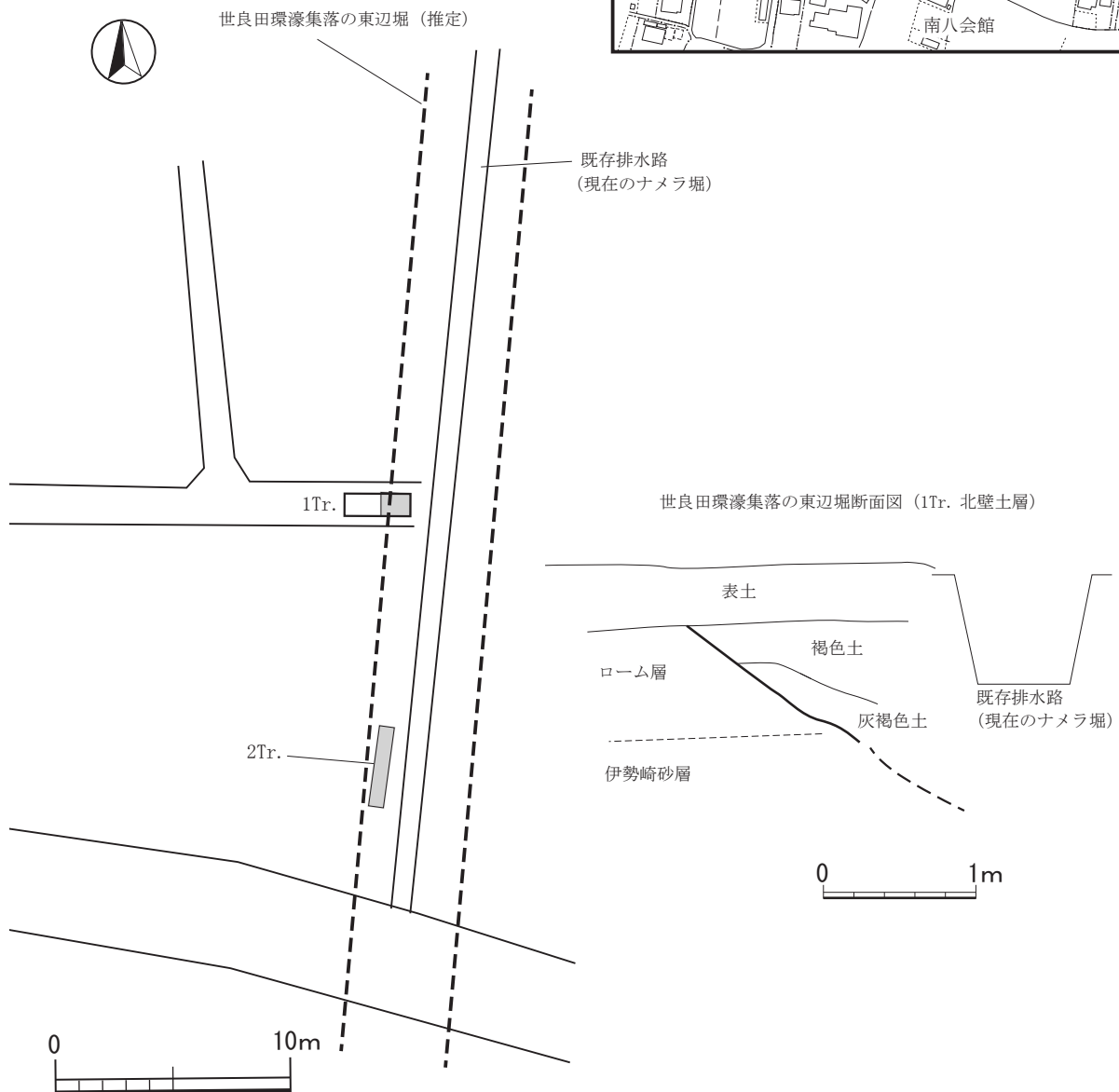
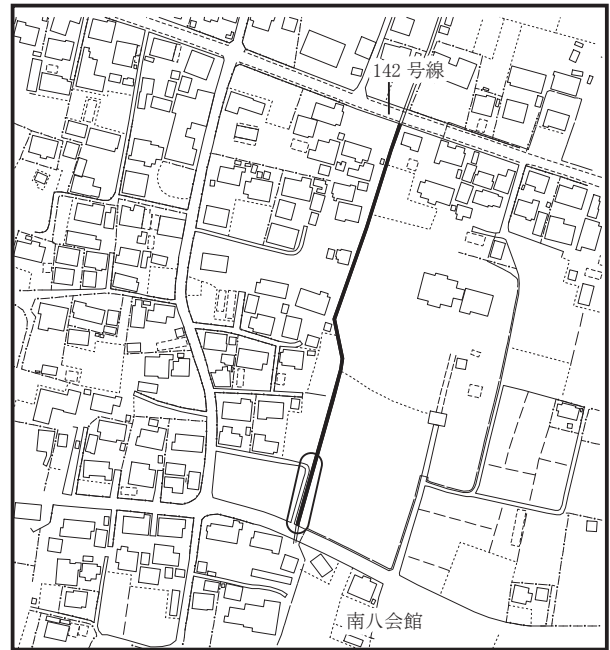


第25図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	カワラケ	底部破片	(13.0)・(7.0)・3.5	やや細	やや軟	やや淡い橙色	口縁部内外面、ロクロ回転ヨコナデ。底部内面、ヘラナデ。底部外面、ロクロ左回転糸切り。口縁部の破損断面に油煙痕が付着しており、破損後に灯明皿として転用したものと考えられる。

25 世良田環濠集落 (H28No.542)

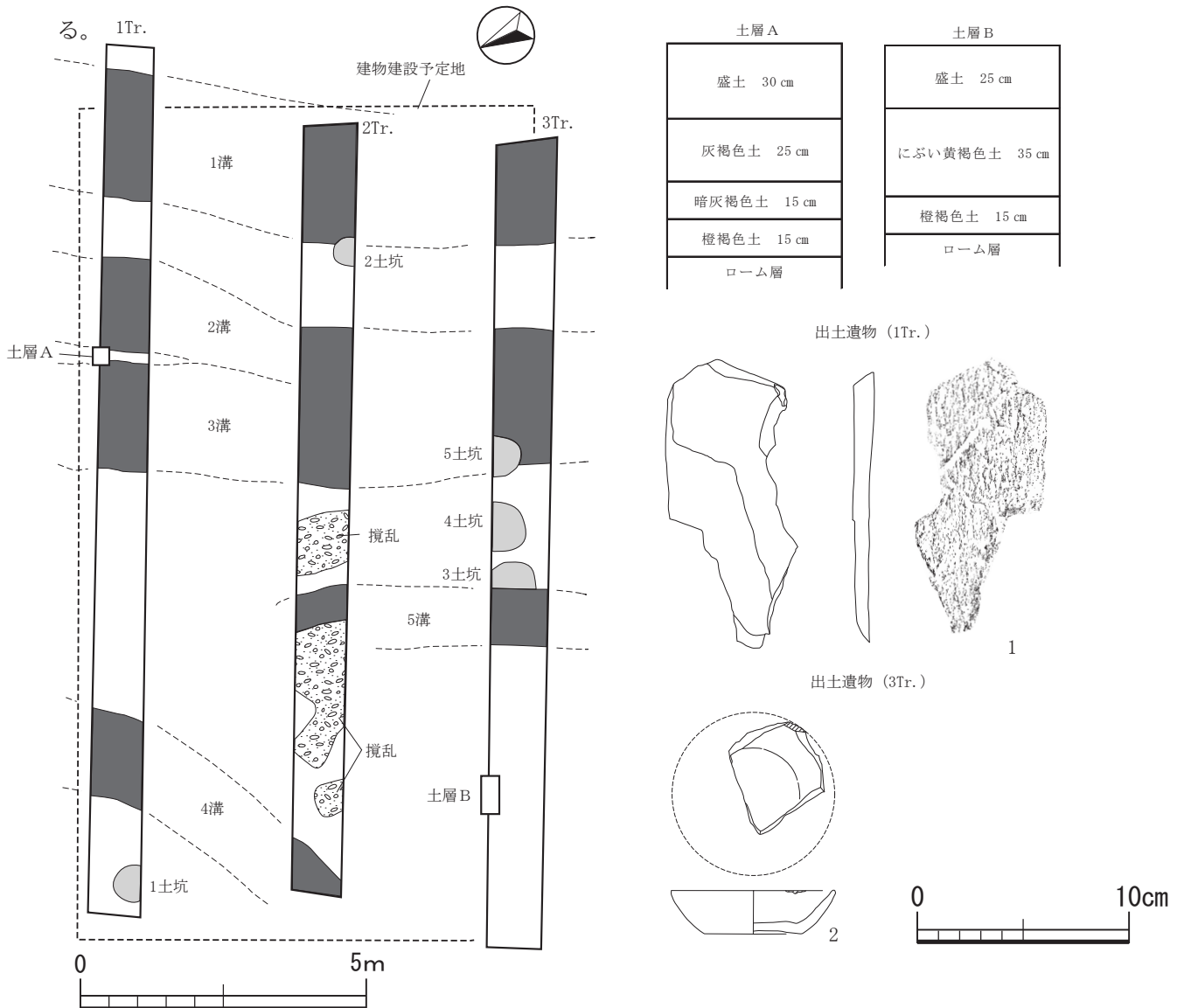
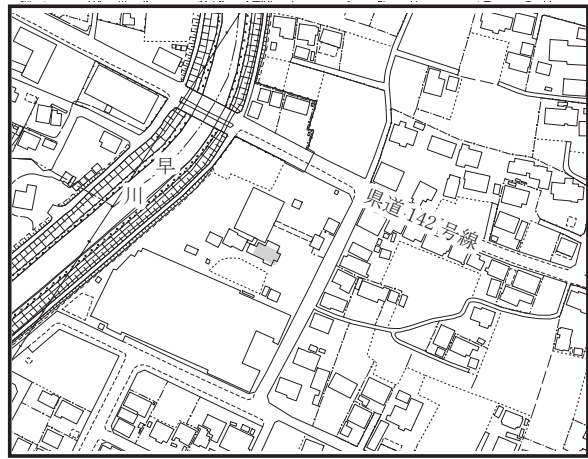
- ① 所在地 太田市世良田町1113-2
- ② 調査原因 排水路の改修工事
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを2本設定し、ローム層・伊勢崎砂層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 排水路の直下から、世良田環濠集落の東辺堀が確認された。
- ⑤ 取り扱い方法 調査結果を群馬県教育委員会に進達の上、立会調査にて記録保存の措置をした。詳細は69頁(まとめ)のとおり。



第26図 確認調査平面図・断面図

26 総持寺（新田館跡）（H28No.770）

- ① 所在地 太田市世良田町3201-6
- ② 調査原因 庫裏の改築
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝5条、土坑5基が確認され、中世のカワラケ等が出土した。なお、溝は全て河流跡の可能性があるとみられる。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

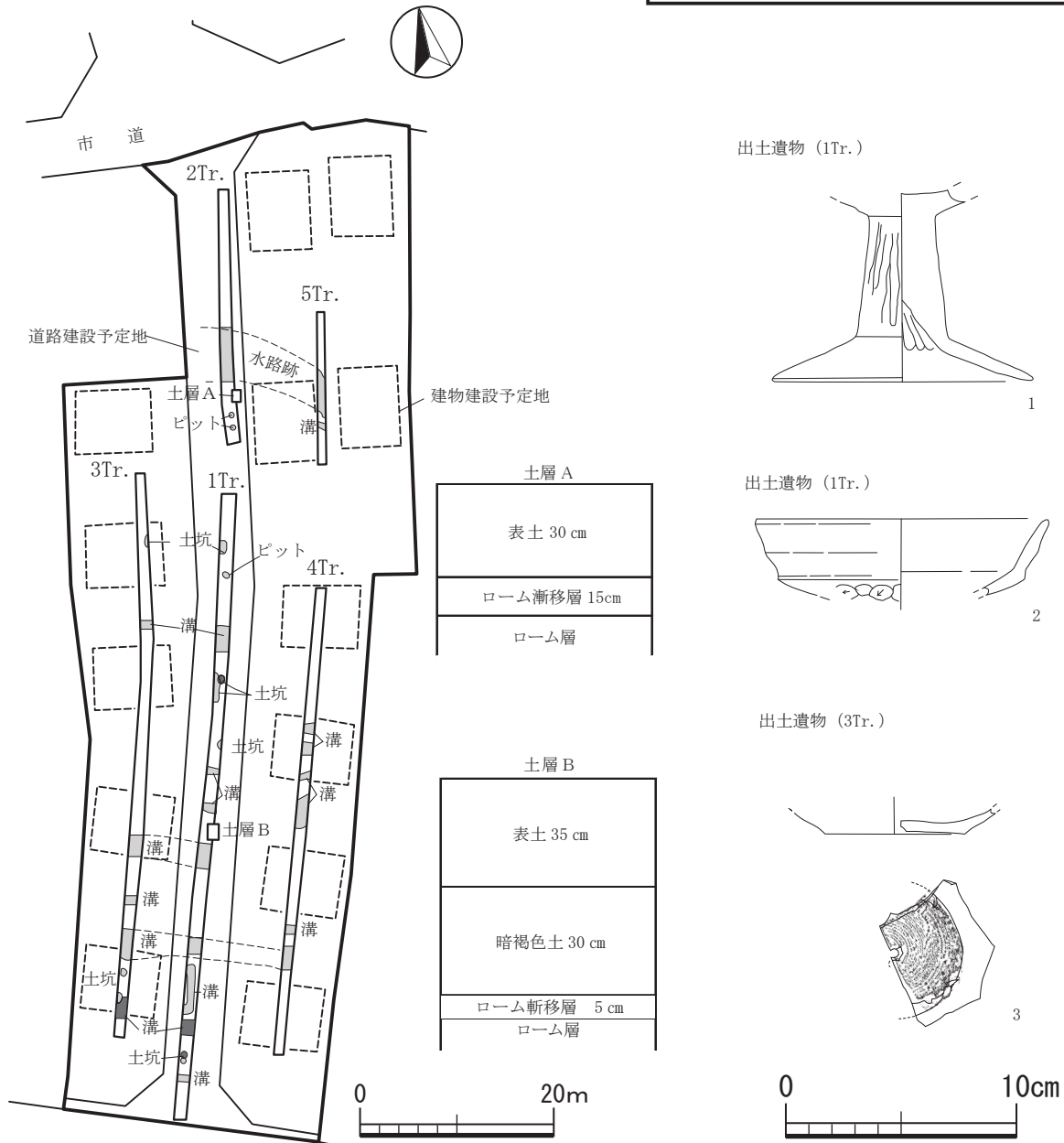
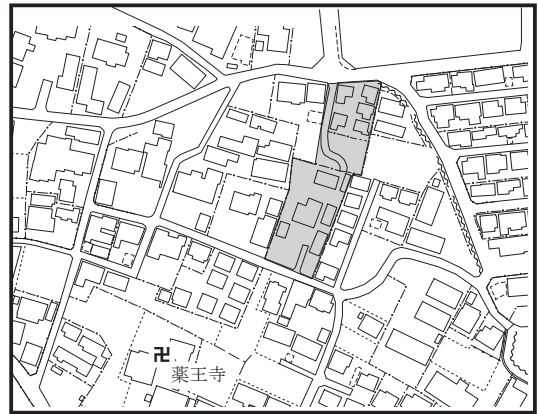


第27図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類	残存状況	残長・残幅・厚さ	整形状の特徴			
1	不明	破片	(13.7)・6.5・1.0	緑泥片岩の破片で、上端部に加工面が残る。非常に薄い、板碑の可能性が高い。			
番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
2	カワラケ	底部破片	(13.0)・(7.0)・3.5	やや細	やや軟	やや淡い 橙色	口縁部内外面、ロクロ右回転ヨコナデ。底部外面、回転糸切り。板目痕あり。口唇部にスス痕が付着し、灯明皿に転用したと考えられる。

27 田谷遺跡、飯塚条里制水田跡 (H28No.15)

- ① 所在地 太田市東矢島町1228-3 他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを5本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝17条、土坑9基、ピット3基が確認され、古墳時代から奈良時代の土器片・中世の陶器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構と推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

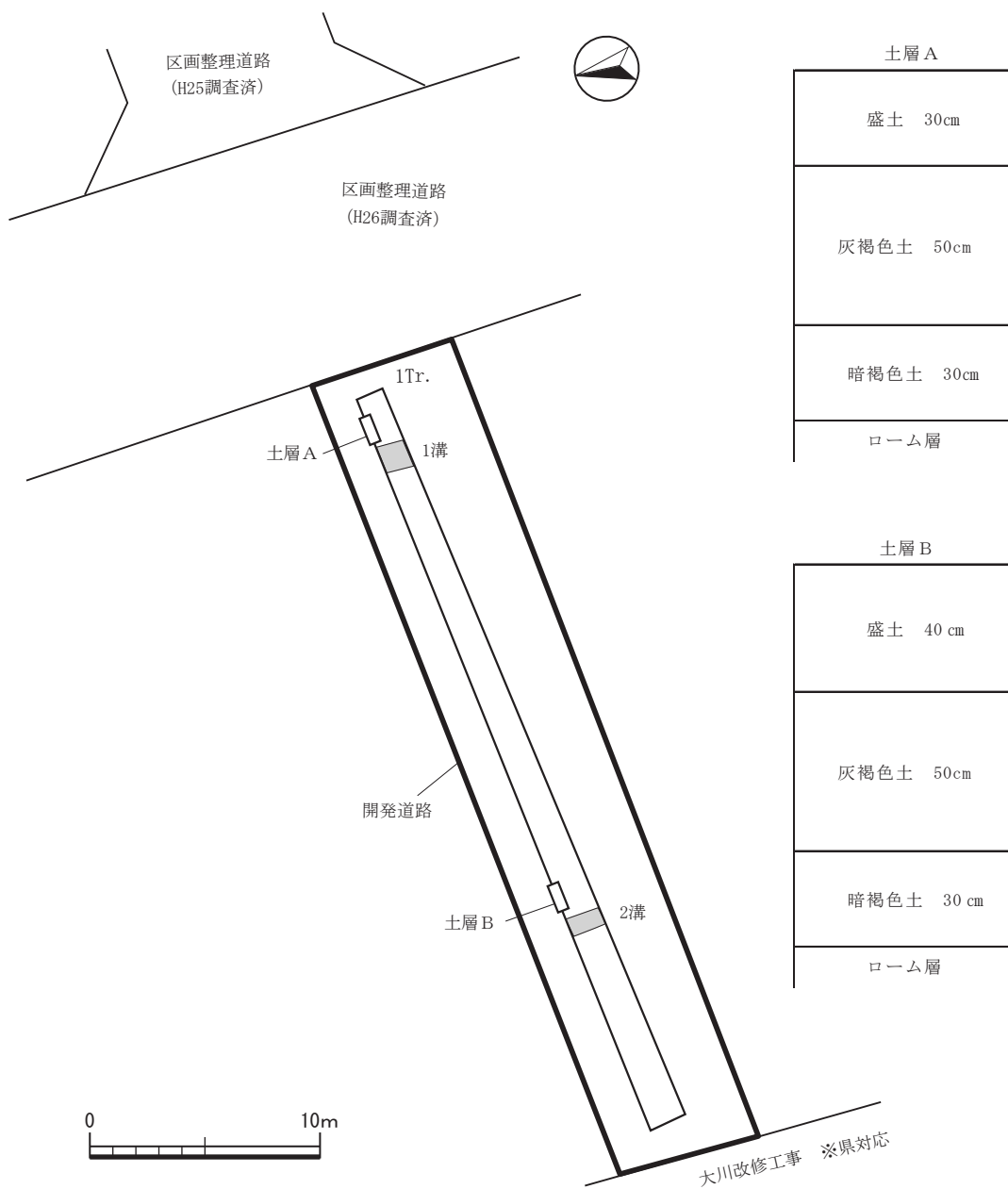
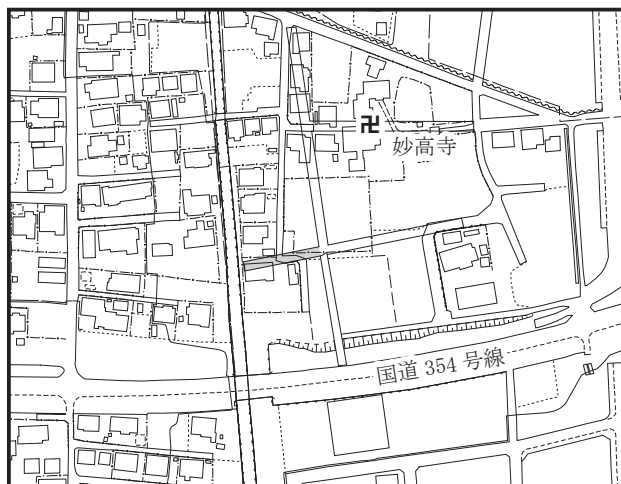


第28図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・高坏	1/2	- ・ (11.4) ・ -	細	普通	赤みを帯びた淡褐色	脚部外面、タテ方向ヘラ磨き。脚部内面、指頭ナデ。裾部内外面、ナデ。
2	土師器・坏	破片	(12.8) ・ - ・ -	やや細	普通	淡褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。底部外面、ヘラ削り。底部内面、ナデ。
3	カワラケ	底部破片	- ・ (6.0) ・ -	細	やや良	淡褐色	底部内面～口縁部内外面、ロクロ回転ヨコナデ。底部外面、回転糸切り。底部中央部に径3mmの穿孔あり。

28 長福寺遺跡 (H28No.116)

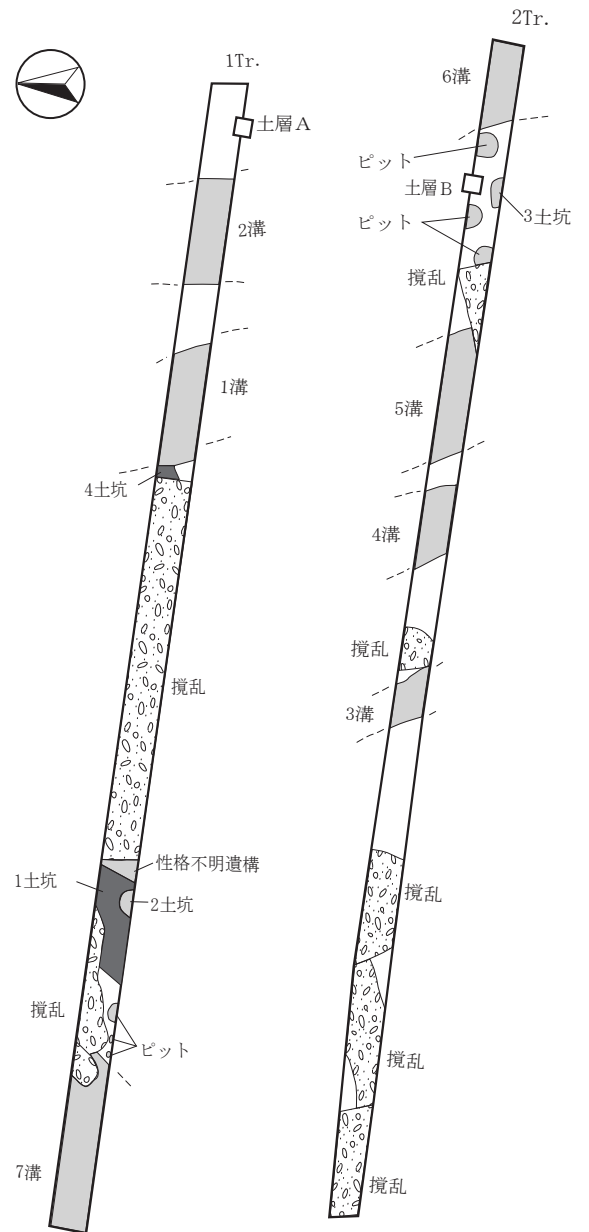
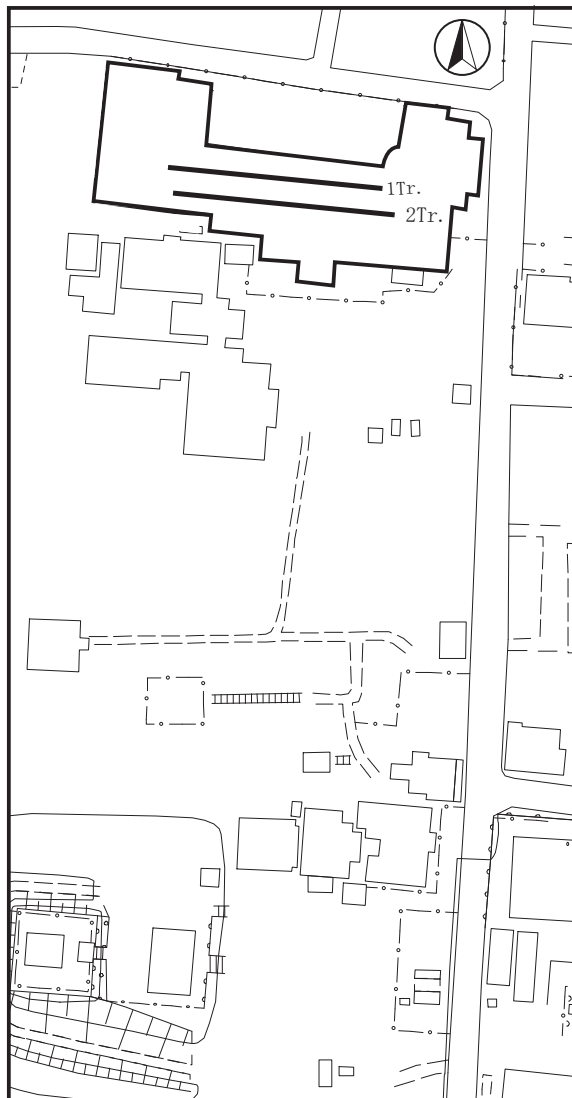
- ① 所在地 太田市下田島町1132-5
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 道路予定地にトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構と推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第29図 確認調査平面図・断面図

29 長楽寺遺跡 (H28No.816)

- ① 所在地 太田市世良田町3119-6 他
- ② 調査原因 認定こども園の改築
- ③ 調査方法 改築予定地にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝7条、土坑4基、ピット6基などが確認され、中世以降の陶器片が出土した。なお、溝は河流跡の可能性も考えられる。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

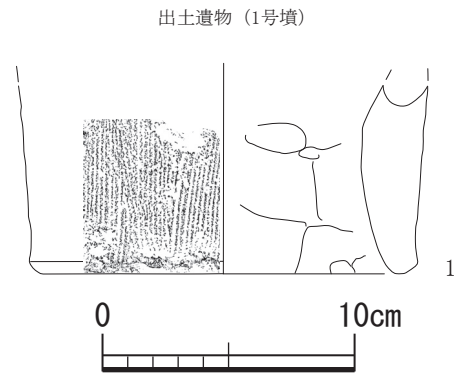
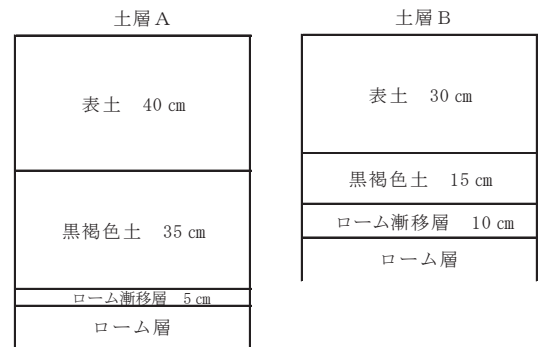
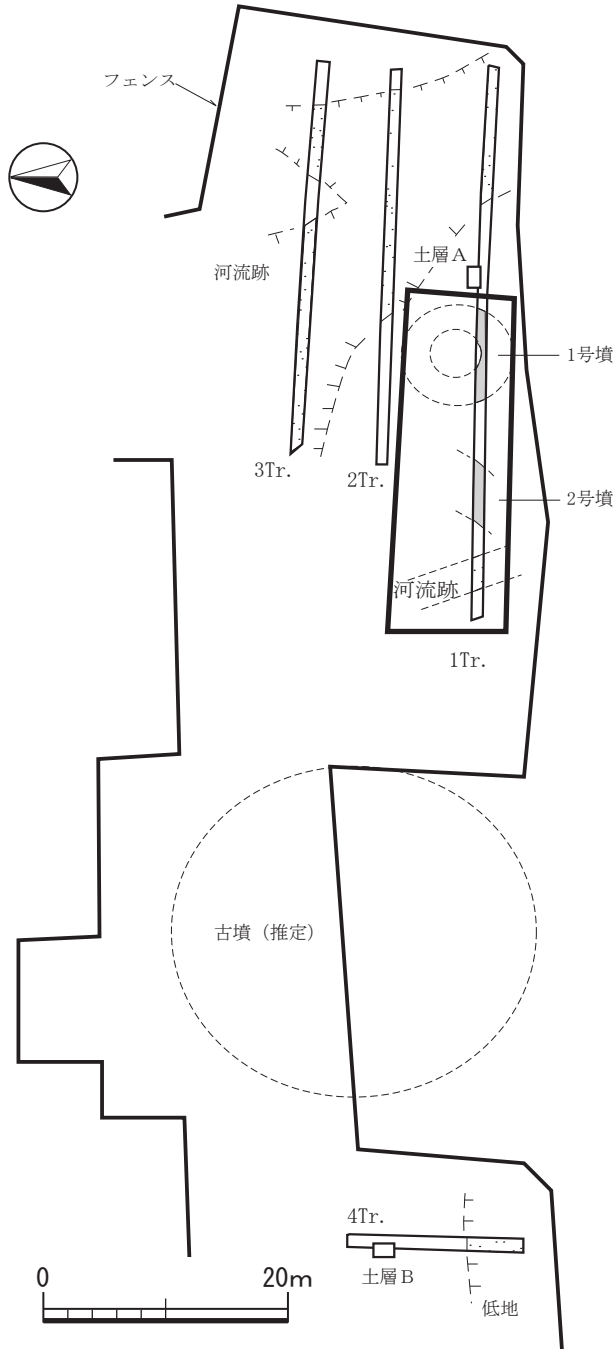
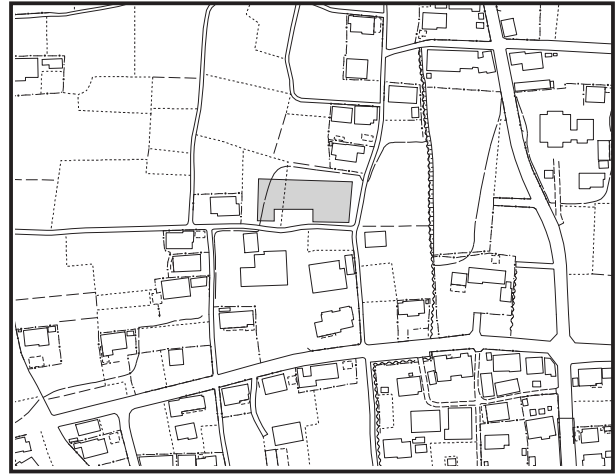


土層 A	土層 B
盛土 35 cm	盛土 30 cm
旧表土 40 cm	旧表土 25 cm
暗褐色土 20 cm	暗褐色土 15 cm
ローム漸移層 10 cm	ローム漸移層 15 cm
ローム層	ローム層

第30図 確認調査平面図・断面図

30 鶴生田古墳群 (H28No.887)

- ① 所在地 太田市鶴生田町1022他
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 古墳2基が確認され、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響を及ぼすため、本発掘調査をする予定である。

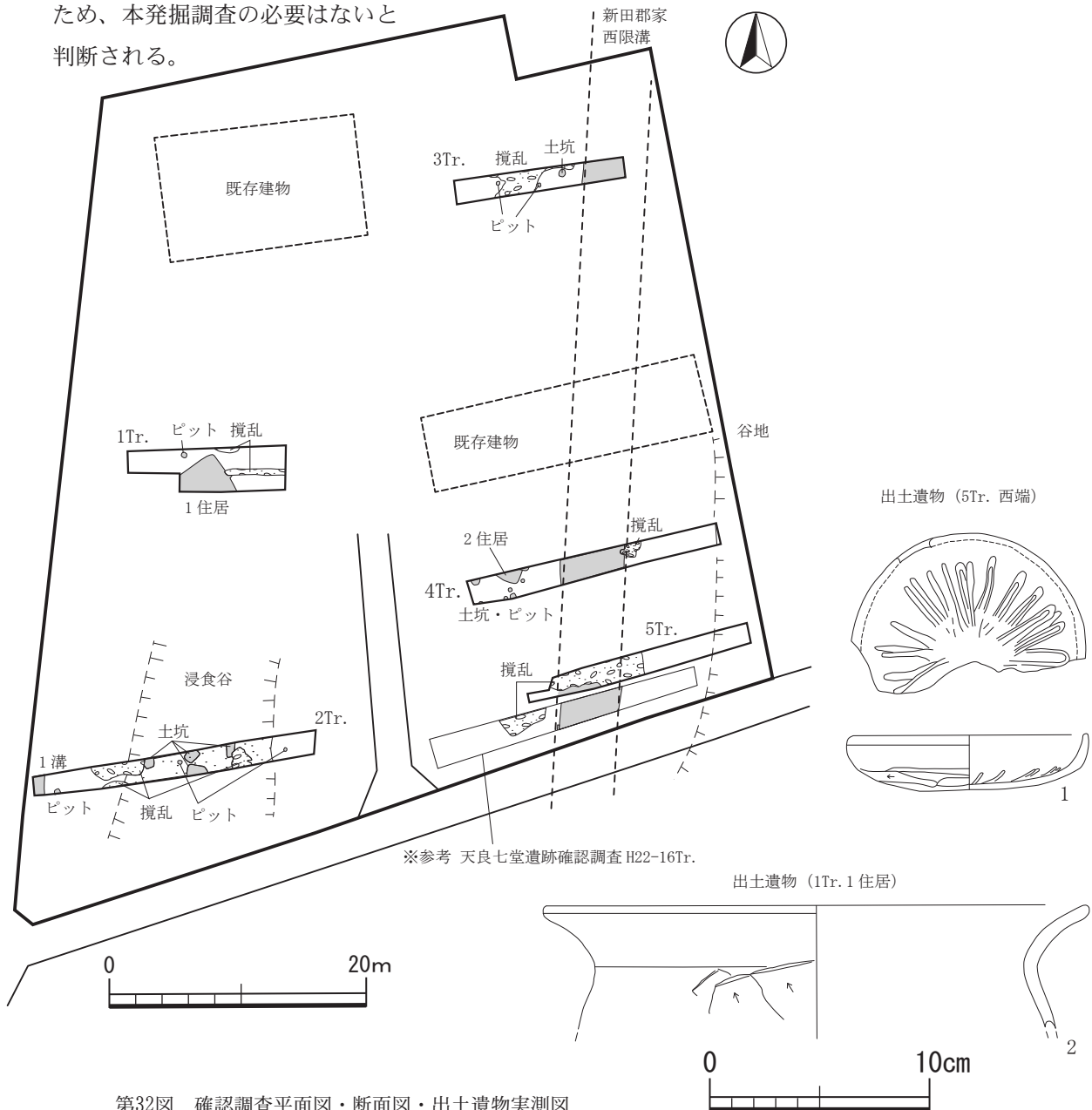
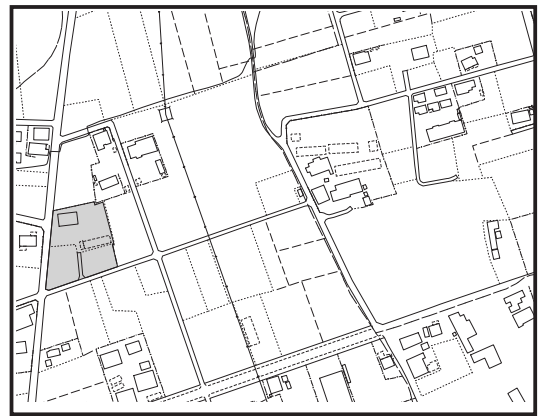


第31図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	埴輪	破片	- ・ (14.6) ・ -	やや粗小礫を含む	やや軟	橙色	体部外面、縦方向ヘラナデ。体部内面、横方向ヘラ削り。円筒埴輪が形象埴輪の台部と考えられる。

31 天良七堂遺跡 (H28No.37)

- ① 所在地 太田市新田小金井町1583-1 他
- ② 調査原因 資材置場の開発
- ③ 調査方法 開発予定地にトレンチを5本設定し、ローム層またはローム漸移層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 新田郡家の西限溝、溝1条、住居跡2軒、土坑8基、ピット10基が確認され、古墳時代から奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

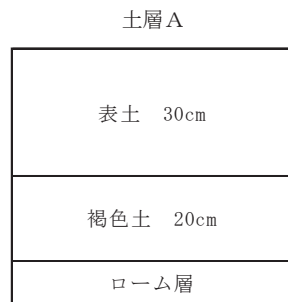
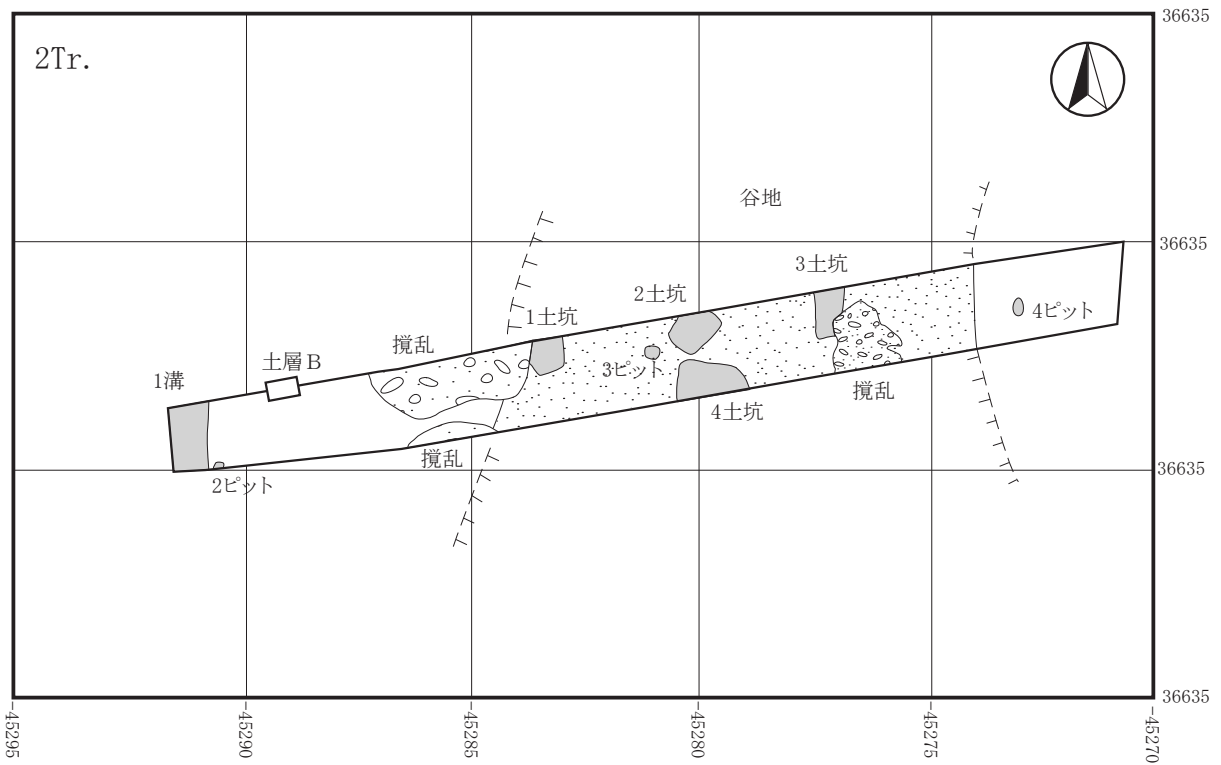
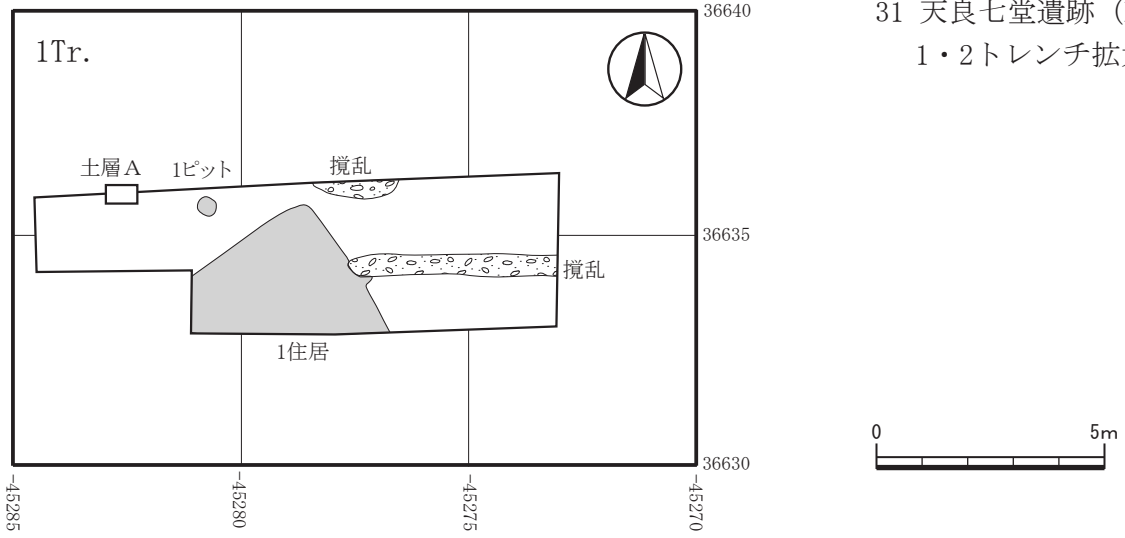


第32図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・坏	1/2	(10.6)・ - ・ 2.5	やや細	やや軟	外面：茶褐色 内面：暗茶褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。底部内面、ナデ後、放射状暗文。底部外面、ヘラ削り。器表の内外面に漆塗布か。
2	土師器・甕	口縁破片	(25.0)・ - ・ -	普通	普通	くすんだ淡褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。

31 天良七堂遺跡 (H28No.37)

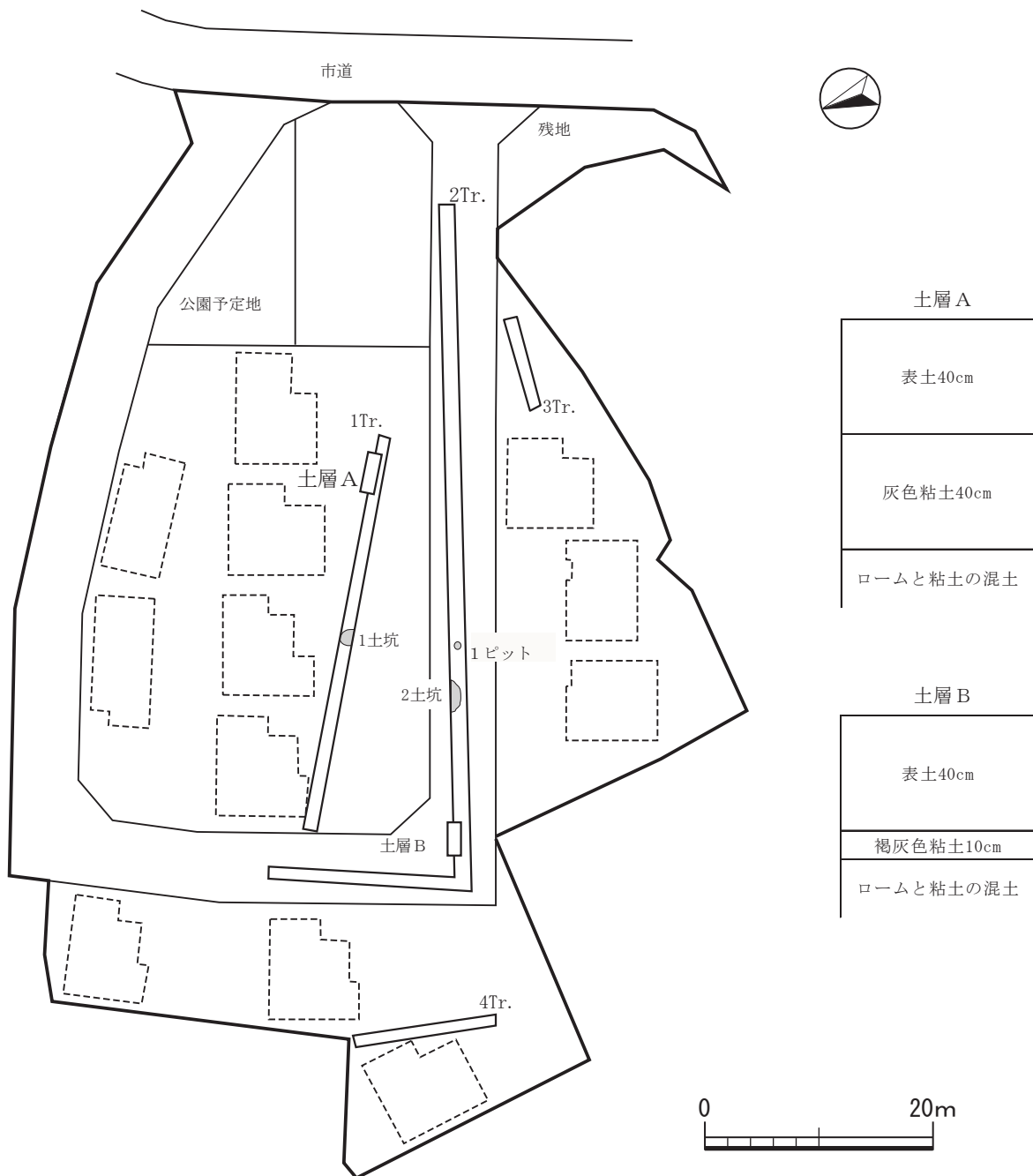
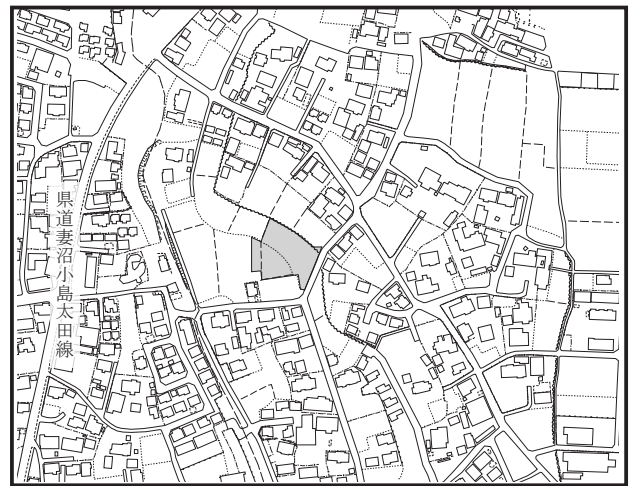
1・2トレンチ拡大図



第33図 確認調査平面図・断面図

32 道灌谷戸遺跡 (H28No.987)

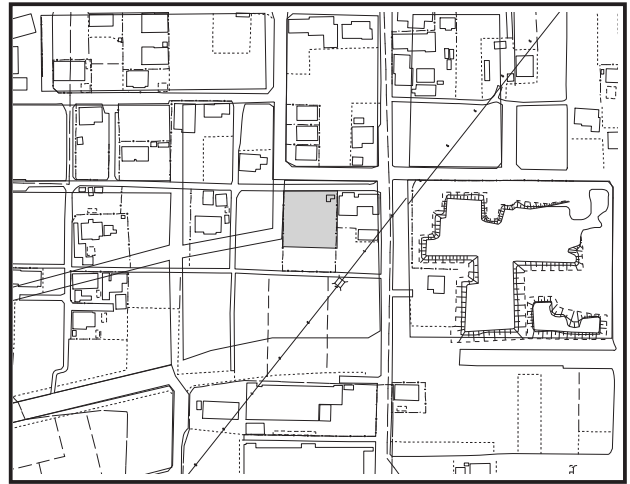
- ① 所在地 太田市下浜田町977-1 他
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを4本設定し、ロームと粘土の混土まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 土坑2基、ピット1基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構と推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



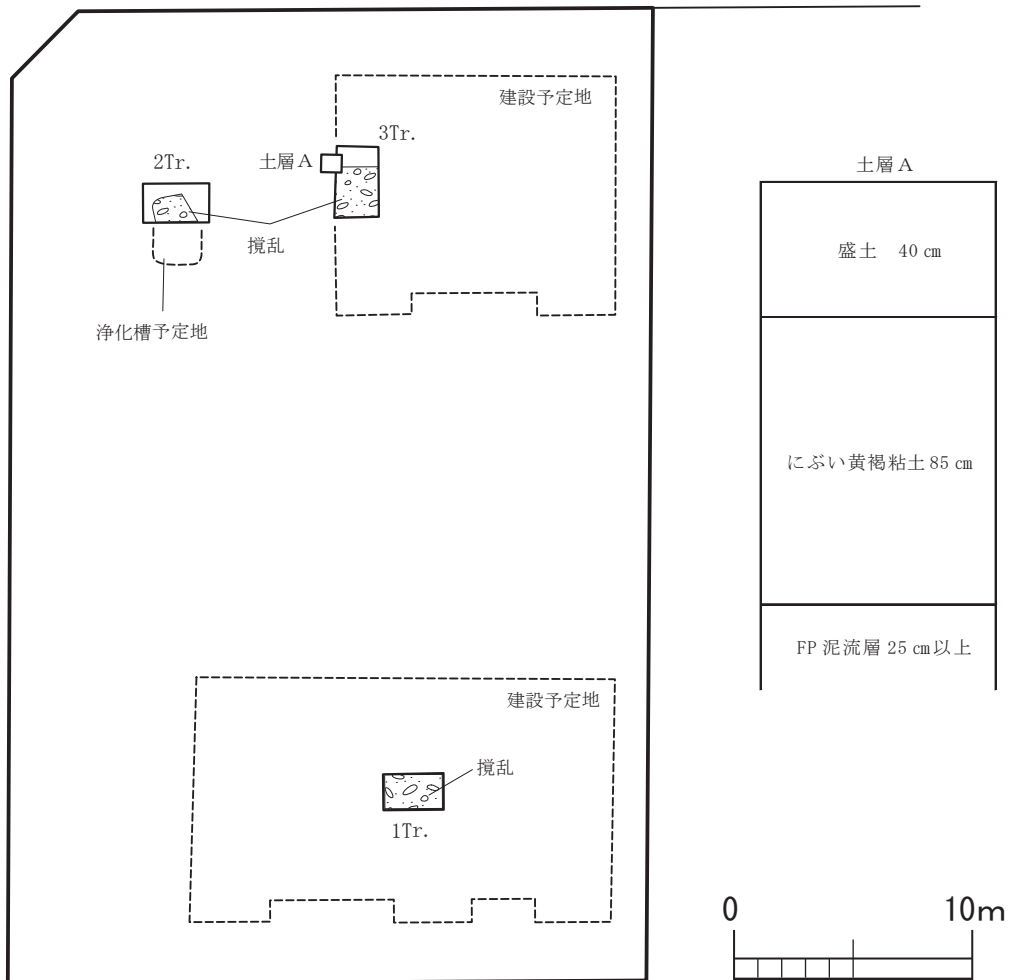
第35図 確認調査平面図・断面図

33 東部地区遺跡群 (H28No.218)

- ① 所在地 太田市堀口町266-2 他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを3本設定し、FP泥流層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



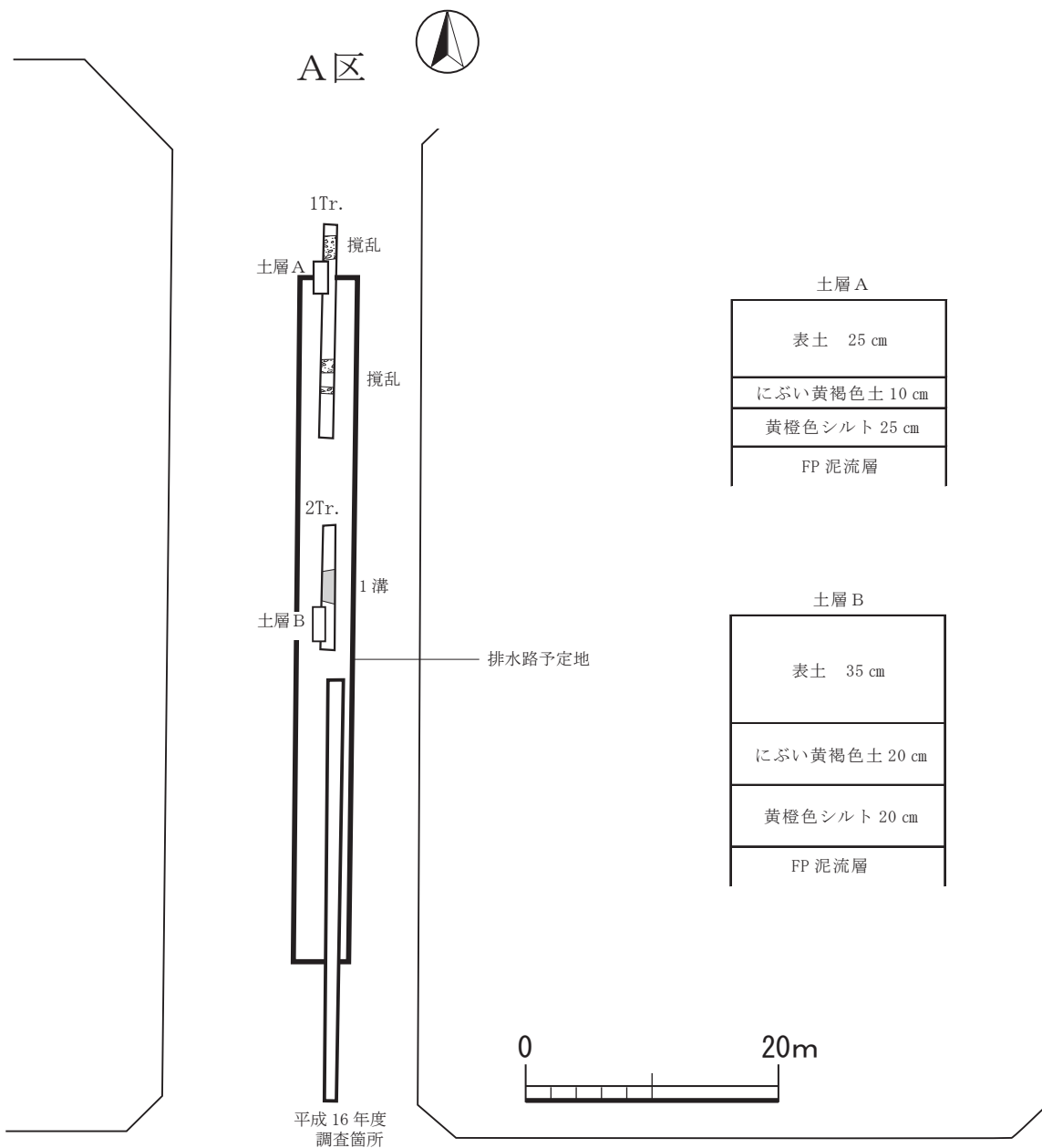
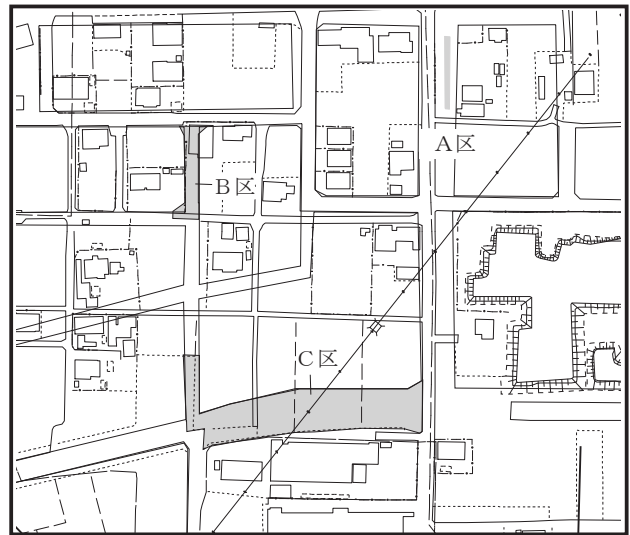
市 道



第36図 確認調査平面図・断面図

34・35 東部地区遺跡群 (H28No.1165・493)

- ① 所在地 太田市堀口町266-2 他
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 道路・排水路予定地にトレンチを5本設定し、FP泥流層等まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡1軒、溝4条、土坑9基、ピット20基が確認され、平安時代から中世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、C区においては本発掘調査を実施した。

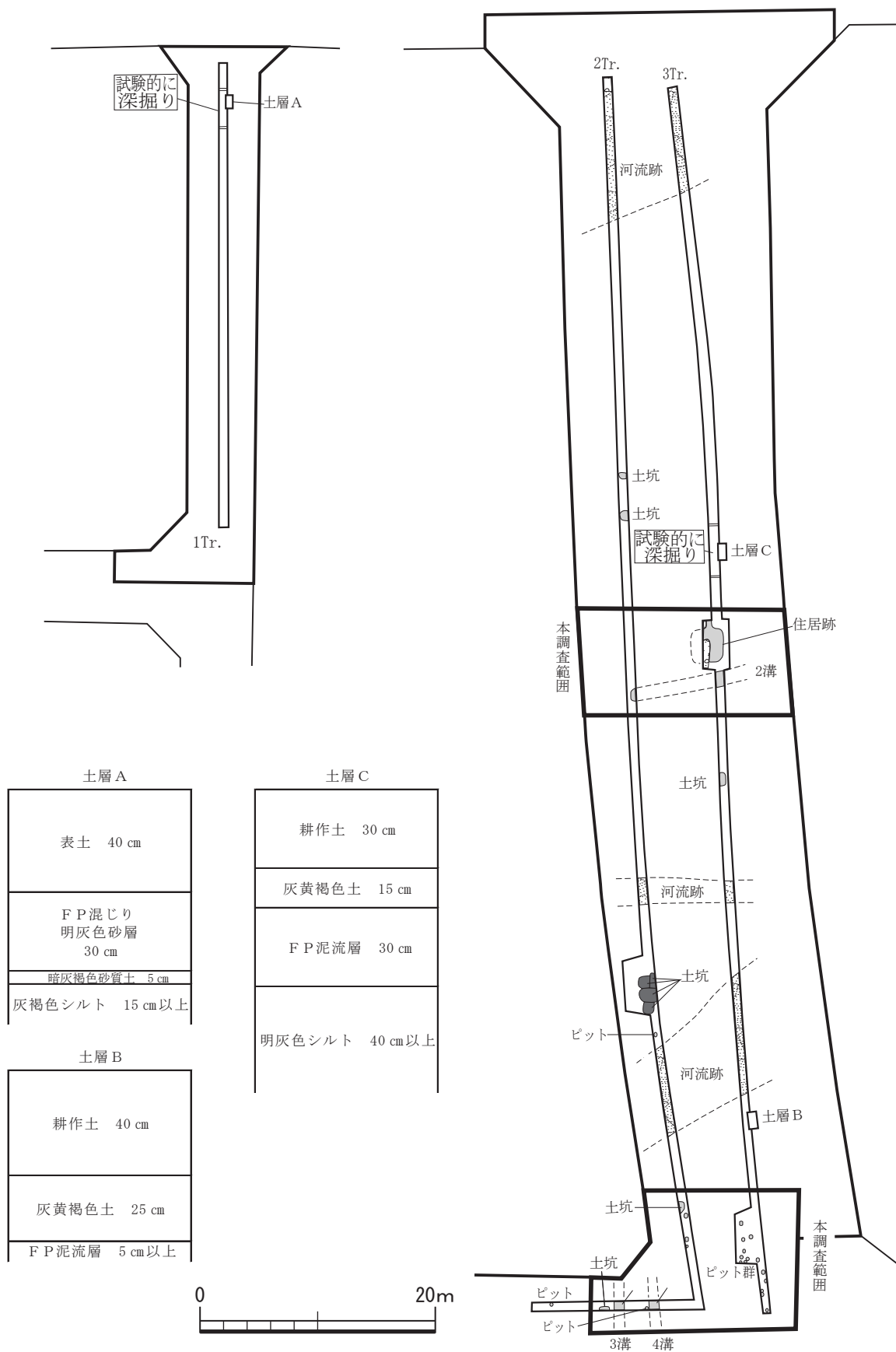


第37図 確認調査平面図・断面図

B区



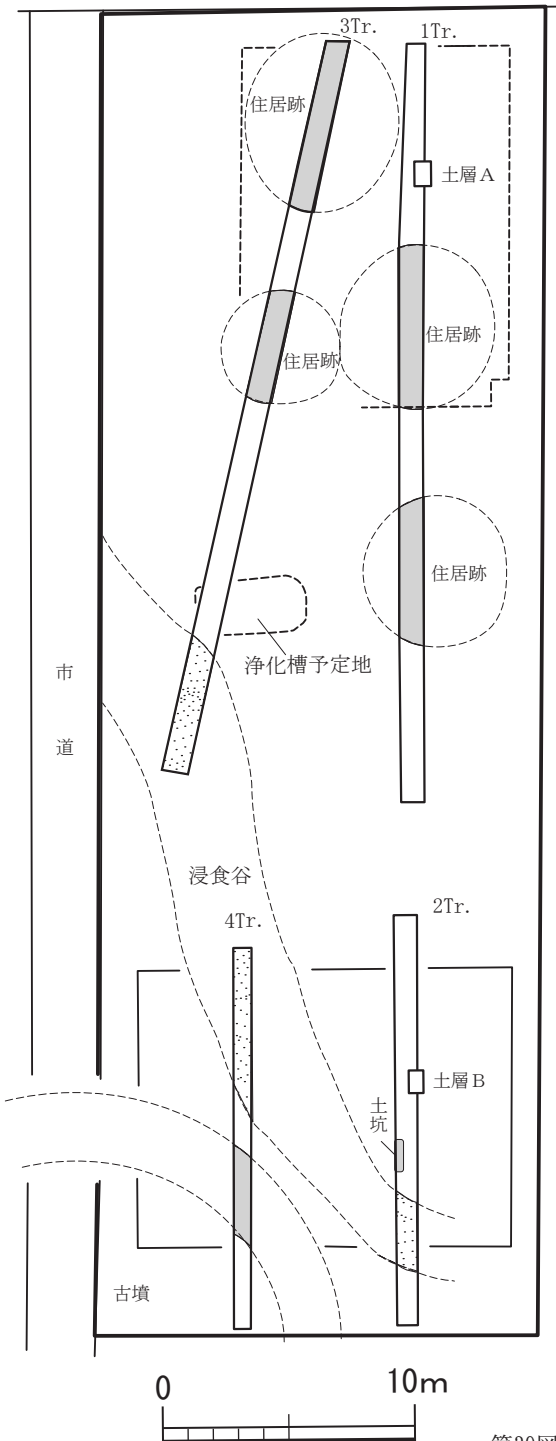
C区



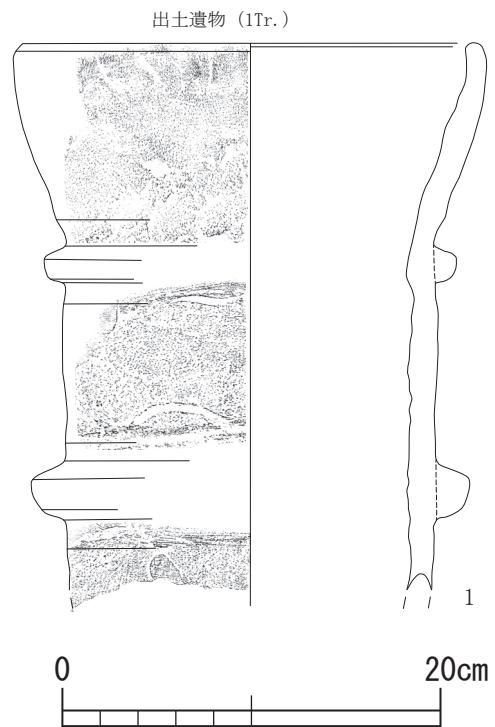
第38図 確認調査平面図・断面図

36 西田島遺跡 (H28No.156)

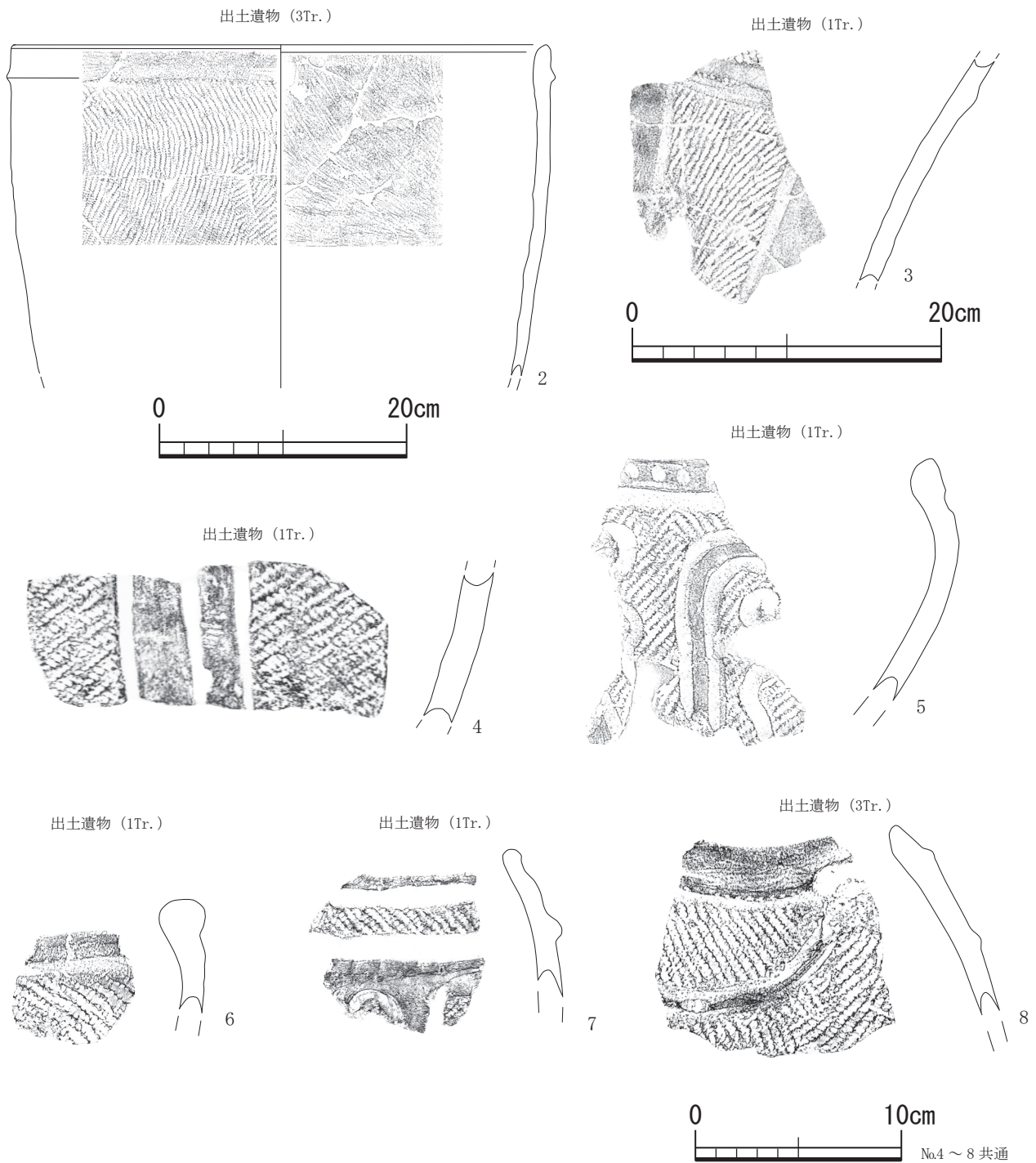
- ① 所在地 太田市下田島町1243-113他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡4軒、古墳1基、土坑1基が確認され、縄文時代の土器片及び埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



土層 A	土層 B
表土 25 cm	表土 25 cm
ローム漸移層 30 cm	暗褐色土 20 cm
ローム層	ローム漸移層 10 cm
	ローム層



第39図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

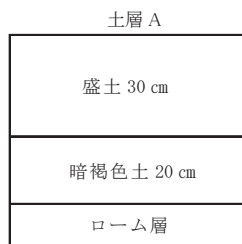
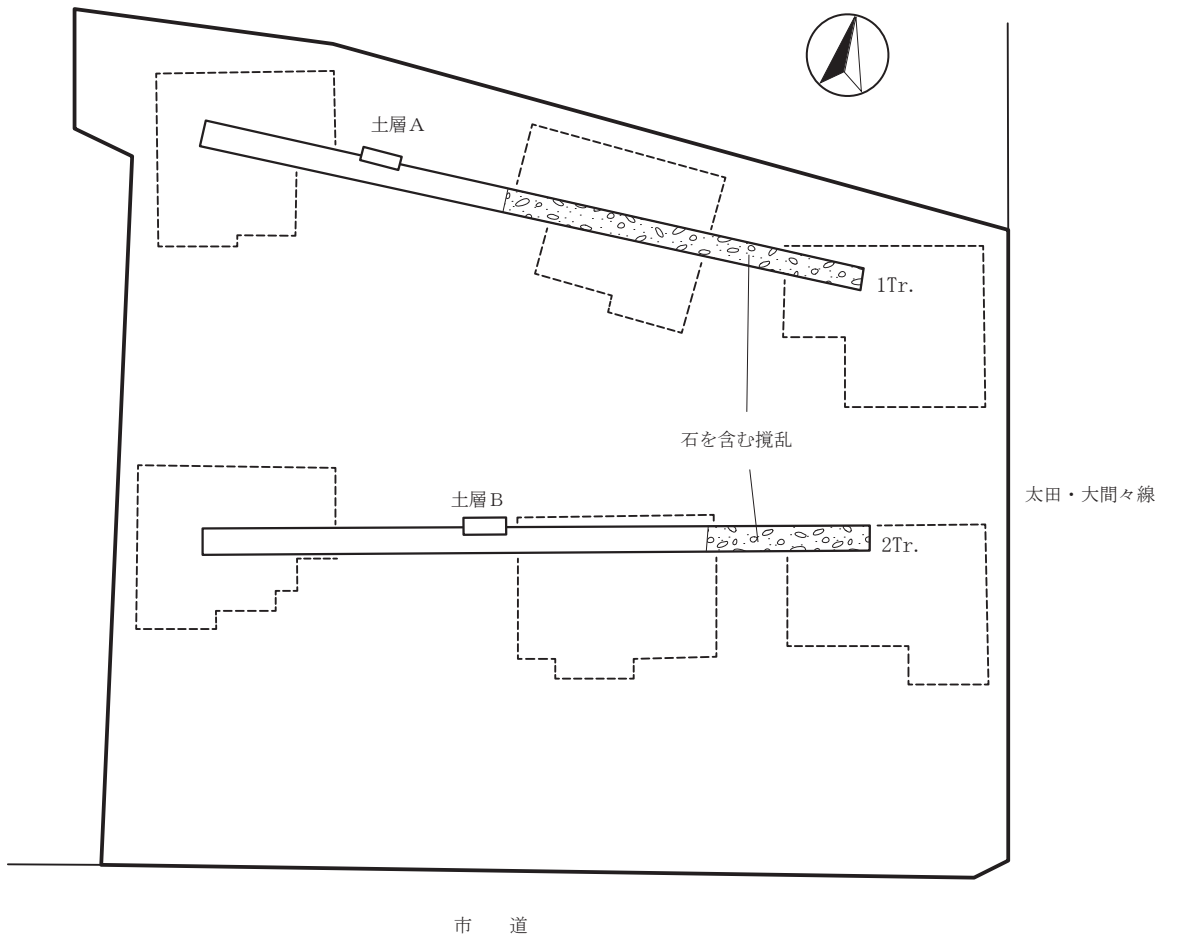


第40図 確認調査出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	円筒埴輪	体部 1/4	(24.0) ・ - ・ -	普通	やや軟	淡褐色	体部内面、横方向へラ削り。外面、横方向へラ削り。体部成形後、口縁部内外面、右方向ヨコナデ。突帯を付着し、横方向の指ナデ。体部内面に、粘土紐の輪積み痕あり。
2	縄文土器・深鉢	上部 1/2	(42.8) ・ - ・ -	普通 細砂礫を含む	普通	橙色	口縁部、内外面へラ磨き。体部外面、全面に縄文。体部内面、斜め方向へラ磨き加曾利E IV式
3	縄文土器・深鉢	破片	- ・ - ・ -	やや粗	やや軟	淡褐色	加曾利E III式
4	縄文土器・深鉢	破片	- ・ - ・ -			橙色	加曾利E III式
5	縄文土器・深鉢	破片	- ・ - ・ -			褐色	加曾利E III式 器表にすすが付着。
6	縄文土器・深鉢	破片	- ・ - ・ -			褐色	加曾利E III式
7	縄文土器・深鉢	破片	- ・ - ・ -			明橙色	加曾利E III式
8	縄文土器・深鉢	破片	- ・ - ・ -			橙色	加曾利E III式

37 西野西遺跡 (H28No.3)

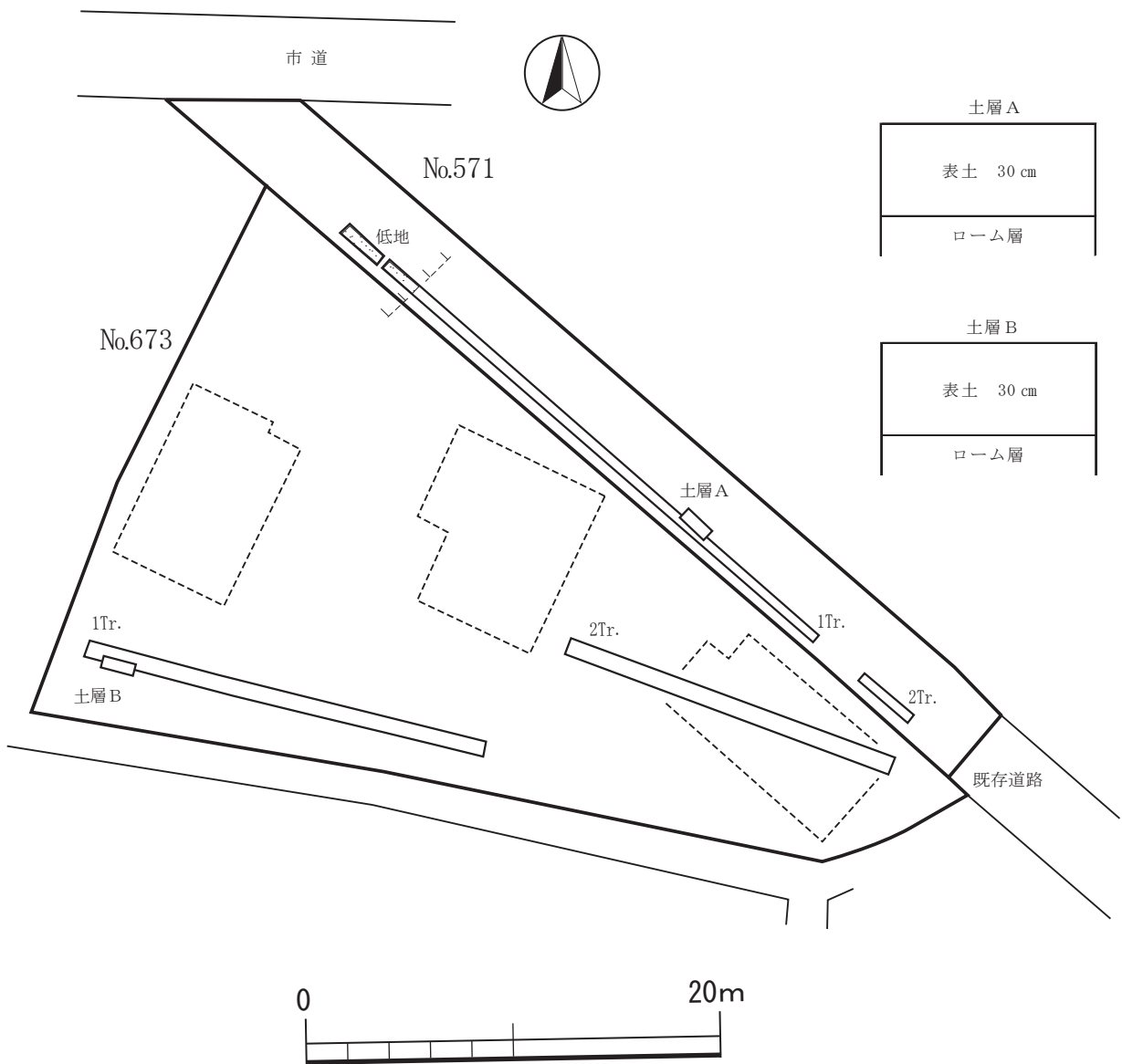
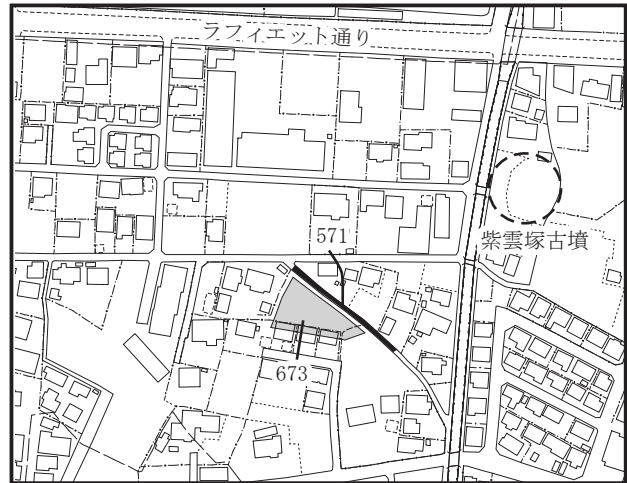
- ① 所在地 太田市藪塚町3017-1
- ② 調査原因 建売住宅の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第41図 確認調査平面図・断面図

38・39 西矢島遺跡 (H28No.571・673)

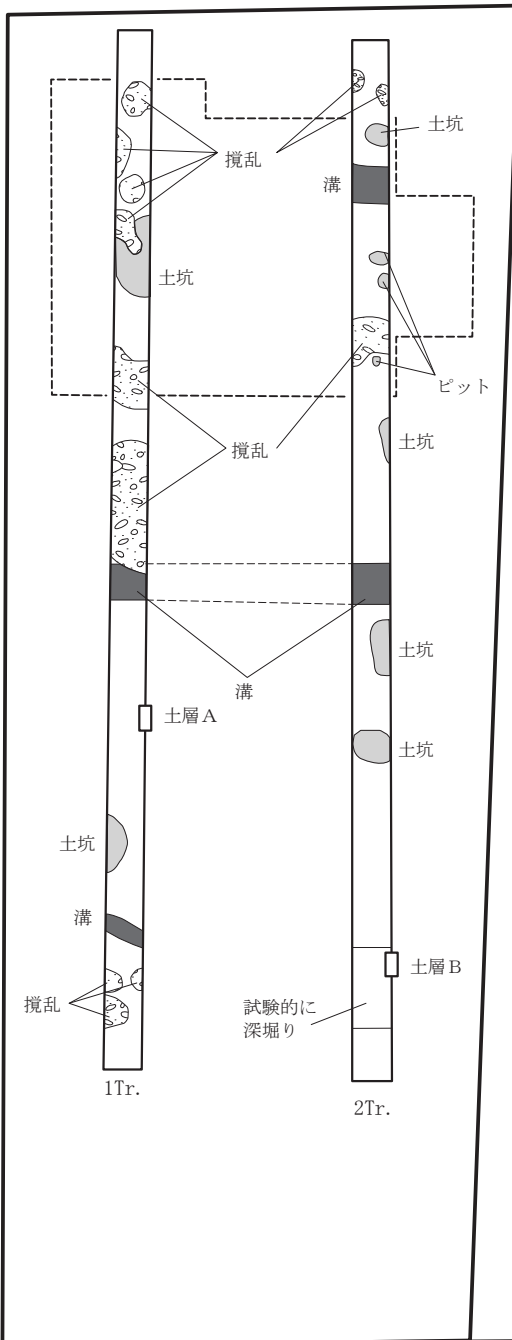
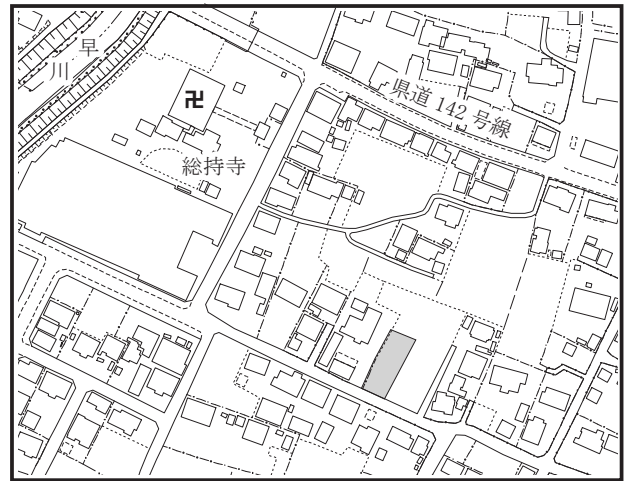
- ① 所在地 太田市西矢島町357
- ② 調査原因 道路補修・建売住宅の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第42図 確認調査平面図・断面図

40 新田館跡、世良田環濠集落 (H28No.390)

- ① 所在地 太田市世良田町843-5 他
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地にトレンチを2本設定し、地表から約50cmまで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝3条、土坑6基、ピット3基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



土層 A

砕石 10 cm
暗茶褐色土 35 cm
ローム・軽石混じりの暗黄褐色シルト質土 15 cm以上

土層 B

砕石 15 cm
暗茶褐色土 30 cm
ローム・軽石混じりの茶褐色シルト質土 20 cm
ローム・軽石混じりの暗黄褐色シルト質土 20 cm
黄灰褐色砂質土 25 cm
明灰褐色砂質土 20 cm以上

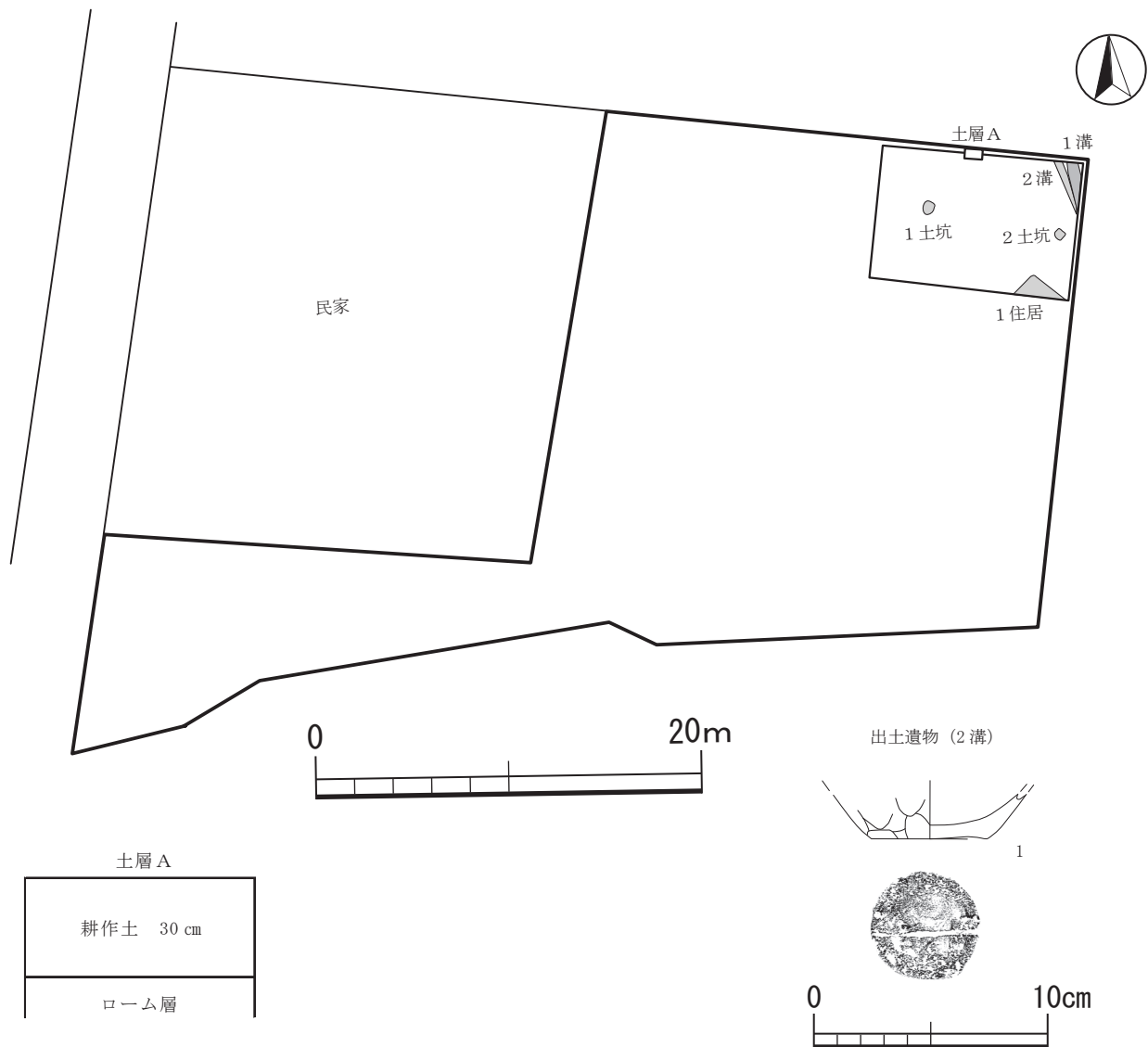
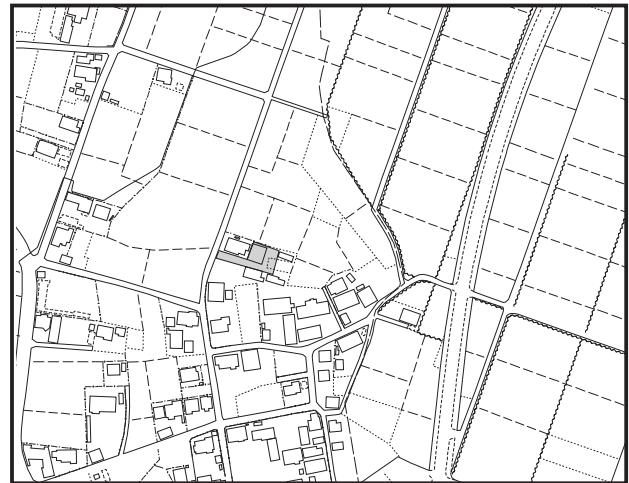


道 路

第43図 確認調査平面図・断面図

41 登戸遺跡 (H28No.286)

- ① 所在地 太田市新田上江田町549-1
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを1箇所設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡1軒、溝2条、土坑2基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

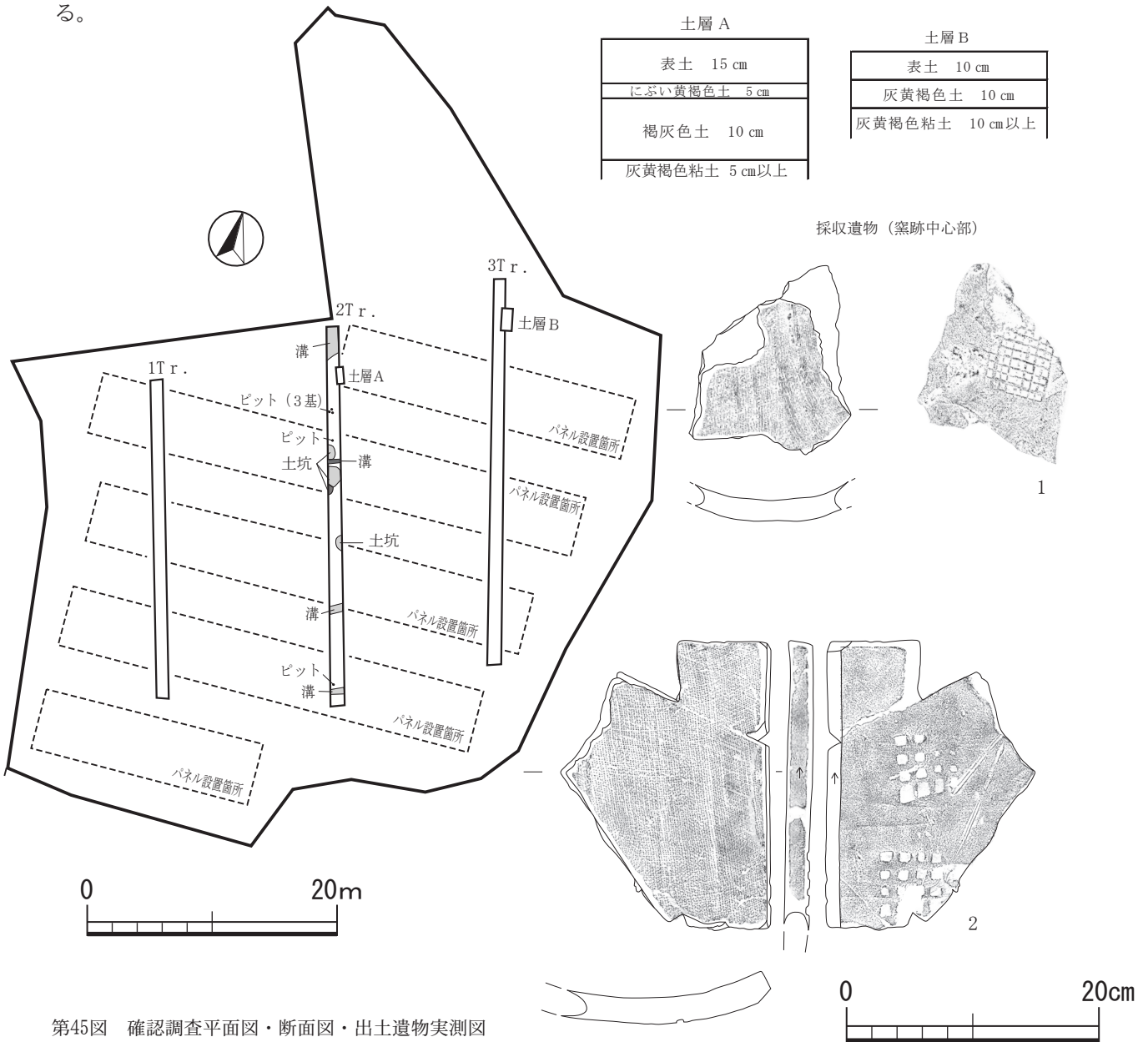
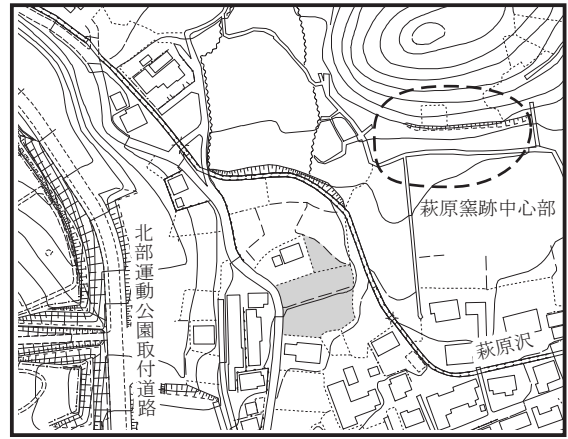


第44図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	土師器・椀	底部破片	- ・ 5.0 ・ -	緻密	普通	白みをおびた淡褐色	口縁部外面ナデ状の丁寧なヘラ削り。内面、ヘラナデ。

42 萩原窯跡、萩原遺跡 (H28No.406)

- ① 所在地 太田市吉沢町2113-1
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを3本設定し、表土から約30cmまで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝4条、土坑4基、ピット5基が確認され、遺跡に伴う平瓦を採取した。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

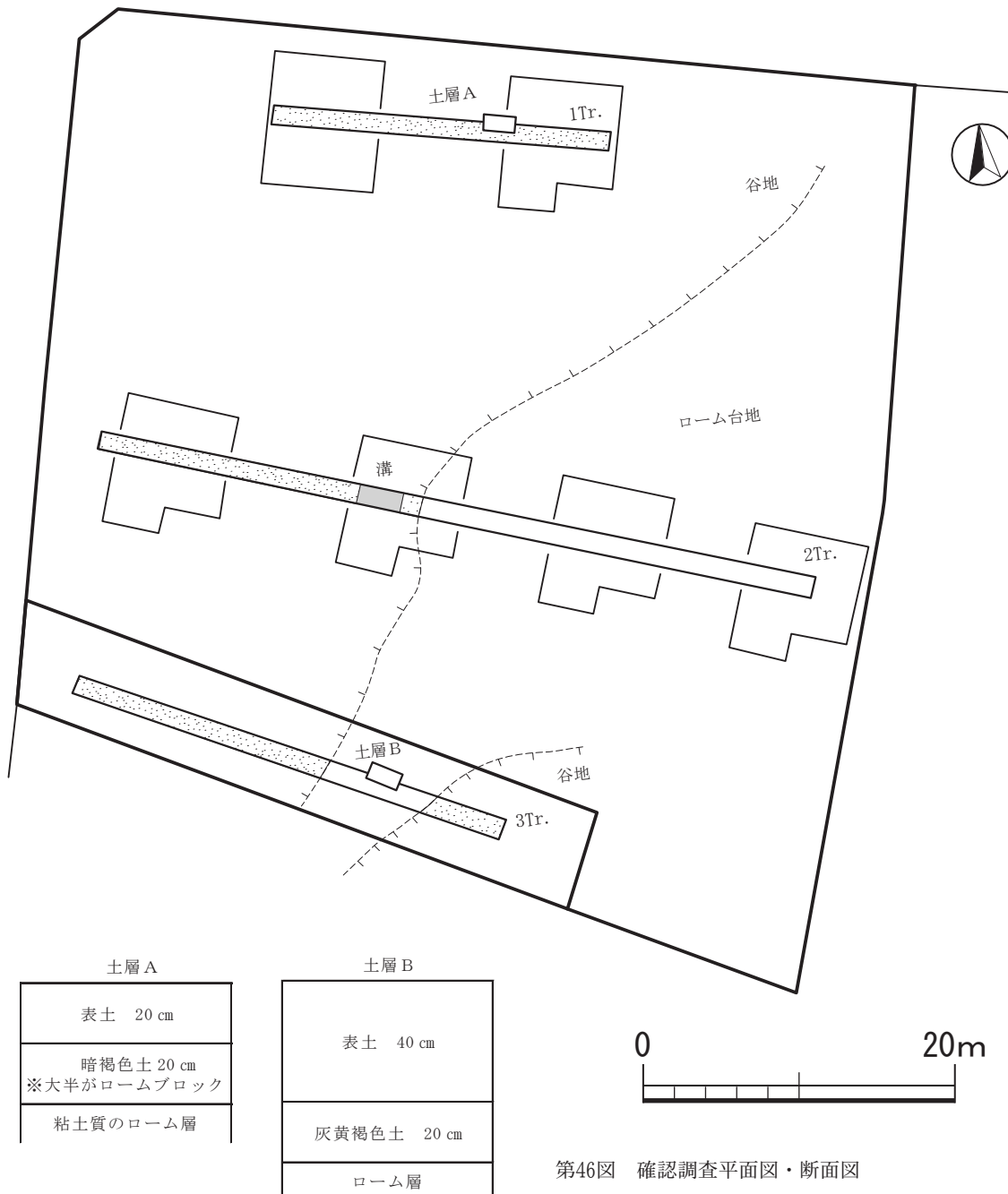
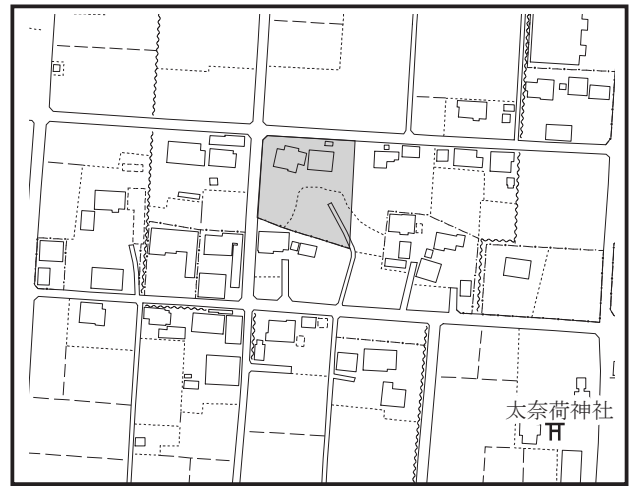


第45図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	厚さ	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	平瓦	破片	1.7	細	堅い (還元炎焼成)	暗灰青色	粘土板切り離し痕あり。模骨痕あり。格子叩き(8×9)
2	平瓦	破片	2.0	やや細	普通 (酸化炎焼成)	橙色	粘土板切り離し痕あり。模骨痕あり。格子叩き(4×5)

43 馬場遺跡 (H28No.315)

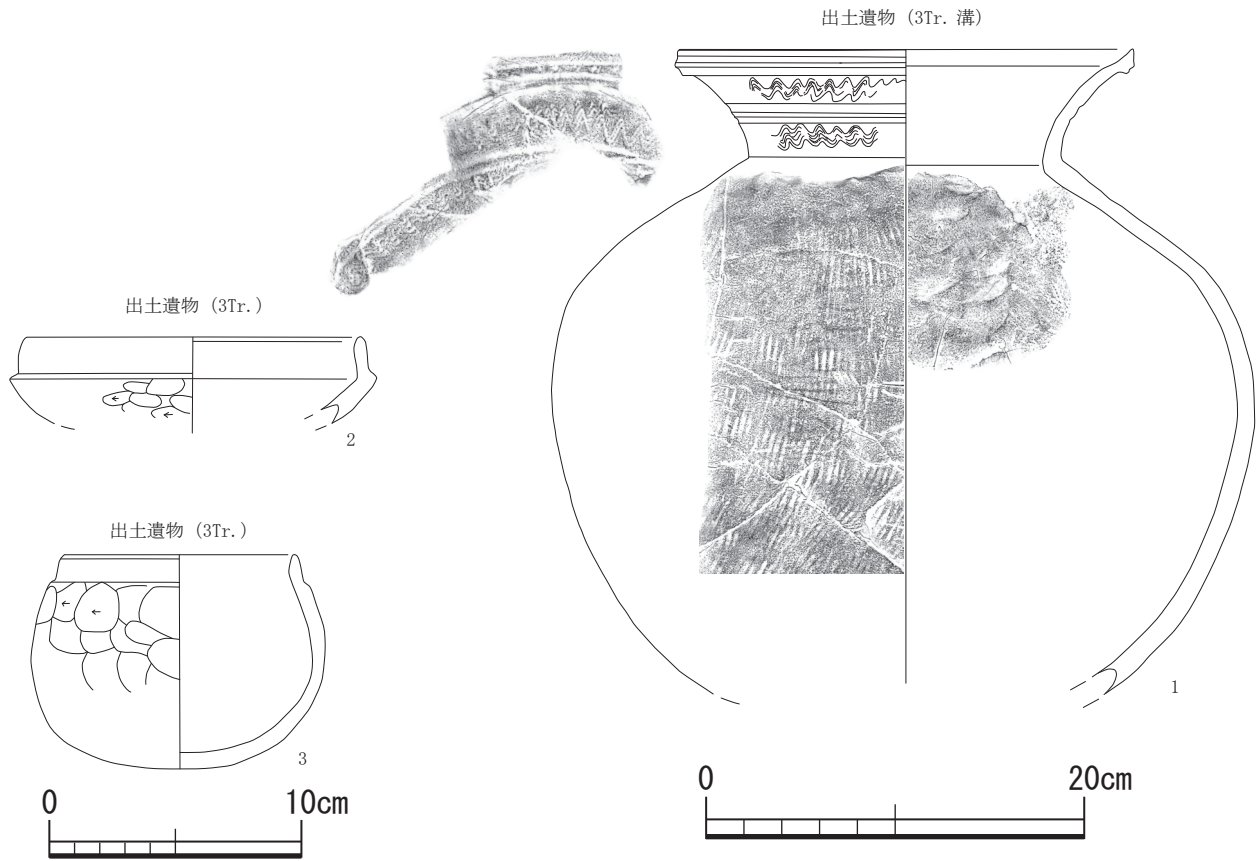
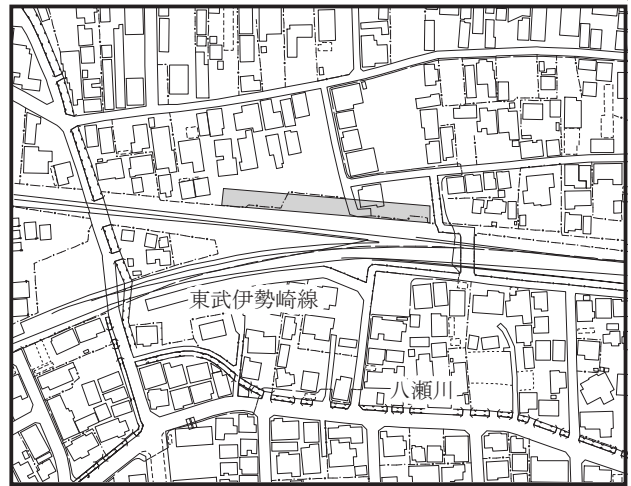
- ① 所在地 太田市新田上田中町1070-1 他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 造成予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条が確認され、近世の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構と推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第46図 確認調査平面図・断面図

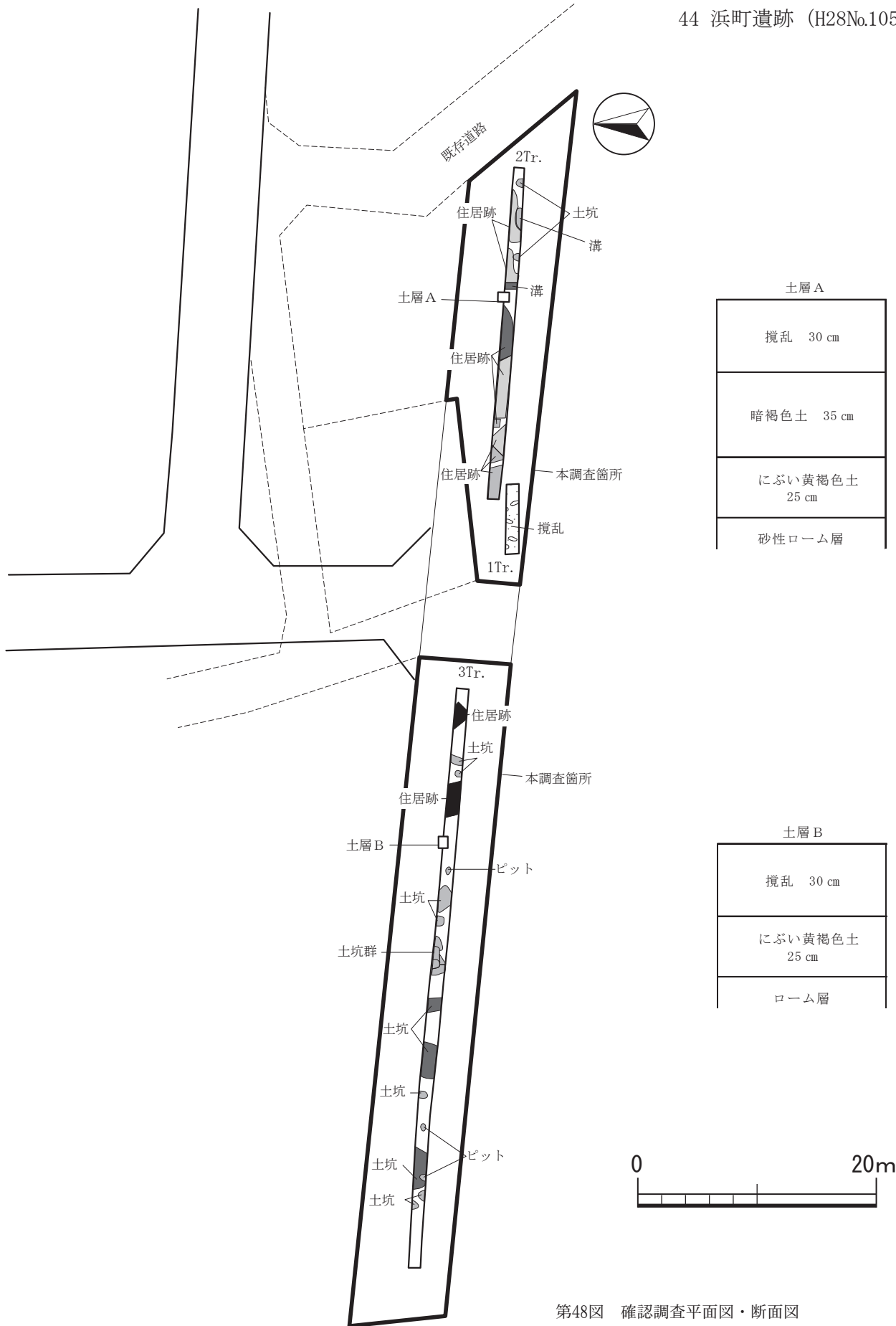
44 浜町遺跡 (H28No.105)

- ① 所在地 太田市本町7-8他
- ② 調査原因 土地区画整理
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡10軒、溝2条、土坑多数、ピット3基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。



第47図 確認調査出土遺物実測図

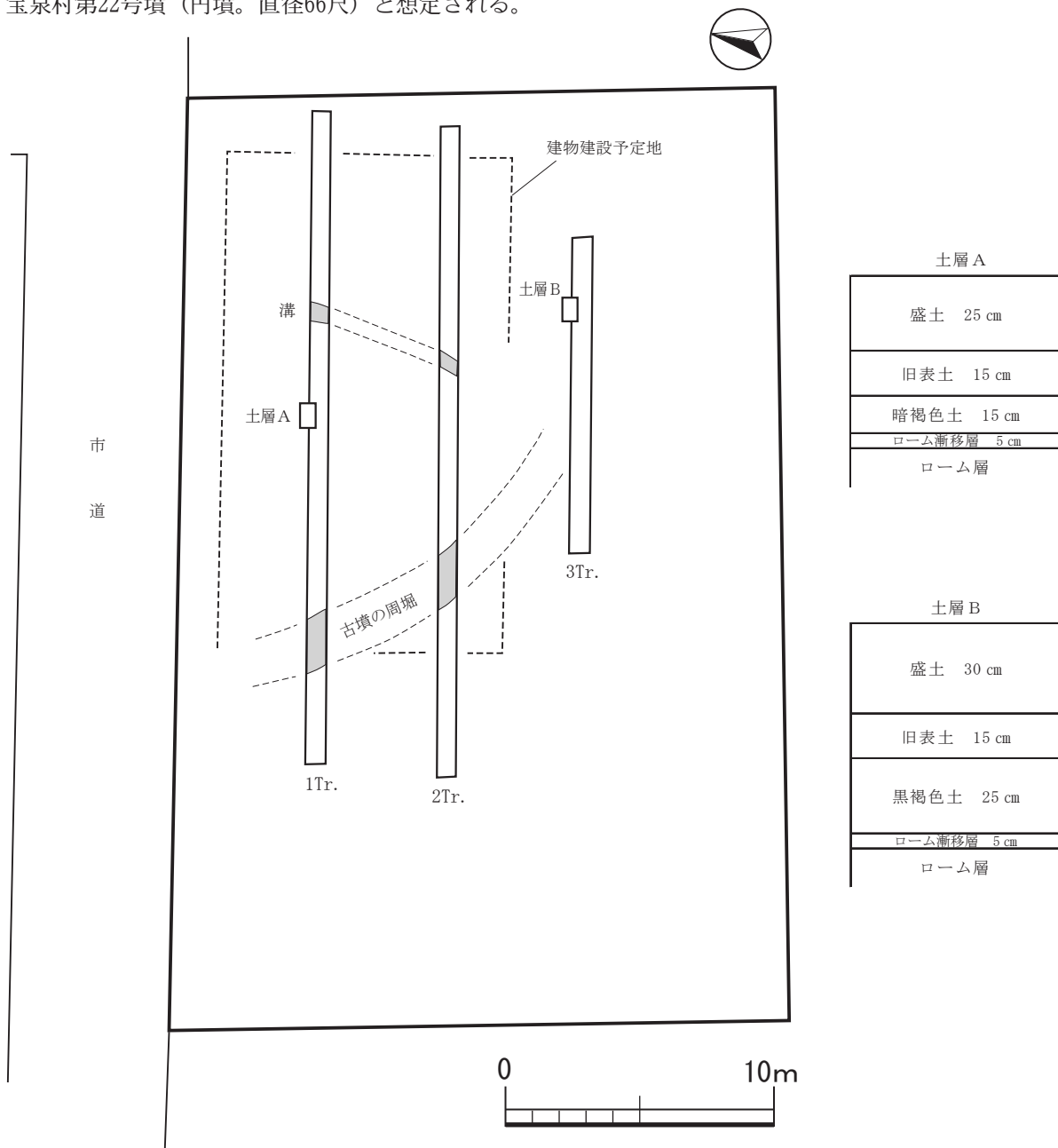
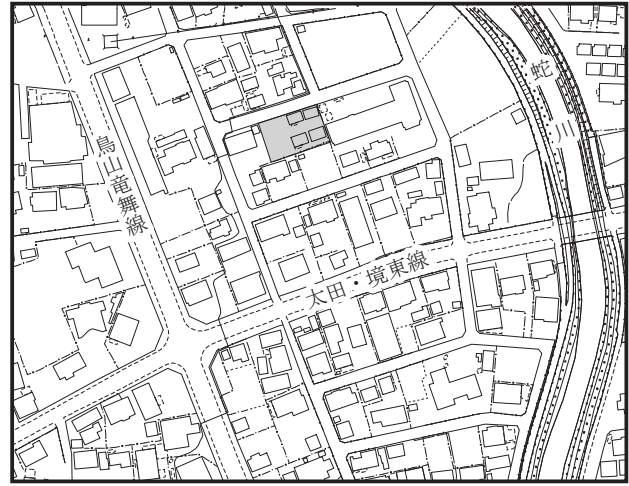
番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	須恵器・甕	5/6	(24.6)・—・—	普通 (砂粒含む)	やや軟	暗灰色	口縁部外面、凹線2条。頸部外面、櫛描波状文(櫛の歯3本の波状文)、凹線2条。体部外面、全面に平行目文。器の表面は使用による磨耗が及んでいる。口縁部には使用による破損もみられる。体部内面、無文の当て具。
2	土師器・坏	破片	(13.6)・—・—	やや細	やや軟	淡橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。
3	土師器・小形甕	3/4	9.4・3.0・8.6	普通	やや軟	くすんだ 淡褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。内面、ナデ。底部に火を受けた痕がある。



第48図 確認調査平面図・断面図

45 藤阿久古墳群 (H28No.700)

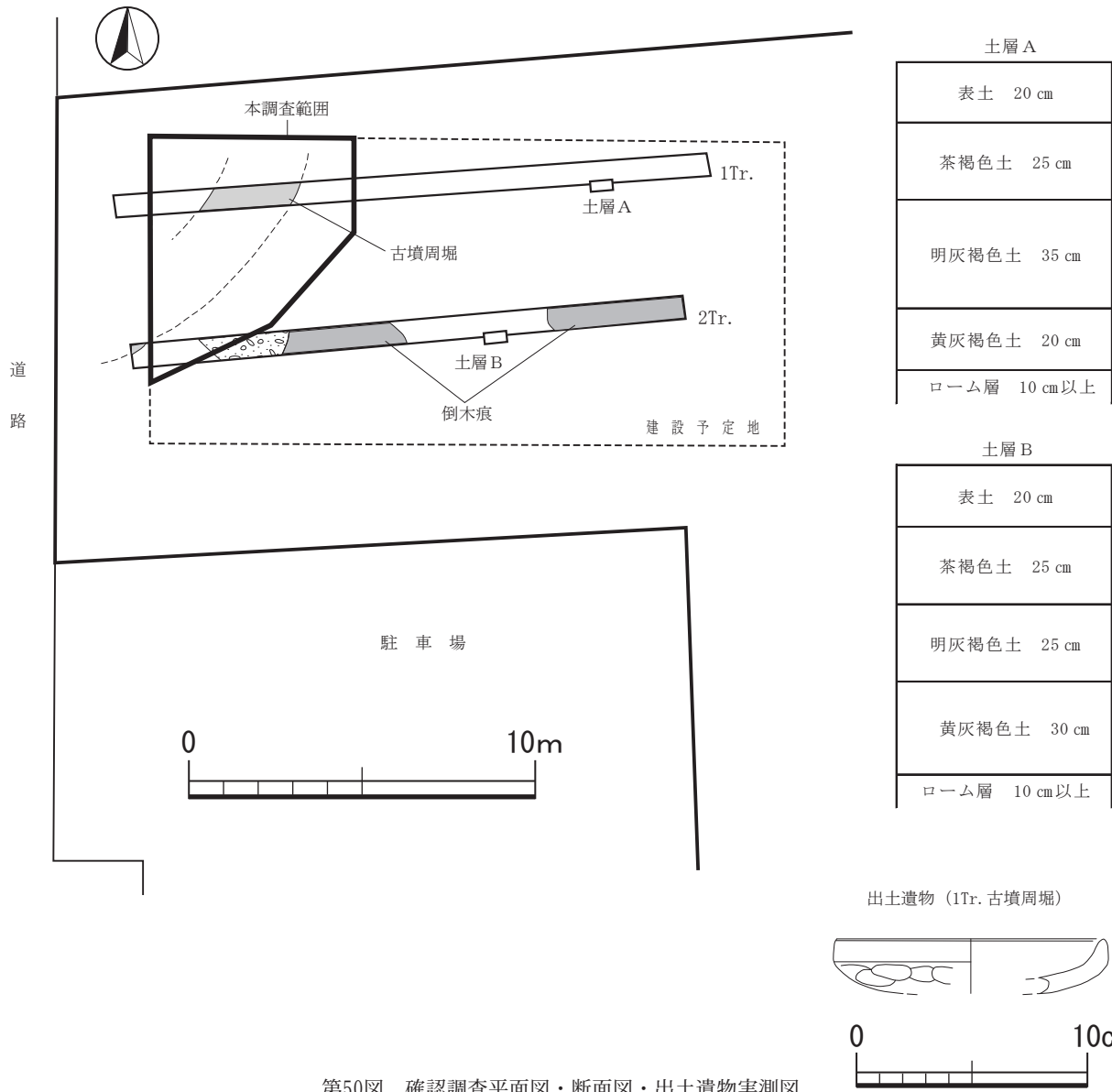
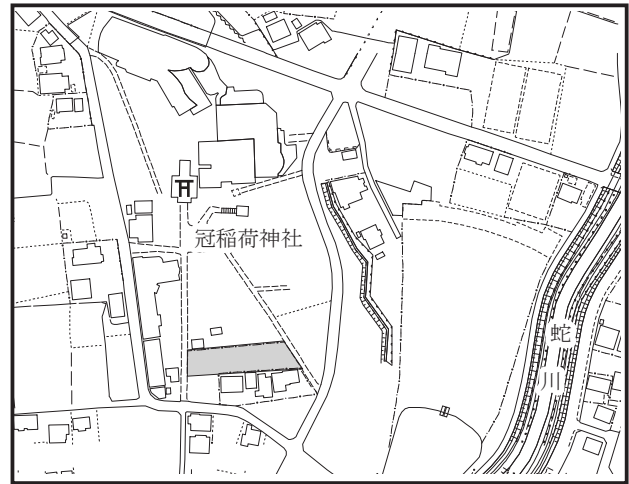
- ① 所在地 太田市藤阿久町910-2 他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 古墳1基、溝1条が確認され、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。
- ⑥ 特記事項 確認された古墳は『上毛古墳総覧』の宝泉村第22号墳(円墳。直径66尺)と想定される。



第49図 確認調査平面図・断面図

46 細谷古墳群 (H28No.446)

- ① 所在地 太田市細谷町35-5 他
- ② 調査原因 認定こども園の建設
- ③ 調査方法 建設予定地にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 古墳の周堀1箇所が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響があるため、本発掘調査を実施した。

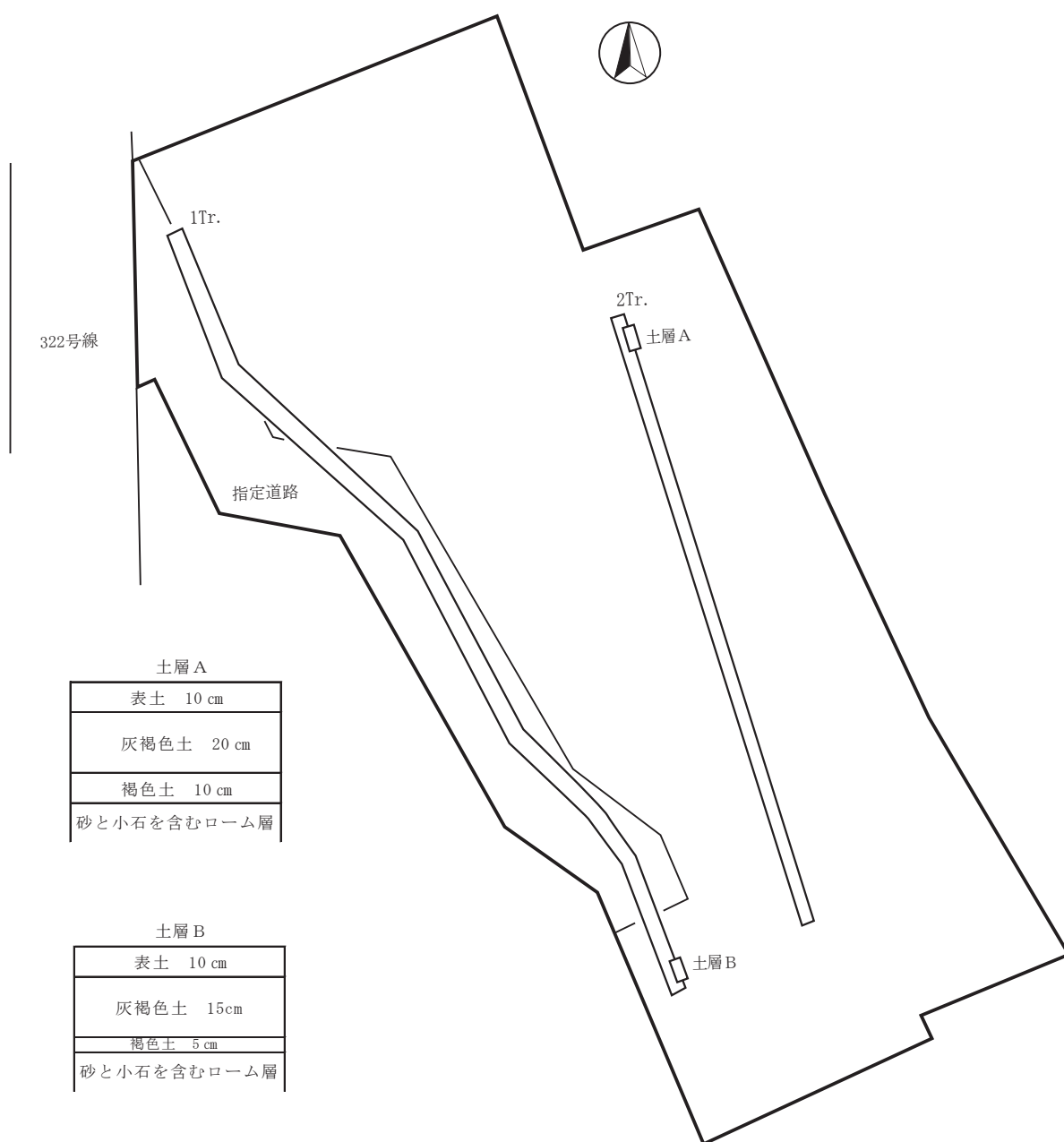
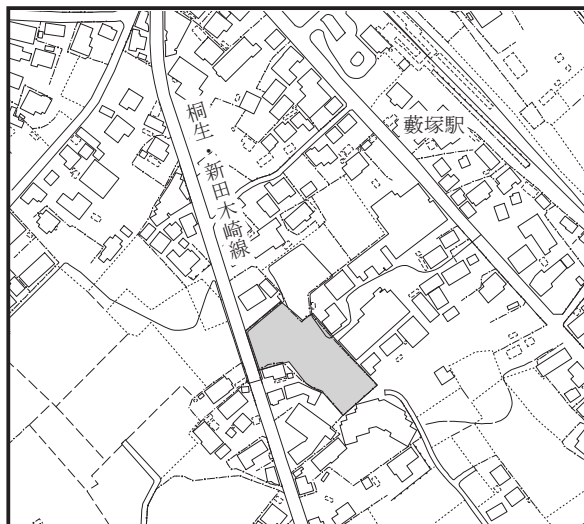


第50図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・坏	破片	(11.8)・ - ・ -	普通	やや不良	くすんだ淡褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。体部内面、ナデ。

47 三島遺跡 (H28No.922)

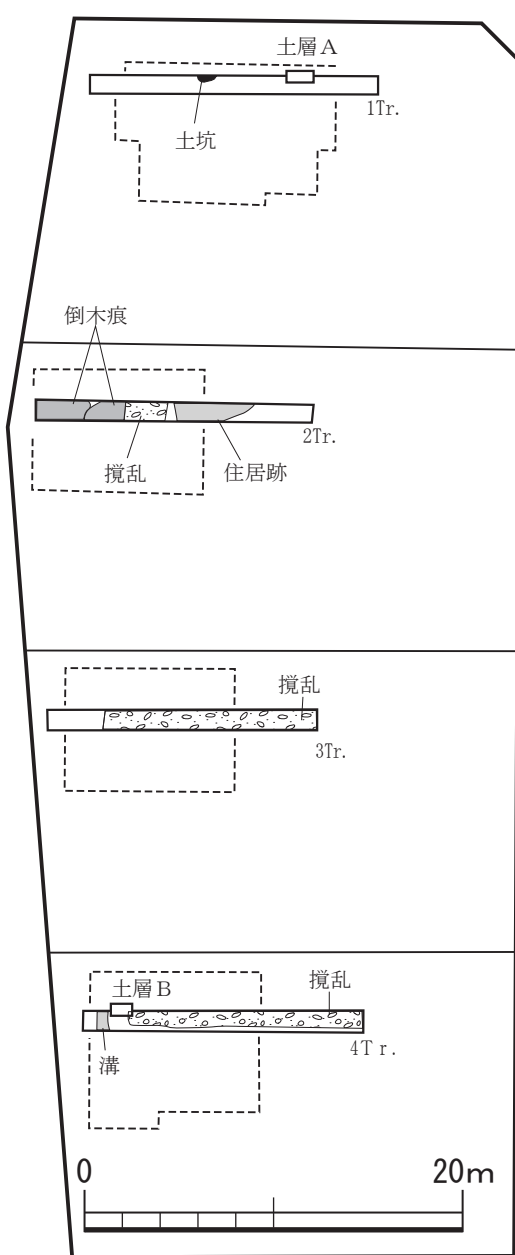
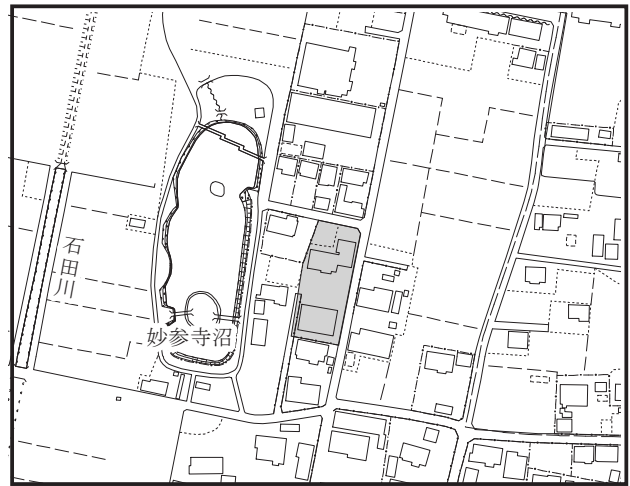
- ① 所在地 太田市藪塚町2911-1 他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 造成予定地にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第51図 確認調査平面図・断面図

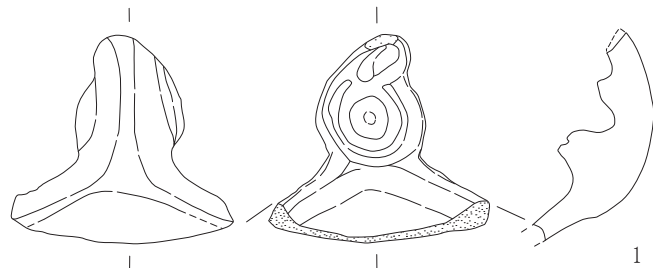
48 妙参寺沼遺跡 (H28No.640)

- ① 所在地 太田市新田大根町192-1 他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 造成予定地にトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡1軒、溝1条、土坑1基が確認され、縄文時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響のない工法のため、本発掘調査の必要はないと判断される。



土層 A	土層 B
造成土 20 cm	造成土 40 cm
暗褐色土 30 cm	暗褐色土 30 cm
褐色土 10 cm	
ローム層	ローム層

出土遺物 (2Tr. 倒木痕)

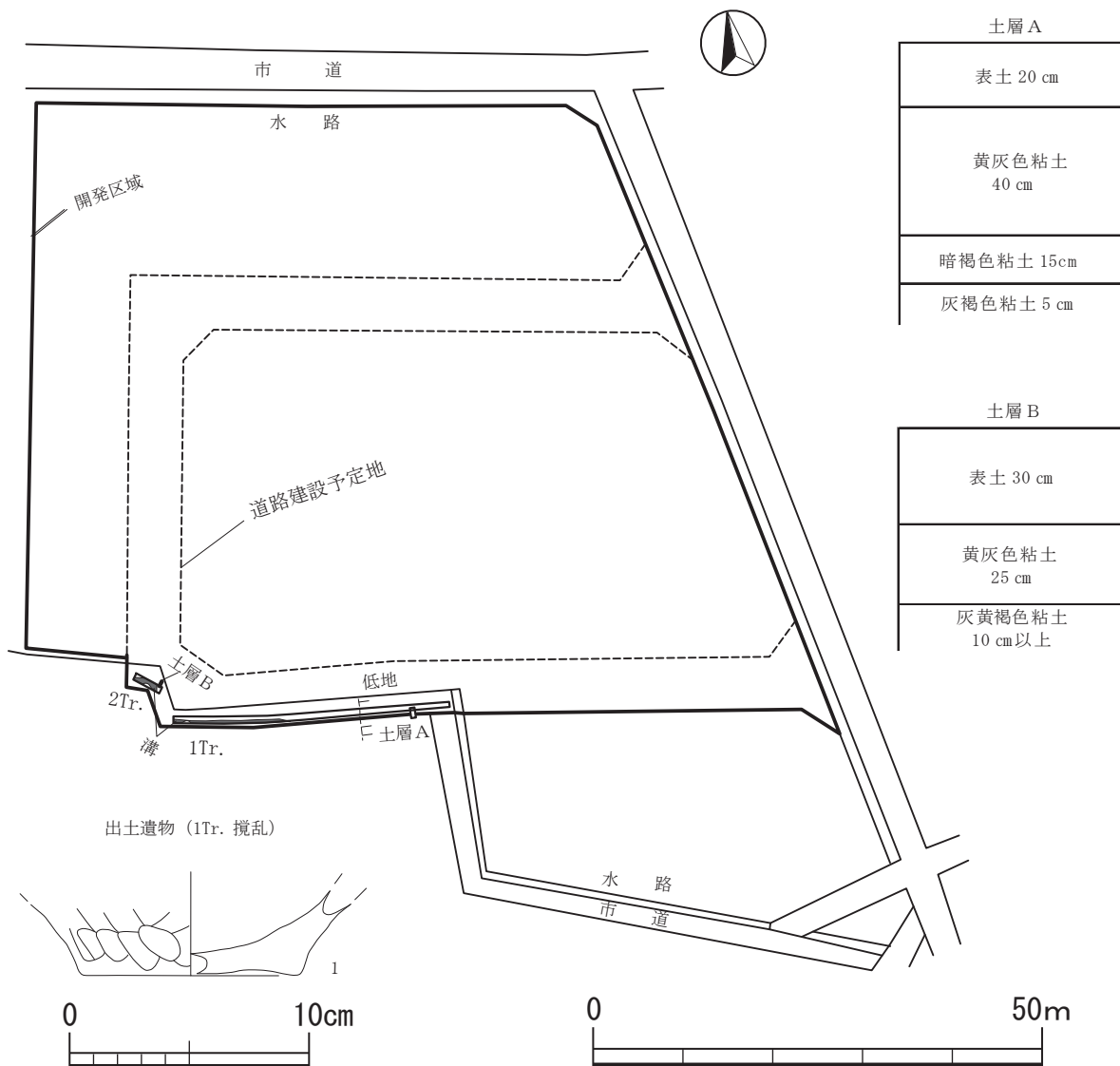


第52図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	縄文土器・深鉢	口縁の把手	- . - . -	やや細	やや軟	淡褐色	称名寺2式

49 目塚遺跡 (H28No.198)

- ① 所在地 太田市東長岡町191-1 他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 道路予定地にトレンチを2本設定し、地表から約70cm掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝2条が確認され、古墳時代の土器片・埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 近世以降の遺構と推定されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

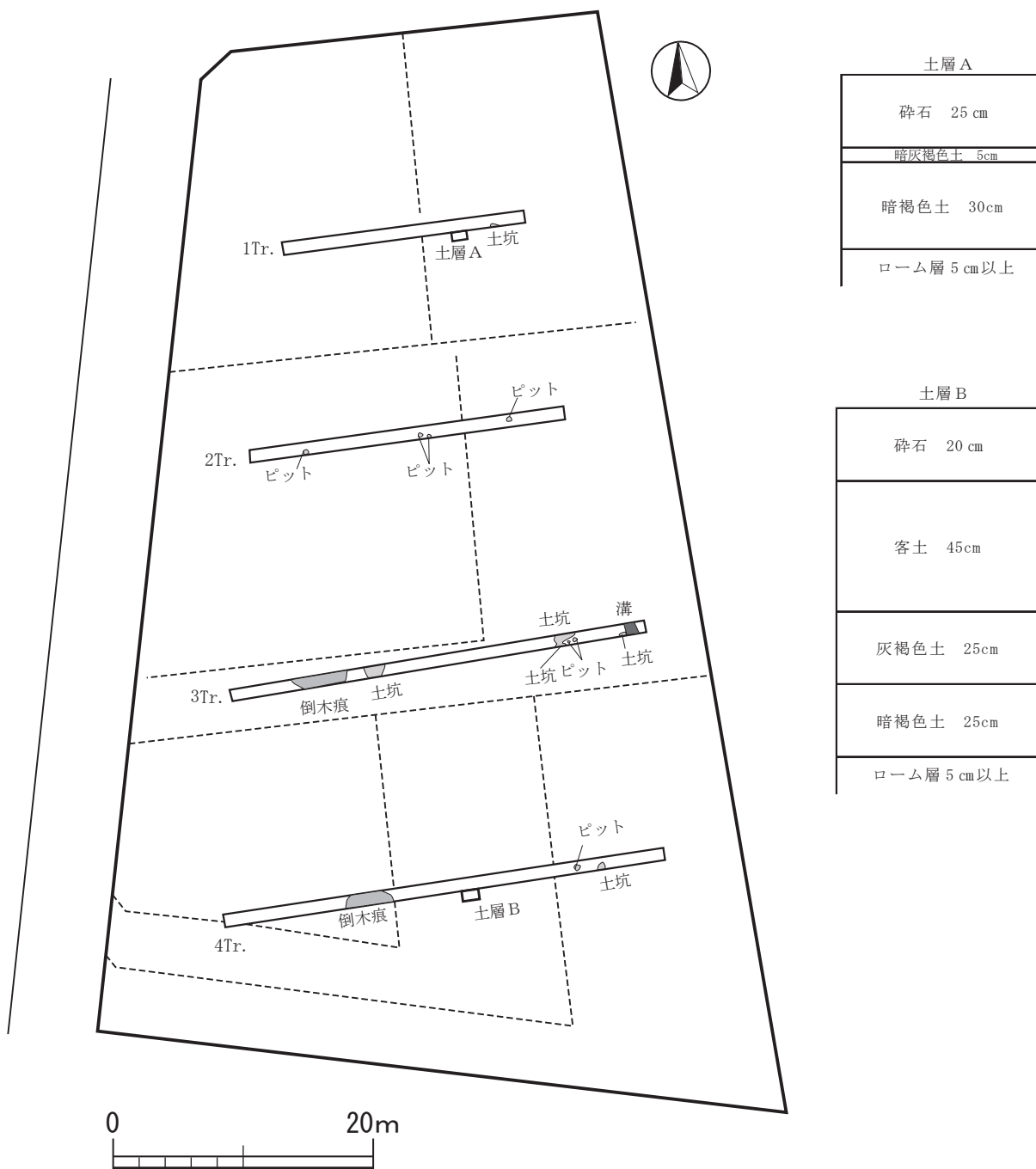


第53図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・甕	底部破片	-・(9.2)・-	やや粗	やや軟	くすんだ淡褐色	底部外面、ヘラ削り。底部内面、ヘラナデ。

50 由良天王遺跡 (H28No.1099)

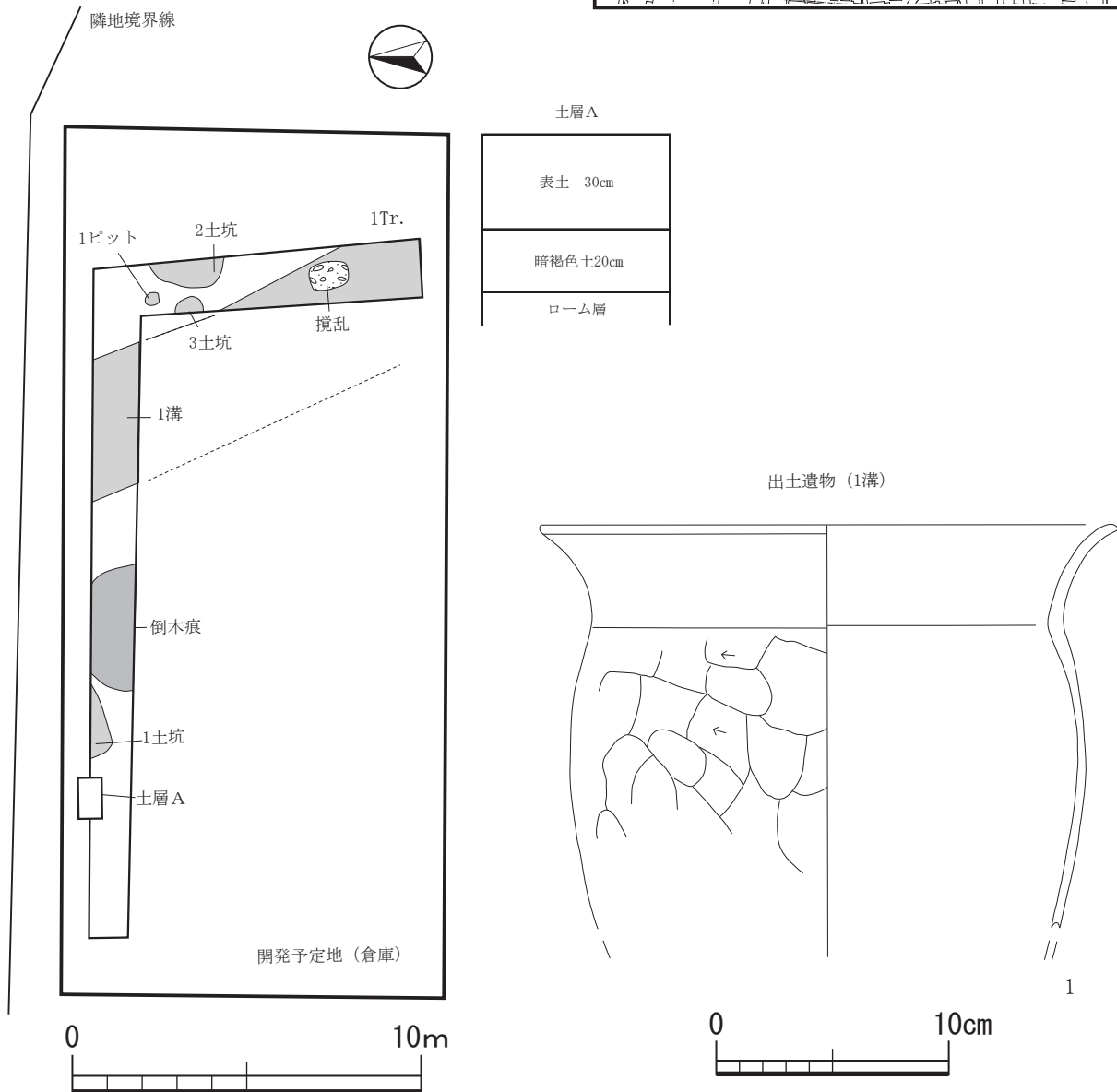
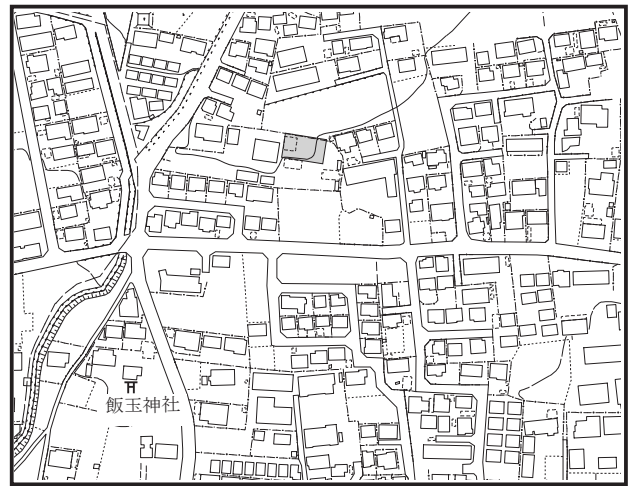
- ① 所在地 太田市由良町1825-1 他
- ② 調査原因 宅地の造成
- ③ 調査方法 造成予定地にトレンチを4本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条、土坑6基、ピット7基が確認されたが、遺物は出土しなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 確認された遺構は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。



第54図 確認調査平面図・断面図

51 由良の砦跡 (H28No.504)

- ① 所在地 太田市由良町1617-1 他
- ② 調査原因 倉庫の建設
- ③ 調査方法 工事予定地にトレンチを1本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 溝1条、土坑3基、ピット1基が確認され、奈良時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構の大部分は、保護層が確保されるため、本発掘調査の必要はないと判断される。

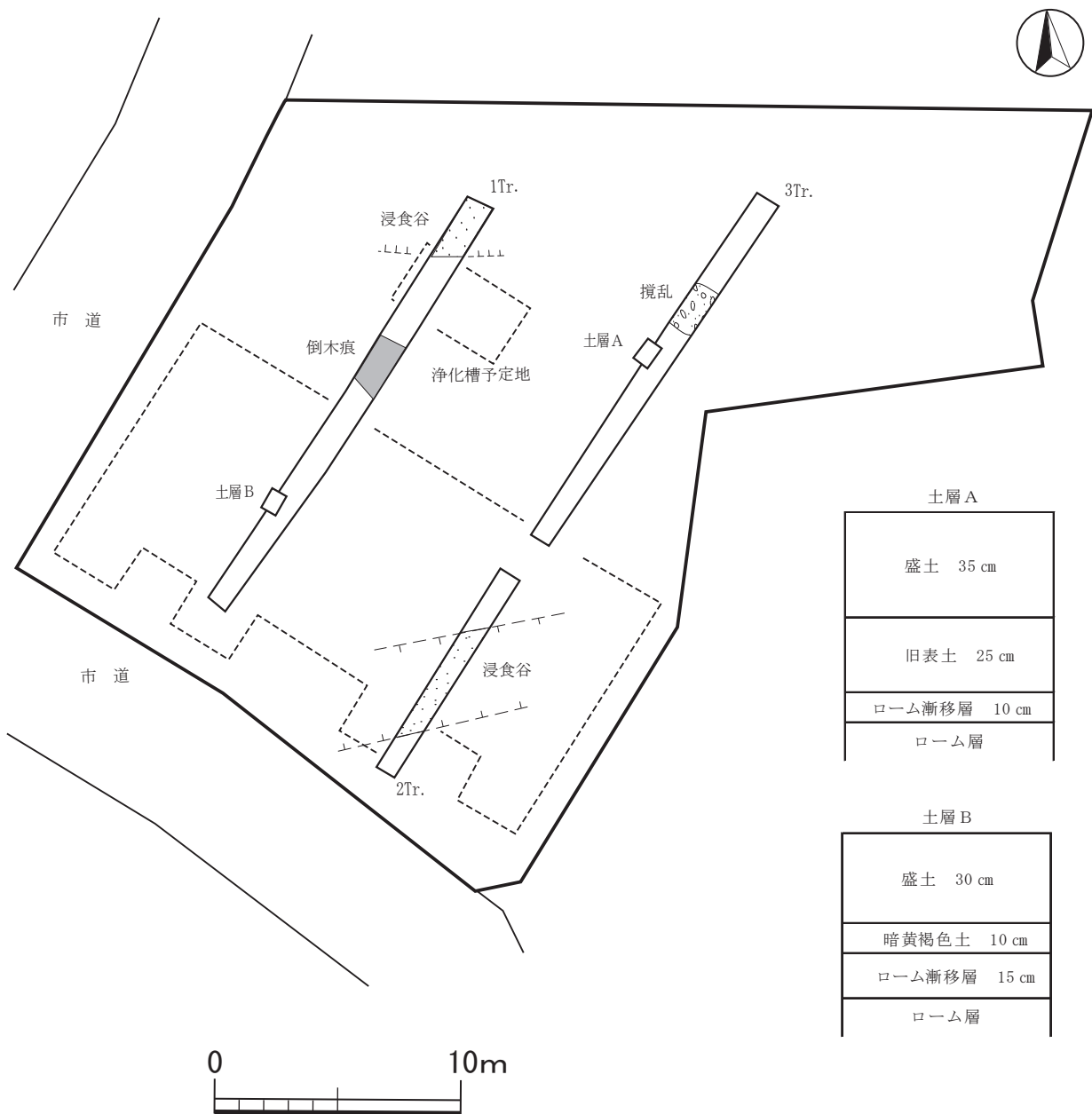
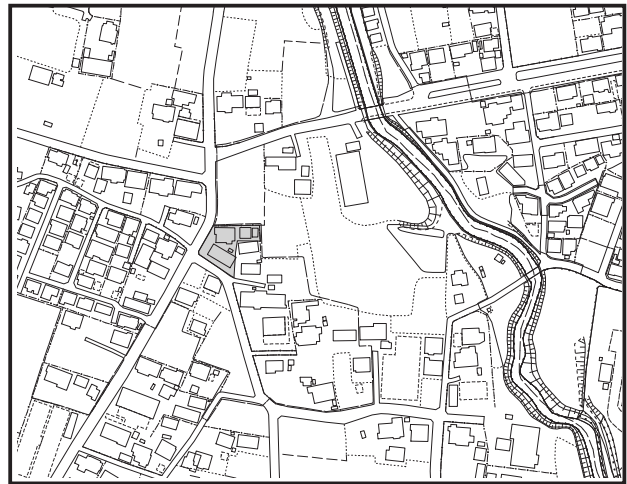


第55図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・甕	1/3	(25.0)・ - ・ -	普通	普通	橙色	頸部外面、ヘラ削りの先端が当たった痕跡が部分的にみられる。体部外面にスス痕あり。

52 梁場遺跡 (H28No.776)

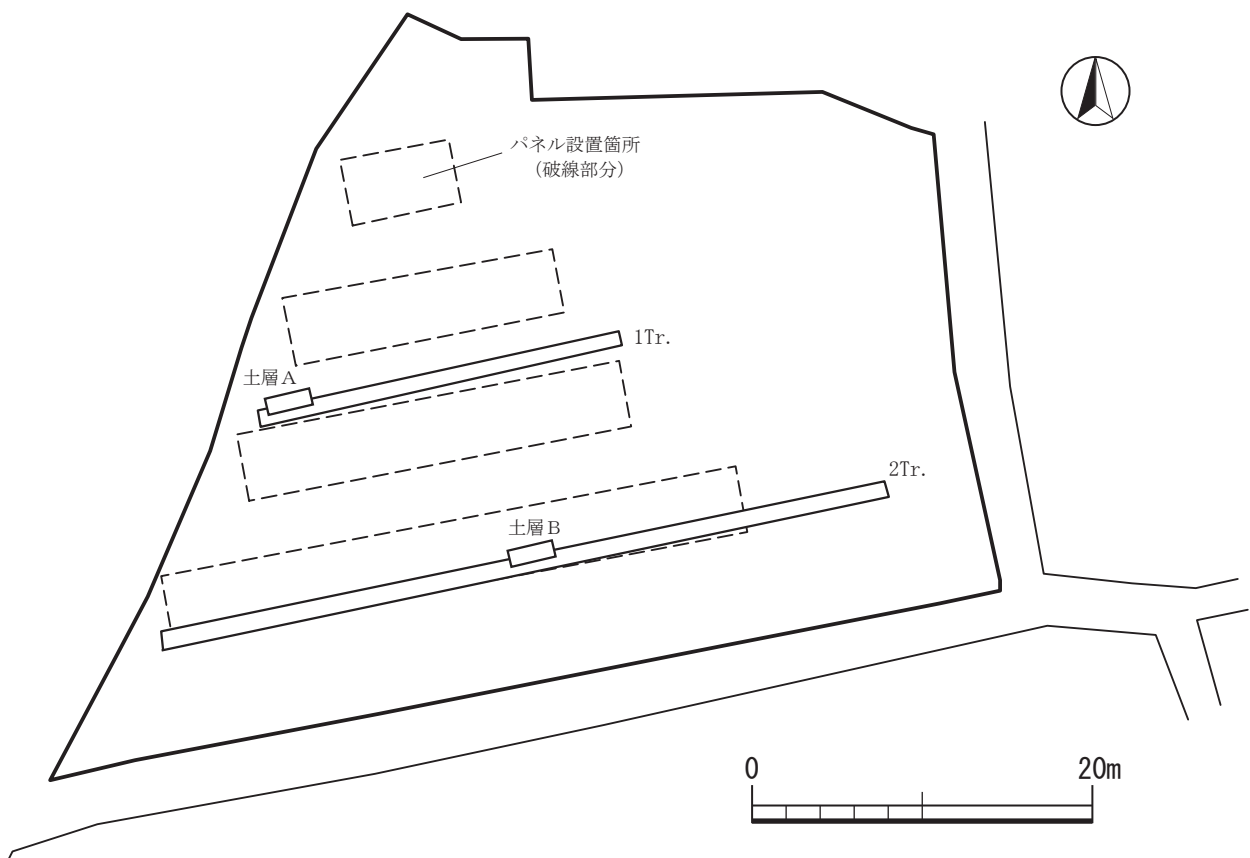
- ① 所在地 太田市高林南町282-2 他
- ② 調査原因 集合住宅の建設
- ③ 調査方法 建物予定地等にトレンチを3本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構は確認されなかったが、埴輪片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



第56図 確認調査平面図・断面図

53 落内遺跡 (H28No.900)

- ① 所在地 太田市吉沢町1315-1 他
- ② 調査原因 太陽光発電施設の開発
- ③ 調査方法 開発予定地にトレンチを2本設定し、地表から約80cmまで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 遺構、遺物は確認されなかった。
- ⑤ 取り扱い方法 本発掘調査の必要はないと判断される。



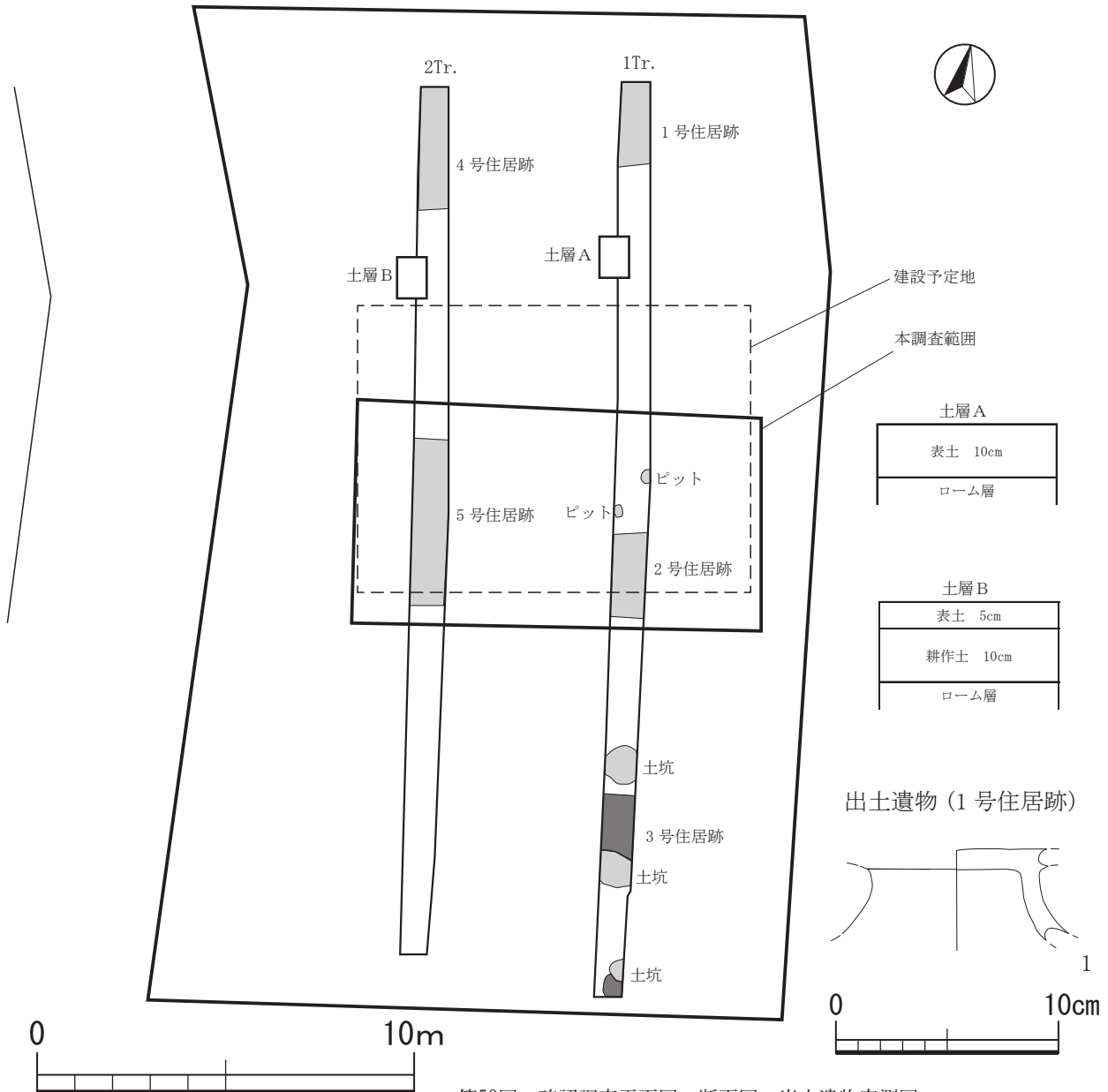
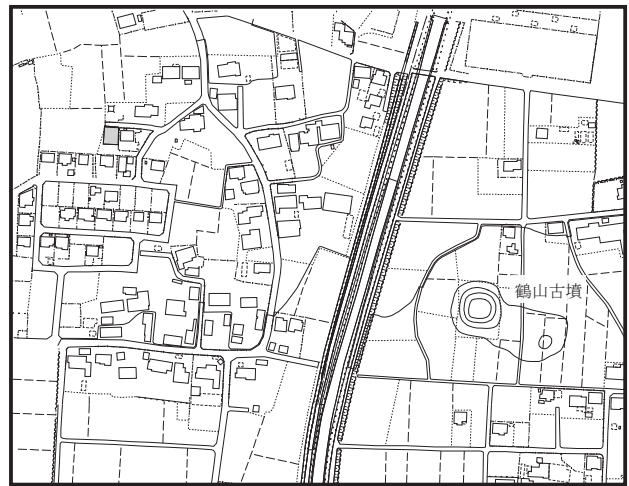
土層A
表土 30cm
礫含みの崩落堆積土 30cm
砂質のローム層 10cm以上

土層B
表土 40cm
砂質のローム層 20cm
軟弱な灰色粘土 40cm以上

第57図 確認調査平面図・断面図

54 久保畑遺跡 (H28No.1089)

- ① 所在地 太田市寺井町553-1
- ② 調査原因 個人住宅の建設
- ③ 調査方法 建設工事予定地にトレンチを2本設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡5軒、土坑4基、ピット2基が確認され、古墳時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響がある2号・5号住居跡においては、本発掘調査を実施した。詳細は次頁のとおり。

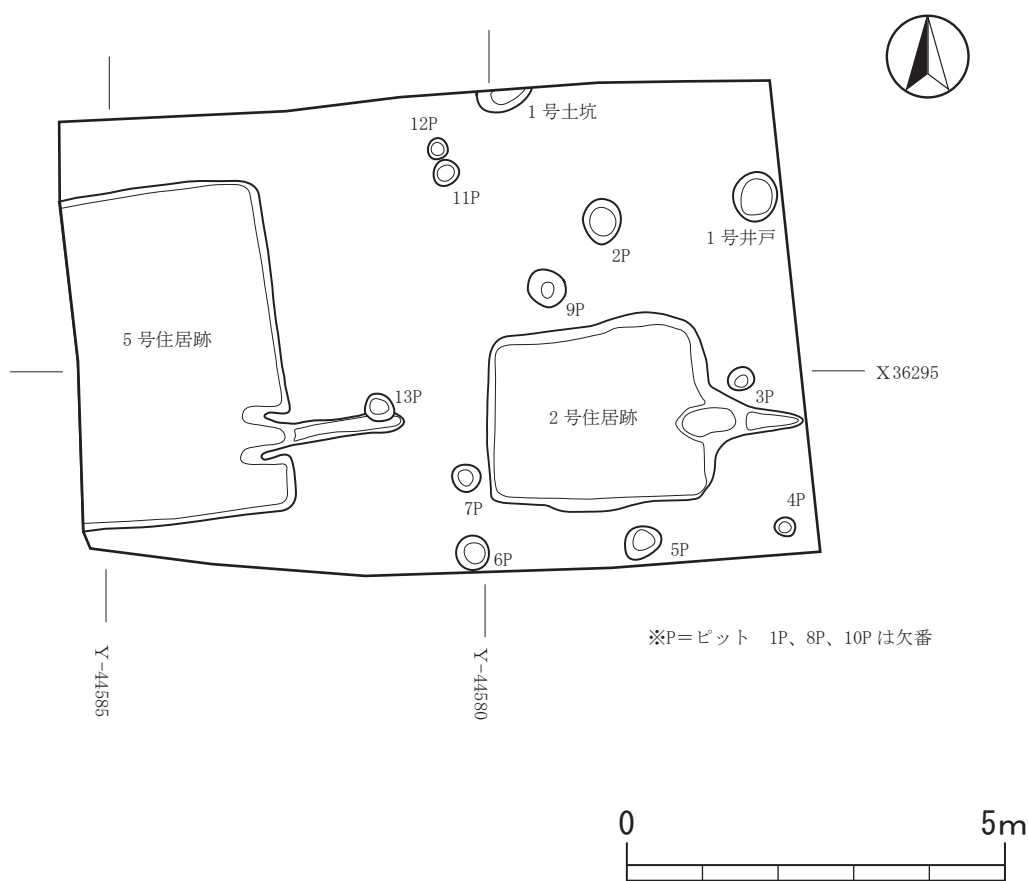


第58図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	須恵器・高盤	脚部	- . . . -	やや細	普通	青灰色	脚部内外面、ロクロ回転整形。坏部内面、磨耗している。

54 久保畑遺跡発掘調査

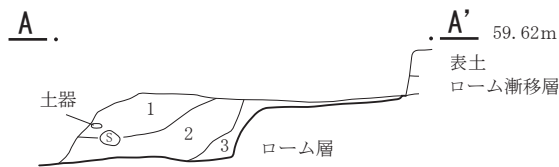
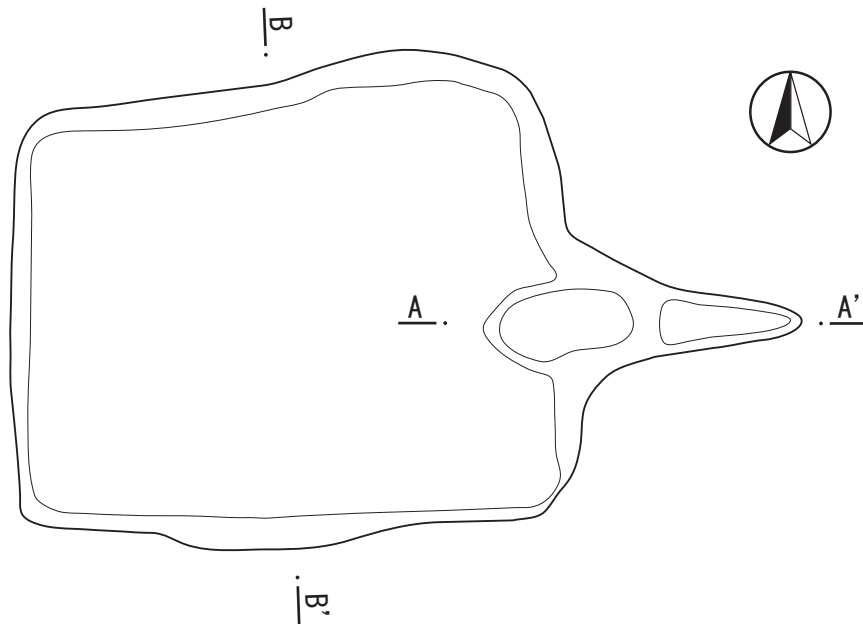
- 1 調査期間 平成29年3月14日～3月21日
- 2 遺跡概要 久保畑遺跡は大間々扇状地の南東端部にあたる低台地、標高約56mに立地する。
調査地は、主要地方道足利伊勢崎線の南400m、東200mほどに蛇川が南流している地点にあたる。周辺では7世紀から8世紀にかけての遺構（主に住居跡）が検出される傾向にあり、西隣の老人ホームの建設における調査でも住居跡・土坑が多数検出された。
- 3 調査概要 個人住宅は、遺構に影響を及ぼす工法（表層地盤改良）であるため、建設予定地を全面的に掘り広げて発掘調査を実施した。詳細は下図参照。
- 4 遺構の概要 住居跡2軒、土坑1基、井戸1基、ピット10基が確認された。住居跡の詳細は次頁のとおりである。井戸は径80cmの円形で、深さ130cmである。土坑は径80cmの円形（推定）である。ピットは径30cm～60cmで、いずれも円形である。ピットは掘立柱建物の柱穴の可能性はあるが、建物としてのまとまりをつかむまでは至らなかった。井戸や土坑、ピットなどの年代は判然とはしていないが、住居跡と同じ年代（7～8世紀）と考えられる。



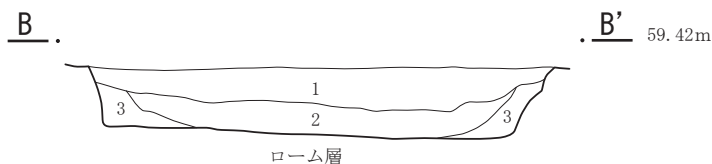
第59図 発掘調査平面図

久保畑遺跡 2号住居跡

検出状態：調査区の東にて全面的に検出される。規模・形状：東西2.9m×南北2.5mの長方形で、深さは35cmである。竈：東壁中央に設置される。主体部は壁外にやや張り出し、その先に煙道が延びている。柱穴：確認されなかった。周溝：確認されなかった。貯蔵穴：確認されなかった。遺物：奈良時代（8世紀）の土器片が出土した。



- 1. 黄褐色土 ローム崩土を少量混入する。
- 2. 暗褐色土 焼土の小粒、灰と粘土成分を混入する。
- 3. 黄褐色土 焼土粒が少量混入する。



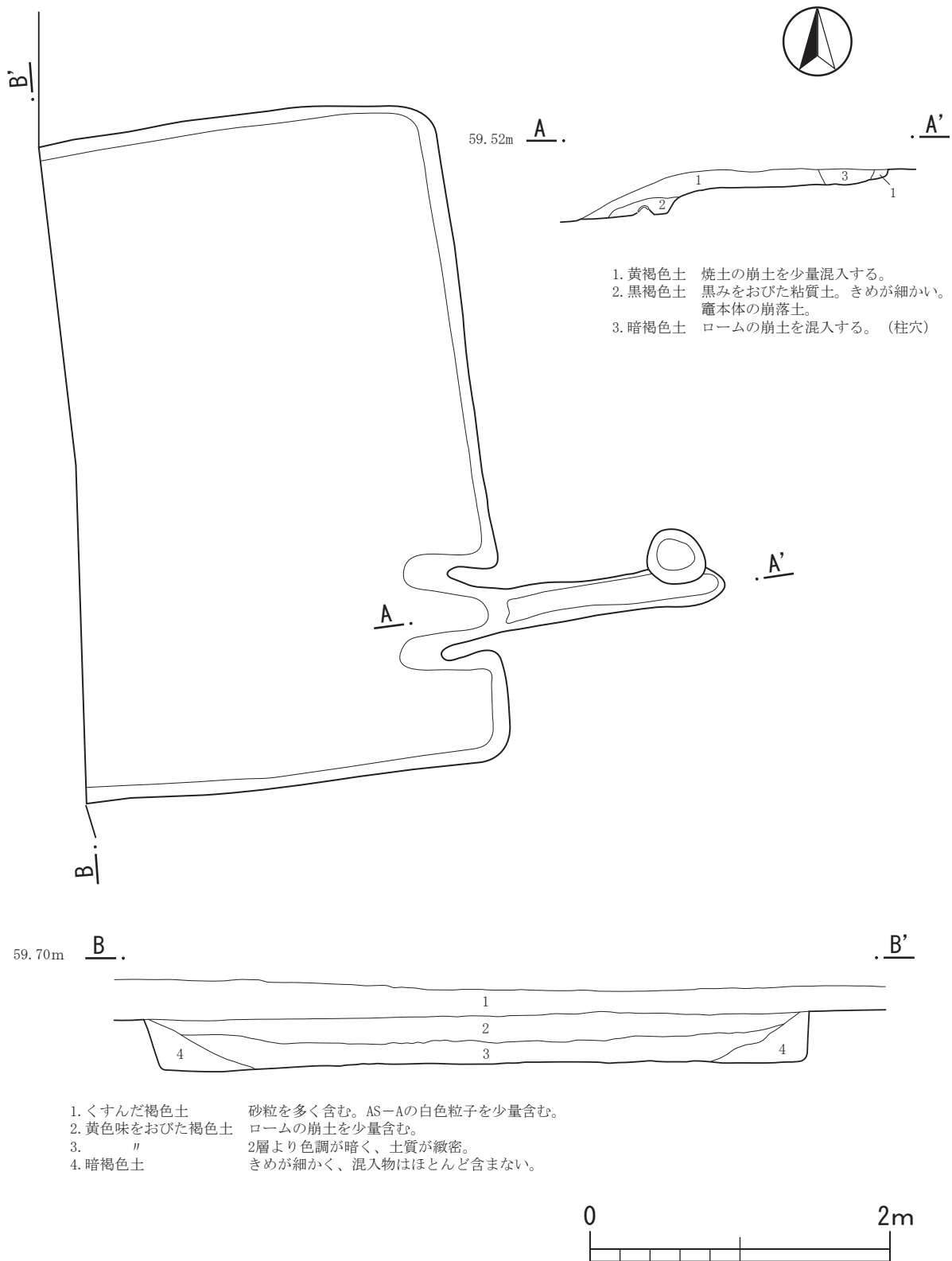
- 1. 黄色味をおびた褐色土 白色軽石粒を混入する。
- 2. 黄褐色土 ロームの崩土を混入する。
- 3. 黒褐色土 同上



第60図 発掘調査平面図・断面図

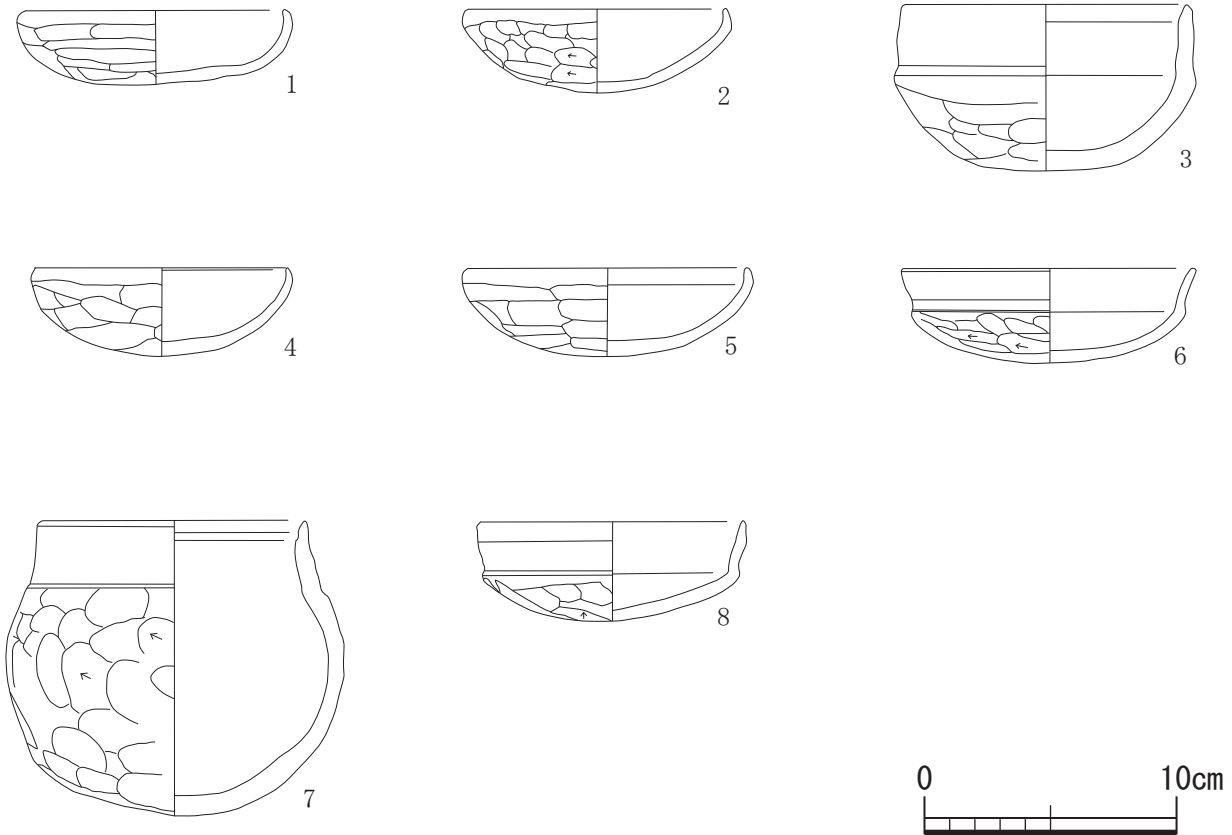
久保畑遺跡 5号住居跡

検出状態：調査区の西にて東側半分のみ検出される。**規模・形状**：東西2.6m以上×南北4.4mの長方形または正方形で、深さは37cmである。**竈**：東壁の南側に設置され、煙道・袖とも良好に確認される。**柱穴**：確認されなかった。**周溝**：確認されなかった。**貯蔵穴**：確認されなかった。**遺物**：竈及び竈付近から、飛鳥時代（7世紀）の完形の坏や小甕が出土した。



第61図 発掘調査平面図・断面図

久保畑遺跡 5号住居 出土遺物

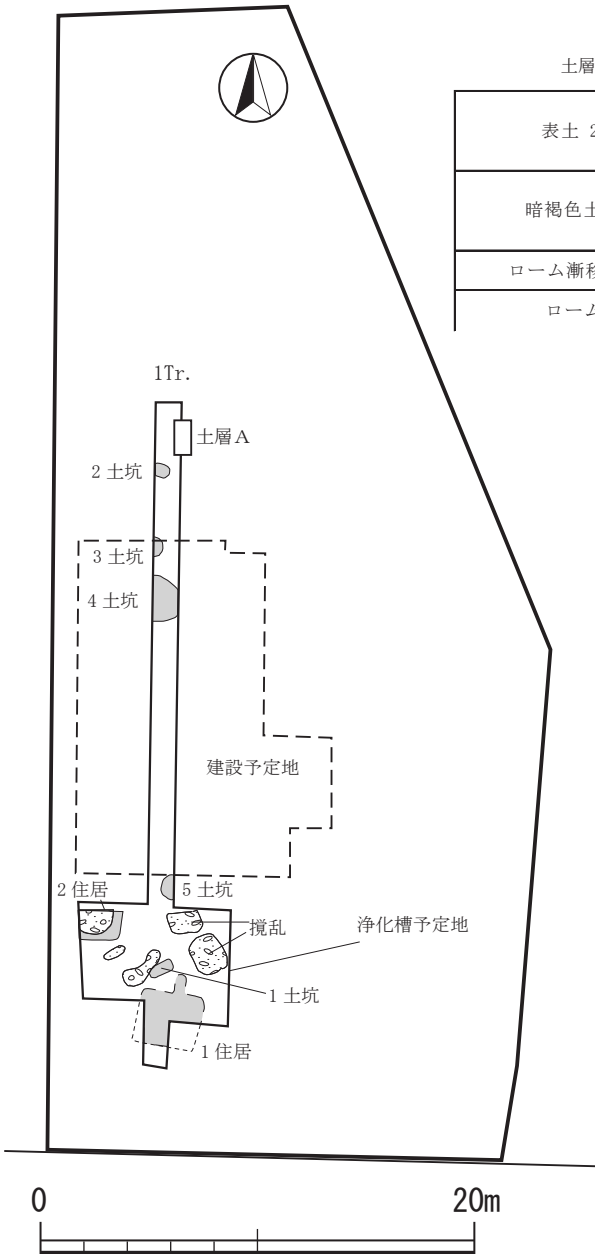
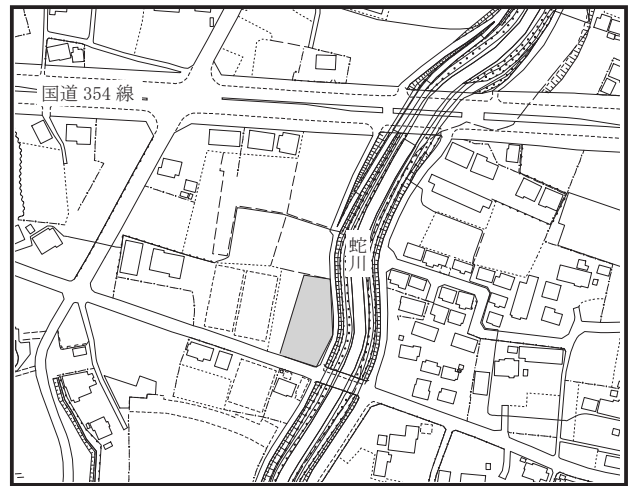


第62図 発掘調査出土遺物実測図

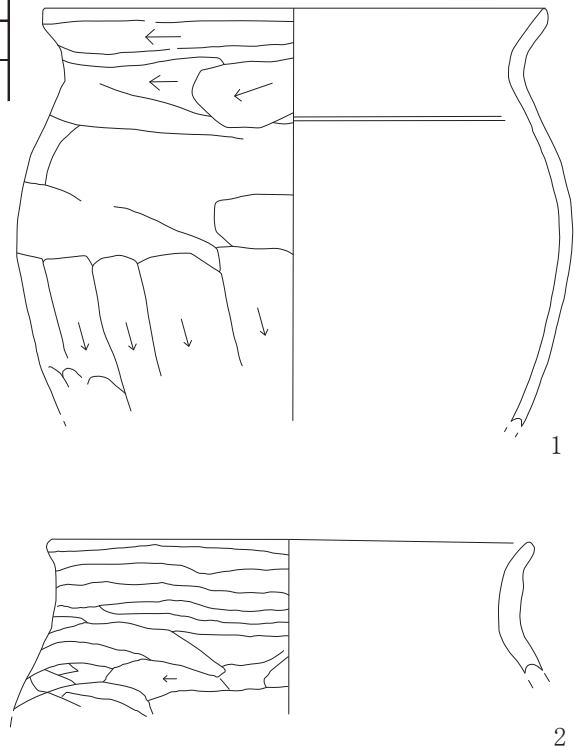
番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形状の特徴
1	土師器・坏	完形	10.4 ・ - ・ 3.0	やや細	やや軟	明橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。 底部外面、ヘラ削り、底部内面、ナデ。
2	土師器・坏	ほぼ完形	10.5 ・ - ・ 3.3	細	普通	橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。 底部外面、ヘラ削り、底部内面、ナデ。
3	土師器・椀	1/2	(11.4) ・ - ・ 6.6	普通	普通	くすんだ褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。 底部外面、ヘラ削り、底部内面、ナデ(ヘラも使われている)。
4	土師器・坏	完形	10.0 ・ - ・ 3.5	やや細	やや軟	くすんだ橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。 底部外面、ヘラ削り、底部内面中央部、ナデ。
5	土師器・坏	完形	11.2 ・ - ・ 3.5	細	やや軟	淡橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。 底部外面、ヘラ削り、底部内面中央部、ナデ。
6	土師器・坏	ほぼ完形	(11.8) ・ - ・ 3.8	やや細	やや軟	やや淡い橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。 底部外面、ヘラ削り、底部内面、ナデ。体部外面に黒斑あり。
7	土師器・ 小型甕	完形	10.5 ・ - ・ 11.7	普通	普通	淡褐色	口縁部内外面、ヨコナデ。体部外面、ヘラ削り。 体部内面、ナデ。体部外面、下半部にスス痕吸着。
8	土師器・坏	完形	10.0 ・ - ・ 4.0	やや細	やや軟	明橙色	口縁部内外面、ヨコナデ。底部内面中央部、ナデ。 底部外面、ヘラ削り。

55 御手洗遺跡 (H28No.980)

- ① 所在地 太田市細谷町87-27
- ② 調査原因 診療所の建設
- ③ 調査方法 建設予定地にトレンチを1箇所設定し、ローム層まで掘り下げて遺構・土層確認および写真撮影を行なった。
- ④ 調査結果 住居跡2軒、土坑5基が確認され、平安時代の土器片が出土した。
- ⑤ 取り扱い方法 遺構に影響がある浄化槽部分においては、記録保存を行なった。



出土遺物 (1 住居)



第63図 確認調査平面図・断面図・出土遺物実測図

番号	種類・器種	残存状況	口径・底径・器高	胎土	焼成	色調	整形形状の特徴
1	土師器・甕	1/2	(20.0)・ - ・ -	やや細	普通	くすんだ褐色	口縁部外面から体部外面上半部、横方向へラ削り後、口唇部外面と頸部に横方向へラナデ。体部外面下半部、縦方向へラ削り。体部内面、へラナデ。口縁部内面、横方向の丁寧なへラナデ。
2	土師器・甕	口縁	19.2・ - ・ -	やや細	普通	くすんだ褐色	口縁部内外面、丁寧なへラナデ。胴部外面、へラ削り、内面、やや雑なへラナデ。

第5章 まとめ

平成28年度における市内遺跡の確認調査は55箇所であった。遺構が確認されたのは45箇所であり、そのうち8箇所で大発掘調査（予定を含む）、2箇所で立会調査を実施し、記録保存の措置を講じた。残りの35箇所については、現状保存されるか、近世以降の遺構であるため、大発掘調査には至らなかった。この章では、特徴的な遺跡を以下のとおり紹介する。

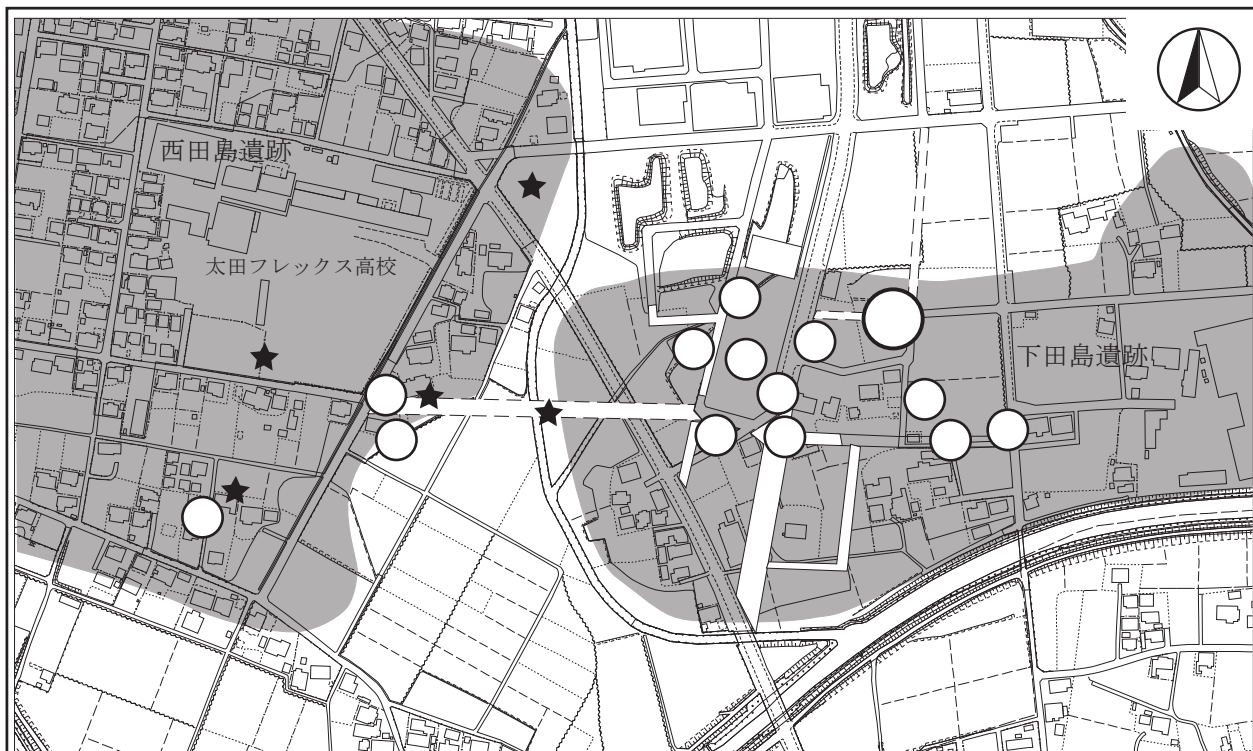
縄文時代

主な遺跡として、36 西田島遺跡（42頁）が挙げられる。確認された住居跡4軒は、いずれも縄文時代中期の遺構であり、深鉢などの遺物が出土した。また、調査地周辺（高校・店舗・道路）においても、縄文時代の土器片が出土していることから、西田島遺跡の全域にわたり生活が営まれていたことが窺える。

古墳時代（古墳）

主な遺跡として、18 下田島遺跡（24頁）、36 西田島遺跡（42頁）が挙げられ、新たに古墳が3基確認された。なお、調査地周辺では、平成15年度から宝泉南部土地区画整理発掘調査が実施されており、現在のところ13基の古墳が確認されている。それらの古墳は、直径20m程度の円墳が大多数を占めており、本稿で紹介した古墳も同規模のものであると考察される。

他には、46 細谷古墳群（53頁）で、古墳が1基確認されており、建設予定の幼稚園が深基礎であるため、平成29年8月4日から8月5日にかけて大発掘調査を実施するに至った。古墳の大部分は開発範囲外であるため、大発掘調査においても正確な規模・形状を計測するには至らなかった。しかし、上毛古墳総覧に掲載されていない古墳を発見できたのは大きな成果と言える。



第64図 西田島遺跡・下田島遺跡の古墳等分布図

○ 区画整理・民間開発の調査で確認された古墳（規模・形状は正確なものではない）

★ 縄文土器が出土した箇所

0 200m

古墳時代（方形周溝墓）

方形周溝墓は、13 北之庄遺跡（19頁）で確認された。建設予定の宝泉小学校給食室が深基礎であるため、平成29年5月18日から6月20日にかけて本発掘調査を実施するに至った。その調査により、2基の方形周溝墓が確認されたことになるが、調査範囲が狭く、攪乱が著しいため正確な規模・形状を計測するには至らなかった。方形周溝墓以外には、縄文時代の住居跡が確認されており、同時期と推定される土器や石器（鏃等）が出土した。

また、過去には同敷地内で校舎建設に伴う本発掘調査を実施しており、前述以外の方形周溝墓が2基確認されている。

古墳時代（集落）

主な遺跡として、44 浜町遺跡（50頁）が挙げられる。調査地は、平成28年度の時点で遺跡地外とされていたが、南隣（東部伊勢崎線）は古墳時代から平安時代の集落跡であった。このことから、区画整理に伴う確認調査を実施し、平成28年6月22日から9月29日にかけて本発掘調査をするに至った。その調査により、住居跡20軒、溝1条、井戸6基、土坑36基、柱穴24基が確認され、古墳時代から平安時代の土器片が大量に出土した。住居跡の時代は、古墳時代前期2軒・中期1軒・後期12軒であり、平安時代が5軒であった。

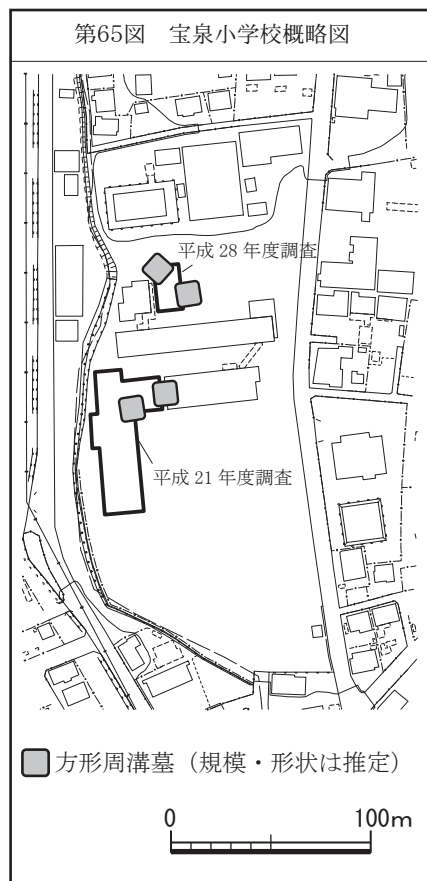
なお、遺構・遺物の検出状況から、群馬県教育委員会に申請のうえ、浜町遺跡の範囲を広げることとなった。なお、調査地から北側にかけて、さらに台地が広がる可能性が高く、今後の調査により遺跡の範囲が広がることを見込まれる。

奈良・平安時代

奈良時代の遺跡として、31 天良七堂遺跡（35～37頁）が挙げられる。本遺跡には史跡上野国新田郡家跡があるため、平成20年度から確認調査を実施している。その調査により、正殿・長屋建物・正倉跡の範囲や内容が明らかになり、平成22年度には、前述した遺構を囲む区画溝（西限溝）が検出された。本稿の調査地は、調査箇所（H22-15Tr.と16Tr.）の中間地点にあたり、当時の調査で想定されたとおりに区画溝（西限溝）が確認された。なお、調査区からは史跡上野国新田郡家跡以前のものとされる住居跡が2軒確認されている。

平安時代の主な遺跡として、35 東部地区遺跡群（40・41頁）が挙げられる。道路開発部分に、平安時代の住居跡が確認されたため、平成28年9月26日から11月16日にかけて本発掘調査を実施するに至った。その調査により、住居跡2軒、溝4条、掘立柱建物跡4棟、土坑37基、ピット101基が確認された。本件もそうだが、周辺では尾島東部土地区画整理発掘調査を実施しており、住居跡が度々確認されている。

他には、21 下原遺跡（25・26頁）で、住居跡が1軒確認されており、建設予定の集合住宅が表層地盤改良であるため、平成28年8月3日から8月8日にかけて本発掘調査を実施するに至った。下原遺跡は鉄塔や道路などの調査で住居跡が検出されているが、総じて単独的であり、東カマドで一辺が4m未満の大きさである。本稿で紹介した住居跡も同様のものではなかった。

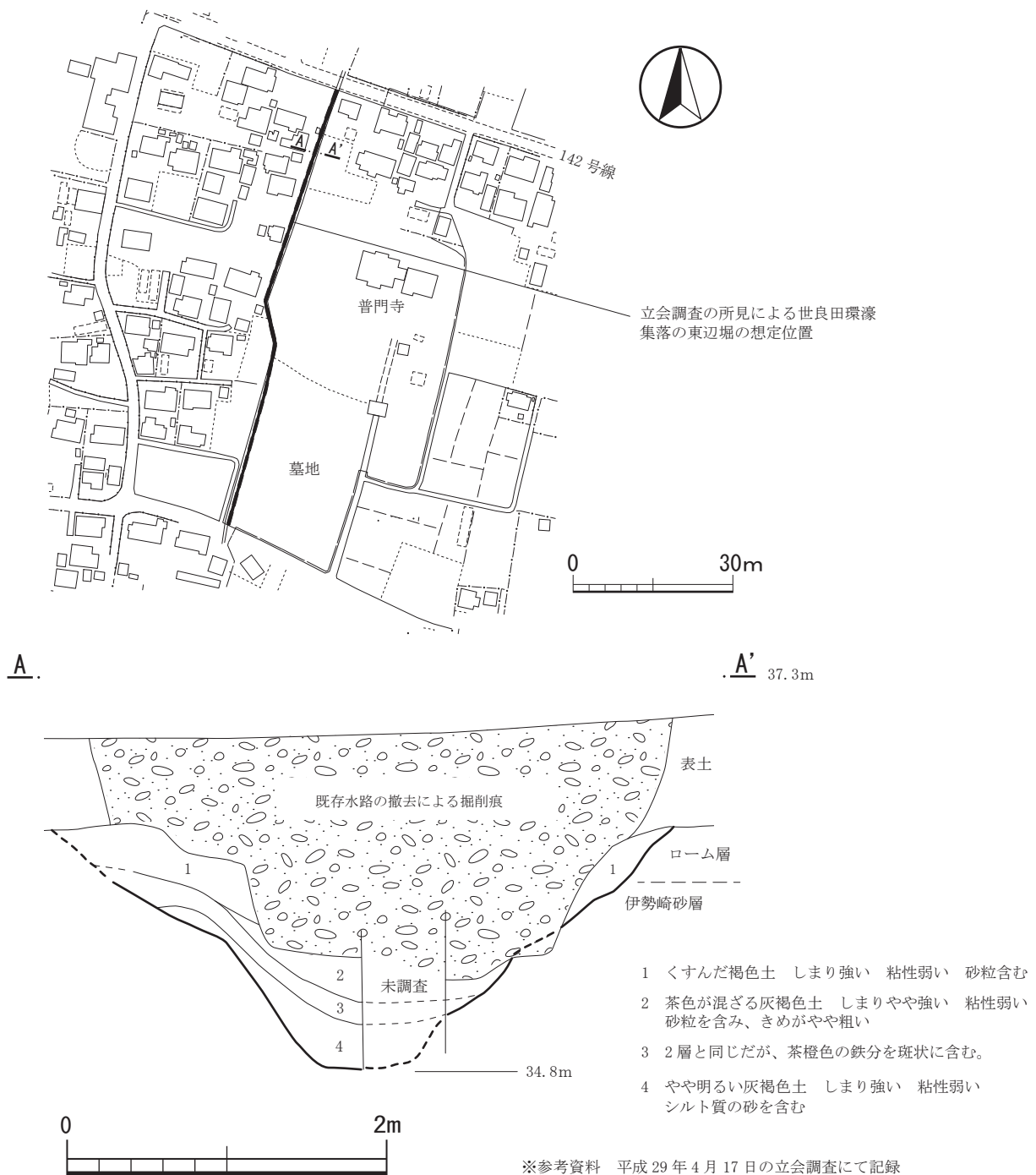


中 世

主な遺跡として、26 総持寺（新田館跡）（30頁）・25 世良田環濠集落（29頁）が挙げられる。

総持寺は、当初は方二町ほどの規模を有する館であったとみられていたが、14世紀後半には寺として存在していたことが確認される。本稿の調査では、土坑5基が確認されたが、総持寺に付随する遺構であるかは定かではない。ただし、同時期のものとみられるカワラケ等の遺物が出土した。

世良田町では、世良田地区滑川排水路改修工事が計画され、確認調査を実施した。その結果、既存の排水路（ナメラ堀）の同位置（直下）で、世良田環濠集落の東辺堀を確認することができた。その後、平成28年12月12日から平成29年4月17日にかけて、立会調査を5回実施した。立会調査で記録した東辺堀は、上幅4m、深さ2mほどの大規模なものであった。詳細は下図のとおりである。



第66図 世良田環濠集落の東辺堀位置図・断面図

確認調査写真



1 H28- No.572
石神遺跡（西から）



2 H28- No.1102
一町田・堀之内遺跡（東から）



3 H28- No.934
内ヶ島南田遺跡（北から）



4 H28- No.137
FP 泥流下遺跡群（北から）



5 H28- No.826
FP 泥流下遺跡群（東から）



6 H28- No.703
延享割遺跡（東から）



7 H28- No.482
楽前遺跡（東から）



8 H28- No.20
上遺跡（西から）



9 H28- No.793
上遺跡、寺裏遺跡、鳥山寺中遺跡（東から）



10 H28- No.478
上宿遺跡（東から）



11 H28- No.62
賀茂遺跡（東から）



12 H28- No.373
雉子ノ尾遺跡（東から）



13 H28- No.2
北之庄遺跡（北から）



14 H28- No.456
北之庄遺跡（北から）



15 H28- No.455
北之庄遺跡（西から）



16 H28- No.494
小金井馬場南館跡（北から）



17 H28- No.106
下田島遺跡（西から）



18 H28- No.60
下田島遺跡（北から）



19 H28- No.312
下原遺跡（南から）



20 H28- No.313
下原遺跡（北から）



21 H28- No.314
下原遺跡（西から）



22 H28- No.696
上泉開戸遺跡、鎧着遺跡（東から）



23 H28- No.492
新堀遺跡（東から）



24 H28- No.467
新堀遺跡（東から）



25 H28- No.542
世良田環濠集落（北から）



25 H29- No.84立会
世良田環濠集落の東辺堀（南から）



26 H28- No.770
総持寺（東から）



27 H28- No.15
田谷遺跡、飯塚条理制水田跡（南から）



28 H28- No.116
長福寺遺跡（西から）



29 H28- No.816
長楽寺遺跡（東から）



30 H28- No.887
鶴生田古墳群（西から）



31 H28- No.37 天良七堂遺跡
1 Tr.- 1 住居（西から）



31 H28- No.37 天良七堂遺跡
3 Tr.- 西限溝（東から）



31 H28- No.37 天良七堂遺跡
4Tr.- 西限溝 (南から)



32 H28- No.987
道灌谷戸遺跡 (東から)



33 H28- No.218
東部地区遺跡群 (東から)



34 H28- No.493
東部地区遺跡群（北から）



35 H28- No.1165
東部地区遺跡群（西から）



36 H28- No.156
西田島遺跡（南から）



37 H28- No.3
西野西遺跡（西から）



38 H28- No.571
西矢島遺跡（南から）



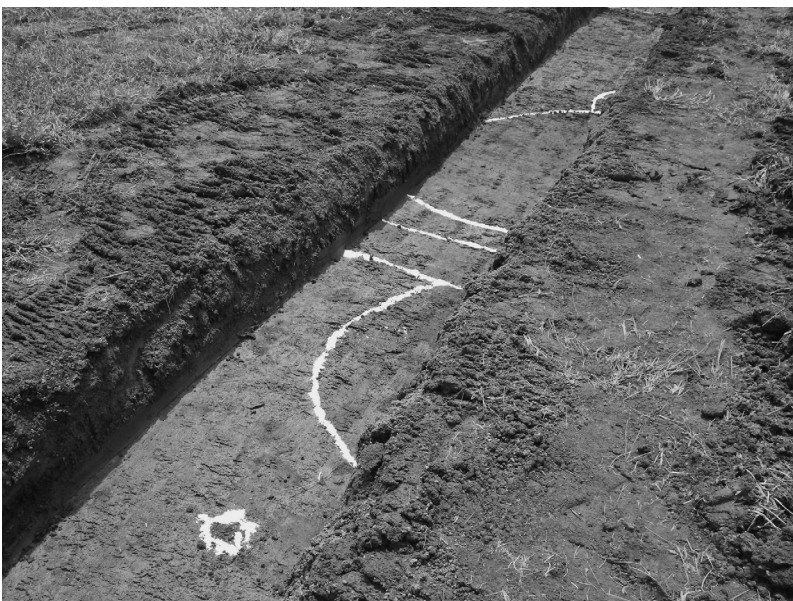
39 H28- No.673
西矢島遺跡（東から）



40 H28- No.390
新田館跡、世良田環濠集落（北から）



41 H28- No.286
登戸遺跡（北から）



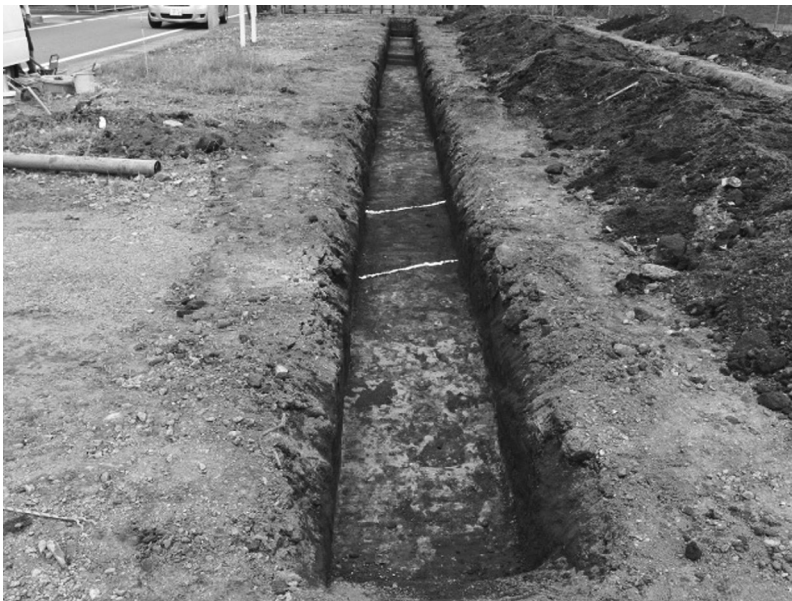
42 H28- No.406
萩原窯跡、萩原遺跡（西から）



43 H28- No.315
馬場遺跡（東から）



44 H28- No.105
浜町遺跡（西から）



45 H28- No.700
藤阿久古墳群（西から）



46 H28- No.446
細谷古墳群（西から）



47 H28- No.922
三島遺跡（北から）



48 H28- No.640
妙参寺沼遺跡（東から）



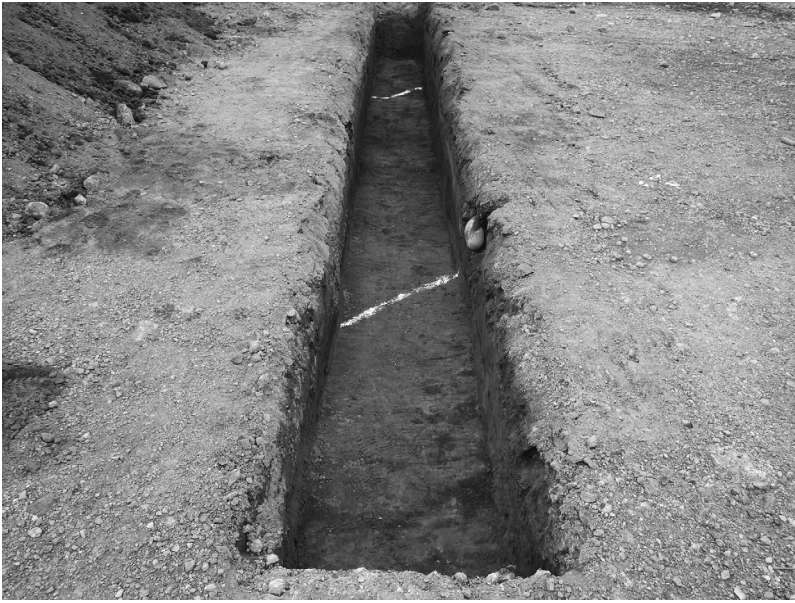
49 H28- No.198
目塚遺跡（北から）



50 H28- No.1099
由良天王遺跡（東から）



51 H28- No.504
由良の砦跡（北から）



52 H28- No.776
梁場遺跡（南から）



53 H28- No.900
落内遺跡（西から）



54 H28- No.1089
久保畑遺跡（南から）



54 H28- No.1089
久保畑遺跡本調査 遺構確認状況（西から）



54 H28- No.1089
久保畑遺跡本調査 完掘後（西から）



55 H28- No.980
御手洗遺跡（東から）



14 北之庄遺跡No.1 (20頁)



21 下原遺跡No.2 (25頁)



27 田谷遺跡、飯塚条里制水田跡No.1 (31頁)



36 西田島遺跡No.1 (42頁)



31 天良七堂遺跡No.1 (35頁)



36 西田島遺跡No.5 (43頁)



36 西田島遺跡No.2 (43頁)



44 浜町遺跡No.1 (50頁)



44 浜町遺跡No.3 (50頁)



51 由良の砦跡No.1 (58頁)



54 久保畑遺跡No.7 (65頁)



54 久保畑遺跡No.1 (65頁)



54 久保畑遺跡No.5 (65頁)



54 久保畑遺跡No.8 (65頁)



55 御手洗遺跡No.1 (66頁)



55 御手洗遺跡No.2 (66頁)

報告書抄録

フリガナ	オオタシナイイセキ13
書名	太田市内遺跡13
副書名	平成28年度調査
巻次	—
シリーズ名	—
シリーズ巻名	市内遺跡
編集著者名	長谷川幸男 山口高志 岩松大輔 須田茂
編集機関	太田市教育委員会
編集機関所在地	〒370-0495 群馬県太田市粕川町520 TEL.0276-20-7090
発行年	平成30年3月30日
所収遺跡	太田市内遺跡55箇所。(詳細は調査地一覧表に記載。)

太田市内遺跡 13

—平成28年度調査—

平成30年3月27日 印刷
平成30年3月30日 発行

編集・発行 群馬県太田市教育委員会
群馬県太田市粕川町520
電話 0276-20-7090

印刷 朝日印刷工業株式会社